

NEC



さあはじめよう  
かんたんスタートガイド

- 本機を設置する
- 必要な機器を接続する
- セットアップする
- 基本操作を覚える

NECパーソナルコンピュータ

PC-9800シリーズ

PC-9821 C166

PC-9821C-GA3

# 安全にお使いいただくために

- ・製品を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。
- ・注意事項を守って製品をご使用ください。
- ・このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に保管してください。

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。

注意事項を守っていただけない場合、どの程度の影響があるかを表しています。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。

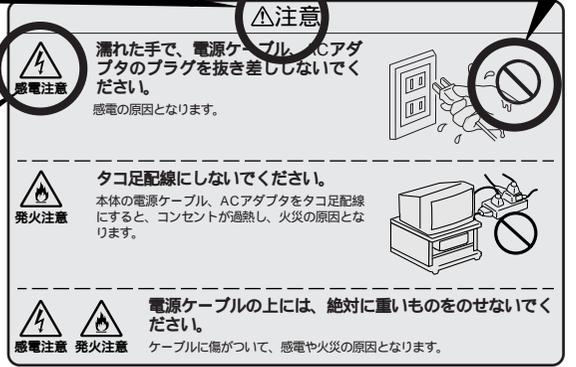
 <b>毒物注意</b>	毒性の物質による傷害の可能性が想定される内容を示します。	 <b>感電注意</b>	感電の可能性が想定される内容を示します。
 <b>発火注意</b>	発煙または発火の可能性が想定される内容を示します。	 <b>けが注意</b>	けがを負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>破裂注意</b>	破裂の可能性が想定される内容を示します。		

この枠の中では、本機を安全に使うための注意事項を説明しています。必ずお読みください。

安全に使うための説明は、絵でも表示しています。

	<b>禁止</b> 禁止事項を示します。
	<b>電源プラグを抜く</b> 電源コードのプラグを抜くように指示するものです。

本体電源ケーブルの接続



**感電注意** 濡れた手で、電源ケーブル、ACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

**発火注意** タコ足配線にしないでください。本体の電源ケーブル、ACアダプタをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となります。

**感電注意 発火注意** 電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因となります。

Part 2 必要な機器を接続する

39

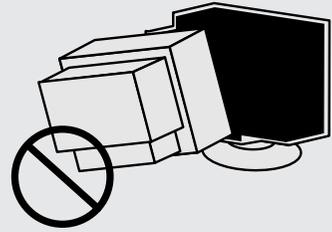
このページは説明用のもので本文とは異なります。

## ⚠ 警告



**ディスプレイ、テレビのカバーは、絶対に外さないでください。**

ディスプレイやテレビの内部には、電圧の高い部分があり、触ると感電することがあります。内部の点検・調整は、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにご依頼ください。



**雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、電源ケーブル、ACアダプタ、回線に接続されているケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。**

落雷による感電の恐れがあります。

---

**添付のCD-ROMは、CD-ROM対応プレーヤ以外では絶対に使用しないでください。**

大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカを破損する恐れがあります。

## ご注意

- ( 1 ) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- ( 2 ) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ( 3 ) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- ( 4 ) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、( 3 ) 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ( 5 ) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや、制御等の使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- ( 6 ) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- ( 7 ) あなたがテレビ放送や録画物などから引用したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Bitcast、bitcastは(株)インフォシティの登録商標です。

©NEC Corporation 1997

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

## 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

## 技術基準等適合認定について

このパーソナルコンピュータは、電気通信事業法第50条第1項の規定に基づく技術基準等適合認定を受けています。申請回線と認定番号は次のとおりです。

電話回線 : S97-3110-0

## 高調波電流規制について

この装置の本体は、高調波ガイドライン適合品です。

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 漏洩電流自主規制について

この装置の本体は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

## レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。



## はじめに

このたびは、NECパーソナルコンピュータをお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

このマニュアルは、本機を使い始めるにあたって必要な準備や、本機の基本的な操作方法について説明しています。最初から順番に読んでいけば、本機を使い始めることができるような構成になっています。

パーソナルコンピュータを初めてお使いになる方はもちろん、すでにお使いになったことのある方も、必ずはじめからお読みください。

1997年7月 初版

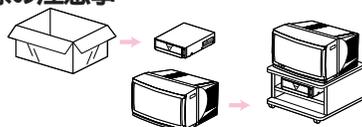
# このマニュアルの構成

このマニュアルは次のような構成になっています。

## Part 1

### 本機を設置する

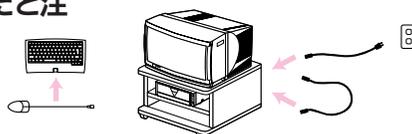
本機の設置のしかたとその際の注意事項を説明しています。



## Part 2

### 必要な機器を接続する

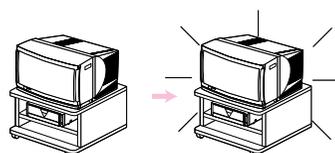
必要な機器の接続のしかたと注意事項を説明しています。



## Part 3

### セットアップする

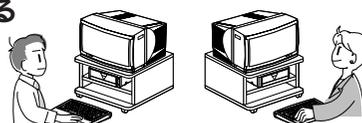
電源をONにして、Windowsを使うようにするまでの手順を説明しています。



## Part 4

### 基本操作を覚える

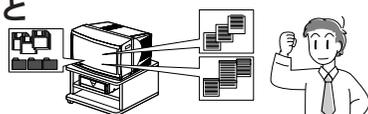
本機の基本操作を説明しています。ワープロを使って文字を入力したり、絵を描いたりしながら、基本操作を身につけられるようになっています。



## Part 5

### 使いこなすために

本機を使いこなせるようになるために知っておいてほしいことを説明しています。



# このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号には次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。場合によっては、本機が故障したり、本機で使用しているソフトウェアや、お客様が作成されたデータが壊れたりする可能性があります。



参考にしてほしいことを説明しています。



本文中に出てくる用語の説明や、知っておくとよいことなどを説明しています。

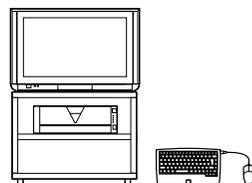


参照ページを表しています。

このマニュアルで使用している表記には、次のような意味があります。

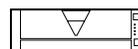
**本機**

PC-9821C166本体と、ディスプレイ（別売）やキーボードなどの周辺機器を含む、システム全体を指します。



**本体**

ディスプレイ（別売）やキーボードなどの周辺機器を含まない、PC-9821C166を指します。



**Windows**

Microsoft® Windows® 95 Operating Systemを指します。

**ビットキャスト  
受信ボード**

地上波データ放送（Bitcast）受信ボードを指します。

**[XXXX]**

[ ]で囲んである文字は、画面に表示されるダイアログボックスやボタンなどの名前を表しています。

**あ**

□で囲んである文字は、キーボードのキーを表しています。

## イラスト、画面について

このマニュアルに記載されているイラストは、モデルによっては実物と異なることがあります。このマニュアルに記載されている画面は、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面とは多少異なることがあります。

型名	型番
PC-9821C166/D	PC9821C166D

# 目次

安全にお使いいただくために

はじめに

このマニュアルの構成 ..... vi

このマニュアルの表記について ..... vii

健康のために..... 1

使用上の注意..... 3

アフターケアについて ..... 6



## Part 1 本機を設置する

---

設置場所について ..... 12

設置のしかた ..... 15



## Part 2 必要な機器を接続する

---

接続の前に ..... 20

アース線の接続 ..... 28

ワイヤレスキーボード、マウスの接続 ..... 29

ディスプレイの接続 ..... 34

スピーカセットの接続 ..... 39

マイクロホンの接続 ..... 41

電話回線の接続 ..... 43

アンテナの接続 ..... 46

メディアコントローラに乾電池を入れる ..... 52

本体電源ケーブルの接続 ..... 54



## Part 3 セットアップする

---

電源をONにする前に ..... 58

電源をONにする ..... 60

電源をOFFにする ..... 74



## Part 4

# 基本操作を覚える

<b>マウスの操作を覚える</b> .....	79
マウスの動かし方.....	79
マウスの操作.....	81
<b>トラックボールの操作を覚える</b> .....	82
トラックボールの動かし方.....	82
トラックボールの操作.....	83
<b>2回目からの電源のON/OFFのしかた</b> .....	84
電源ランプの点滅について.....	84
電源をONにする .....	84
電源をOFFにする .....	87
<b>アプリケーションソフトを起動する</b> .....	90
CEREBメニューの画面 .....	90
アプリケーションソフトを起動する.....	91
<b>ウィンドウを操作する</b> .....	92
ウィンドウ各部の説明.....	92
ウィンドウを移動する.....	93
ウィンドウのサイズを変更する.....	93
アプリケーションソフトを終了する.....	95
<b>文字を入力する</b> .....	96
ワードパッドを起動する.....	96
日本語入力システム.....	97
日本語入力をONにする .....	97
文字入力の基本.....	98
文章を編集する .....	104
入力した文章を保存する .....	108
<b>絵を描く</b> .....	111
ペイントを起動する .....	111
ペイントで絵を描く .....	112



## Part 5 使いこなすために

<b>ヘルプを使う</b> .....	121
ヘルプを表示させる .....	121
ヘルプの内容を見る .....	122
<b>サイバーホーム3Dを使う</b> .....	123
サイバーホーム3Dを表示させる .....	123
<b>デスクトップを使う</b> .....	125
デスクトップを表示させる .....	125
デスクトップからアプリケーションソフトを起動する .....	127
Windows 95チュータを見る .....	128
マイコンピュータで本機の内容を見る .....	134
<b>ファイルを整理する</b> .....	135
フォルダとは .....	135
フォルダを作る .....	136
ファイルを移動する .....	137
<b>フロッピーディスクにデータのバックアップをとる</b> .....	139
フロッピーディスクをセットする .....	140
フロッピーディスクをフォーマット（初期化）する .....	141
フロッピーディスクにファイルをコピーする .....	144
フロッピーディスクを取り出す .....	145
<b>こんなことがしたい！</b> .....	146
<b>索引</b> .....	148

# 健康のために

コンピュータを使った作業では、長時間同じ姿勢になりやすいため、他の一般事務作業に比べて次のような症状がおこりがちです。

- ・眼が疲れる
- ・眼が重い
- ・ものがぼやけて見える
- ・疲れやすい
- ・頸から肩、手の指にかけて、しびれたり全体的に痛んだりする

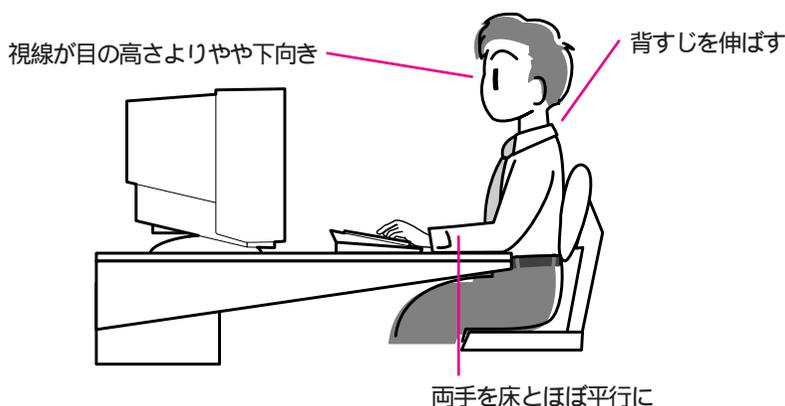
このような症状の感じ方は、作業時間や状況により個人差がありますが、次のことを心がけるようにしましょう。

- ・1時間の作業につき10～15分の作業休止時間をとる
- ・適度な休憩をとり、軽い体操をするなど、気分転換をはかる

万一、疲労が翌日まで残るような場合は、早めに医師にご相談ください。

## 良い作業姿勢をとりましょう

コンピュータを使用する際の基本的な姿勢は、背すじを伸ばして椅子に座り、両手を床とほぼ平行にキーボードに置き、視線が目の高さよりやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。良い作業姿勢とは、この基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない姿勢です。

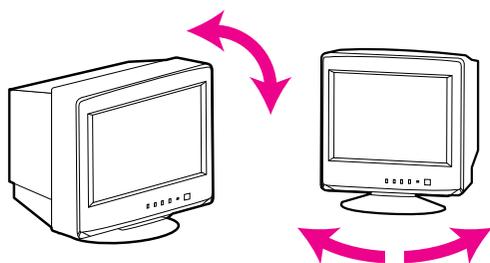


## 機器をこまめに調節しましょう

機器の調節ができる場合は、各自にあった状態にこまめに調節してください。

### ディスプレイの角度調節

別売の17インチディスプレイ（PC-DH171）などの場合は、上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくするために、ディスプレイの角度を調節することは大変重要です。



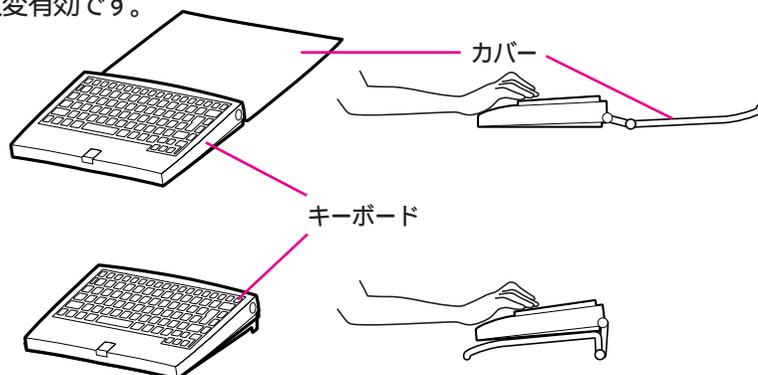
### 画面の輝度（明るさ）・コントラスト調節

年齢や個人差、周囲の明るさなどによって、画面の最適な輝度・コントラストは異なります。そのため、画面の輝度・コントラストは、状況に応じて見やすいようにこまめに調節することが必要です。

詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「ディスプレイ」をご覧ください。

### ワイヤレスキーボードの角度調節

本機のワイヤレスキーボードは、角度調節ができるようになっています。各自の好みによって、入力しやすいようにワイヤレスキーボードの角度を変えることは、肩や腕への負担を軽減するのに大変有効です。



## 機器を清掃しましょう

ディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると表示内容が見にくくなる原因となりますので、定期的に清掃する必要があります。

# 使用上の注意

## ⚠警告



雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、電源ケーブル、ACアダプタ、回線に接続されているケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。

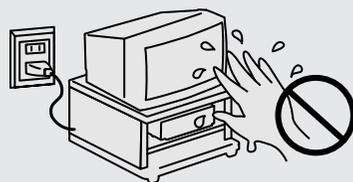
落雷による感電のおそれがあります。

## ⚠注意



濡れた手で触らないでください。

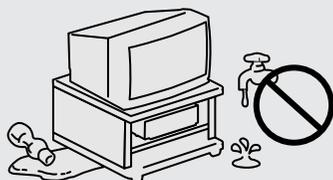
電源ケーブルがACコンセントに接続されているときに濡れた手で本機に触ると、感電の原因となります。



本機内部には、水などの液体を入れないでください。

感電の原因となります。

万一、液体が入った場合は、電源をOFFにして電源ケーブルを抜き、ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。乾いているようでも、本体内部に水分が残っていることがあります。



本機内部に異物を入れないでください。

本機内部に金属類や燃えやすいものなどの異物が入ると、回路がショートして火災の原因となります。

万一、異物が入った場合は、電源をOFFにして電源ケーブルを抜き、ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご連絡ください。



感電注意 発火注意

本機を改造しないでください。

添付されているマニュアルに記載されている方法以外で本機を分解、改造、修理しないでください。

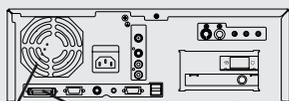
感電、火災の原因となります。



高温注意

空冷用FANおよびプリンタ用コネクタ周辺は、使用中高温になっていますので、触れないでください。やけどの原因となります。

本体を持ち運ぶ時や、プリンタコネクタを抜き差しする場合は、電源をOFFにして、本体が十分冷えてから行ってください。

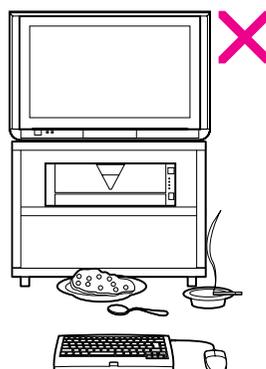


プリンタ用コネクタ

空冷用FAN

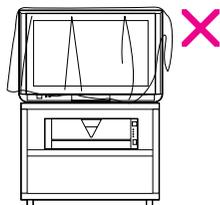
- ・本機のそばで、飲食・喫煙しないでください。

飲食物やタバコの灰が本体内部やワイヤレスキーボード内部に入ると、故障の原因となります。また、タバコの灰がフロッピーディスクに付着すると、データの読み書きができなくなったり、フロッピーディスクドライブの故障の原因となります。



- ・ゴムやビニール製品などを、本機に長時間接触させたままにしないでください。

本機の表面が変質する原因となります。



- ・本機を移動するときは、必ず電源をOFFにし、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

- ・本機を移動するときは、フロッピーディスクやCD-ROMを取り出してください。

本機の故障や、フロッピーディスク、CD-ROMの破損の原因となります。

- ・磁気の影響を受ける場所に置かないでください。

磁気の発生するもの（変圧器やモーター等）や磁気を帯びているものの近くや、温風式コタツの上に本機を置くと、磁気の影響を受けてディスプレイの画面が揺れたり、表示される色が乱れたりすることがあります。また、送電線が近くに通っている場合にも同じような現象が起きることがあります。

- ・汚れたフロッピーディスクは使用しないでください。

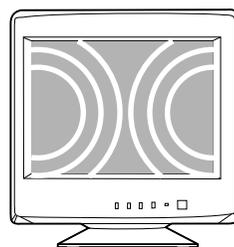
砂やほこり、水などの液体をかぶったフロッピーディスクを使用すると、故障の原因となります。

- ・長時間使用しないときは、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

旅行などで長時間お使いにならないときは、安全のため、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

## モアレ（干渉縞）について

画面に表示させるパターンやアプリケーションソフトの設定色によってモアレと呼ばれる干渉縞が現れることがありますが、故障ではありません。とくに、タイリング（1ドットごとに交互に違う色や輝度を指定すること）によって中間色や中間輝度を表現した場合に発生しやすくなります。



## 静電気に注意してください

静電気は、本機の故障の原因となることがあります。静電気による損傷を防ぐため、次のことに注意してください。

- ・アース線を必ず接続してください。アース線の接続のしかたは、このマニュアルの「Part 2 必要な機器を接続する」の「アース線の接続」をご覧ください。
- ・CPUなどの電子部品は、静電気によって破損することがあります。部品に触れる前に、身近な金属（アルミサッシやドアのノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

## コンピュータウイルスに注意してください

コンピュータのトラブルのひとつにコンピュータウイルスがあります。コンピュータがコンピュータウイルスに感染すると、突然音楽を演奏したり、異常なメッセージを表示したりします。最悪の場合、プログラムやデータが破壊されるなどの被害を受けることがあります。被害を受けないために、次のことに注意してください。

- ・重要なデータはバックアップ複製を取っておいてください。
- ・ウイルスチェッカープログラムを定期的に利用して、コンピュータウイルスに感染していないかどうか、チェックしてください。

コンピュータウイルスについて詳しくは、『困ったときにお読みください』をご覧ください。

## 本機のお手入れ

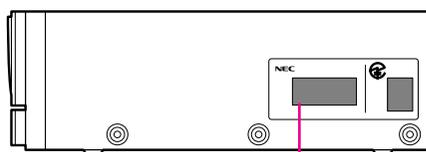
本機のお手入れの方法については、『ステップアップガイド』のPart1の「本機のお手入れ」をご覧ください。

# アフターケアについて

ご購入後、まず次のことを確認してください。

## 型番と製造番号を確認してください

本体の型番と製造番号は、本体右側の図の位置に記載されています。製造番号が保証書の番号と同じであることを確認してください。万一違う場合は、ご購入元にご連絡ください。



型番と製造番号はここに記載されています。

## 「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」をお送りください

添付の「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」に所定事項をご記入の上、必ず投函してください。

## 保証書について

保証書は、ご購入で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 改造をしないでください

添付されているマニュアルに記載されている方法以外で本機を分解・改造・修理しないでください。記載されている方法以外で分解・改造・修理された製品に関しては、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

## 故障や異常の場合の対処について

本機が故障や異常を起こした場合には、次のようにして対処してください。

- ・本機から煙が出たり、異臭がしたりする
- ・本機が、手で触れられないほど熱い
- ・本機から、異常な音がする
- ・その他、本体および本体に接続されたケーブル類に、目に見える異常が生じたとき

- ・画面に、正常でないことを表すメッセージが表示された
- ・ワイヤレスキーボードやマウスなどからの操作ができなくなった
- ・その他、本機が正常に操作できないとき
- ・ディスプレイに何も表示されない
- ・音が出ない

『困ったときにお読みください』をご覧になり、異常の症状に該当する事例が記載されているかどうかを確認してください。  
該当する事例がある場合は、記載されている対策を行ってください。

すぐに電源をOFFにして、電源ケーブルのプラグをACコンセントから抜いてください。

該当する事例がない場合、または対策を行っても症状が直らない場合は、電源をOFFにしてください。

お客様が増設された周辺機器（メモリなど）を取り外して、正常に動くかどうか確認してください。

「再セットアップガイド」をご覧になり、OSを再セットアップ（再インストール）して、正常に動くかどうか確認してください。再セットアップを行うと、お客様がインストールされたソフトウェアや、お客様が作成されたデータは消えてしまいます。再セットアップの前に、必ずバックアップをとっておいてください。

ご購入元、最寄りのBit-INN、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。

## 保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは、『98あんしんサポートガイド』または『困ったときにお読みください』をご覧ください。

## 消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	フロッピーディスク CD-ROM
消耗部品（有償交換部品）	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECサービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても、有料の場合があります。	

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

## 添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものについては、修復または再入手が可能です(有料)。詳しくは、『困ったときにお読みください』の「Part1 パソコン使用中のトラブル」をご覧ください。

- ・フロッピーディスク
- ・CD-ROM
- ・マニュアル

『かんたんスタートガイド』 型番：PC-9821C-GA3

『ステップアップガイド』 型番：PC-9821C-GB3

マニュアルの紛失に備えて、表紙に書かれているマニュアルの名前と型番を控えておいてください。

## 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件にしたがってください。

また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、登録内容の変更を行ってください。

### 譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡（売却）される場合は、以下の条件を満たす必要があります。

本体に添付されている全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと  
各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること  
（本体に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください）

### 譲渡を受けられるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でご返送ください。

ただし、「98 OFFICIAL PASSお客様登録申込書」が未使用で残っている場合は、その申込書をご返送ください。

#### 記載内容

本体保証書番号（製造番号）および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」（いずれのソフトも同一）

「Serial No.」がない場合は不要です。

以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号

あなたの氏名、住所、電話番号

#### 返送先

〒108-01 東京都港区芝五丁目7-1（NEC本社ビル）

NEC

98 OFFICIAL PASS登録センター係行

## 本機の廃棄方法について

本機を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



# 本機を設置する

ここでは、設置場所を決める際の注意事項と設置の手順について説明しています。本機を使う場所を決めて、本機を設置しましょう。

## 設置場所について 設置のしかた

# 設置場所について

本機を設置する場所を決める際には、次のことに注意してください。

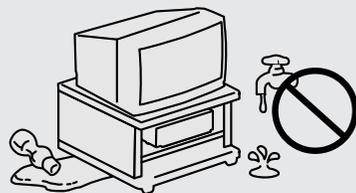
## ⚠注意



感電注意

液体がかかる場所、湿気の多い場所には、設置しないでください。

本機を、水や油などの液体がかかる場所、湯気がかかる場所、湿気の多い場所に設置すると、感電の原因となります。



感電注意



発火注意

電源をとる際に電源ケーブルが折れ曲がったりすることのないような場所に設置してください。

電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因となります。

屋外への設置、または移動用途での使用はしないでください。

感電、火災の原因となります。

AC100V(50/60Hz)の電源が使用できる場所に設置してください。

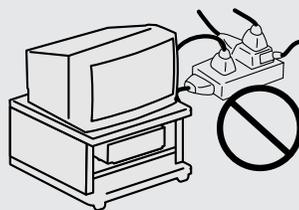
異なる電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。



発火注意

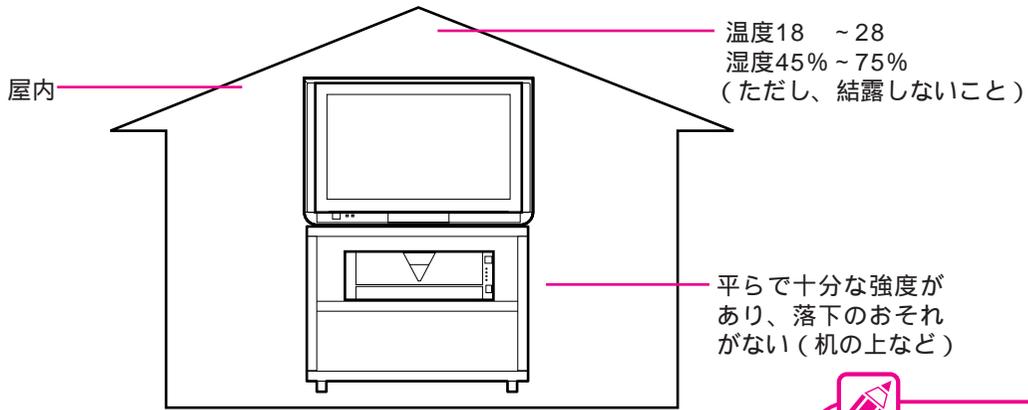
タコ足配線にならないように、ACコンセントから直接電源がとれる場所に設置してください。

本機の電源ケーブルを、タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となります。



## 設置に適した場所

設置に適した場所は、次のような場所です。



32インチまたは28インチBSワイドディスプレイテレビを使用する場合は、別売のテレビスタンド(32インチの場合PC-TS32W、28インチの場合PC-TS28W)のご使用をおすすめします。設置方法については、P.17とテレビスタンドのマニュアルをご覧ください。



### 結露とは?

結露とは、空気中の水分が金属の板の表面などに付着し、水滴となる現象です。たとえば、寒い屋外から暖かい部屋へ入ったときに眼鏡がくもるなどの現象が結露です。

上記の例と同様に、本機の温度が低いまま室温の高い部屋に持ち込んだ場合などには、本機の内部や外部に結露することがあります。

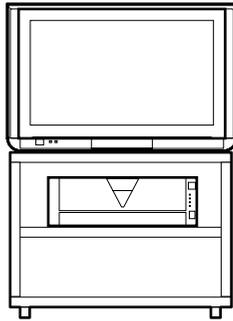
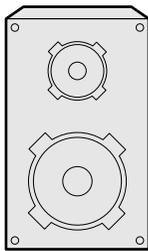
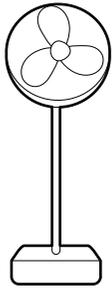
万一、このような温度変化が加わった場合は、しばらく本機を放置して露が乾くのを待ってから、電源をONにしてください。本機の電源がONにならない等の異常が発生した場合は、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

## 設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

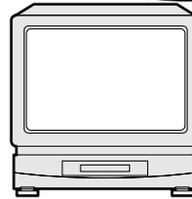
**磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く**

磁気の影響を受けて、ディスプレイの画面が揺れたり表示される色が乱れたりすることがあります。送電線が近くに通っている場合にも同じような現象が起きることがあります。

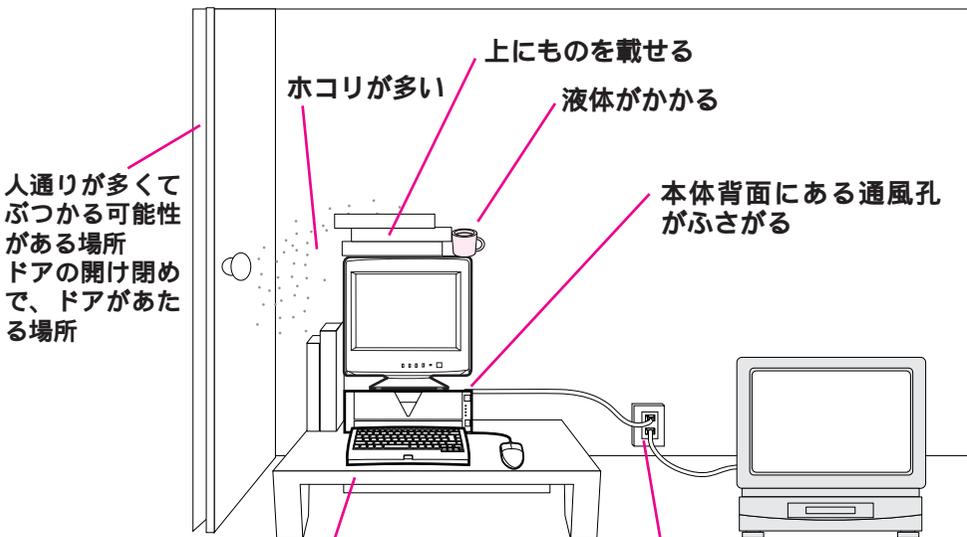


暖房器具の近く

薬品のそば



テレビ、ラジオ、コードレス電話、他のディスプレイなどの近く  
これらの機器にノイズが入ることがあります。



人通りが多くてぶつかる可能性がある場所  
ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

ホコリが多い

上にものを載せる

液体がかかる

本体背面にある通風孔がふさがる

温風式コタツの上

磁気の影響を受けて、ディスプレイの画面が揺れたり、表示される色が乱れたりすることがあります。

テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う  
同じACコンセントを使うと、テレビ、ラジオに雑音が入ることがあります。

# 設置のしかた

設置場所が決まったら、本機を設置します。本機は精密機械です。手順を守って慎重に取り扱ってください。

## ⚠注意



持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。特にディスプレイのブラウン管を傷つけないように注意してください。

万一、強い衝撃を与えたり、ディスプレイのブラウン管やキャビネットを破損したりしたときは、ご購入元またはNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。



本体を足の上に倒したりすると、けがをすることがあります。持ち運ぶときは、本体前面下部のコネクタカバーを持たないでください。

コネクタカバーが外れて本体が落下し、けがの原因となります。



次のことに注意してください。

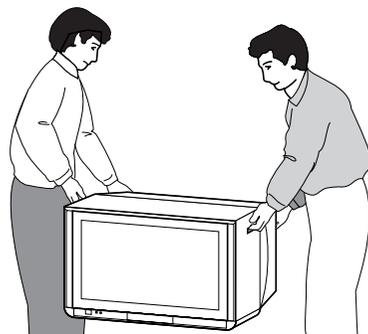
- ・ディスプレイを持ち上げるときは、2人で持つことをおすすめします。
- ・十分な強度のある机の上か床の上に置いてください。

## 本体およびディスプレイの持ち方

本体およびディスプレイを移動する場合などには、本体とディスプレイは別々に持ち運んでください。

ディスプレイを持ち上げるときは、図のように2人で持つことをおすすめします。

17インチディスプレイを1人で持ち上げる場合は、ディスプレイの画面を自分の方向に向けて持つようにしてください。





本体を移動させるときは、フロントカバーに手をかけないでください。フロントカバーがはずれるおそれがあります。

1

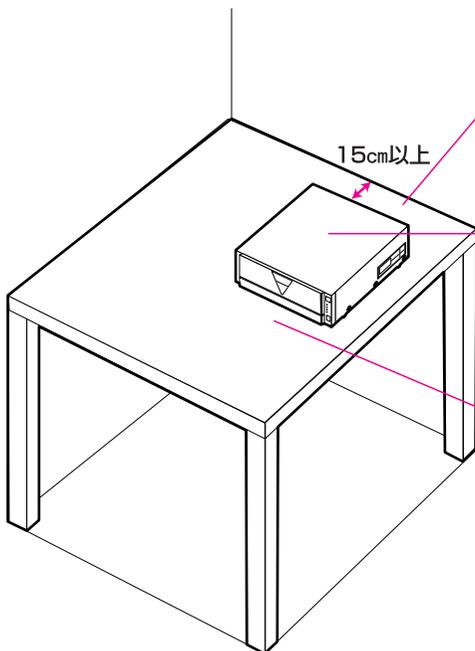
本体を、設置に適した場所 (P.13) に静かに置きます。



32インチまたは28インチBSワイドディスプレイテレビを使用する場合は、別売のテレビスタンド(32インチの場合PC-TS32W、28インチの場合PC-TS28W)のご使用をおすすめします。設置方法については、P.17とテレビスタンドのマニュアルをご覧ください。



衝撃を加えると、故障や破損の原因となります。



本体背面と壁との間に15cm以上のすきまをあけてください。また、機器の接続がしやすいようにゆとりをもって置いてください。

縦置きしないでください。

キーボードやマウスが余裕をもって操作できるスペースを確保してください。



- 本体を傾斜面や不安定な面に置かないでください。本体の故障の原因となります。
- 本体は横置きで使用、保管してください。縦置きで使用または保管すると、故障の原因となります。

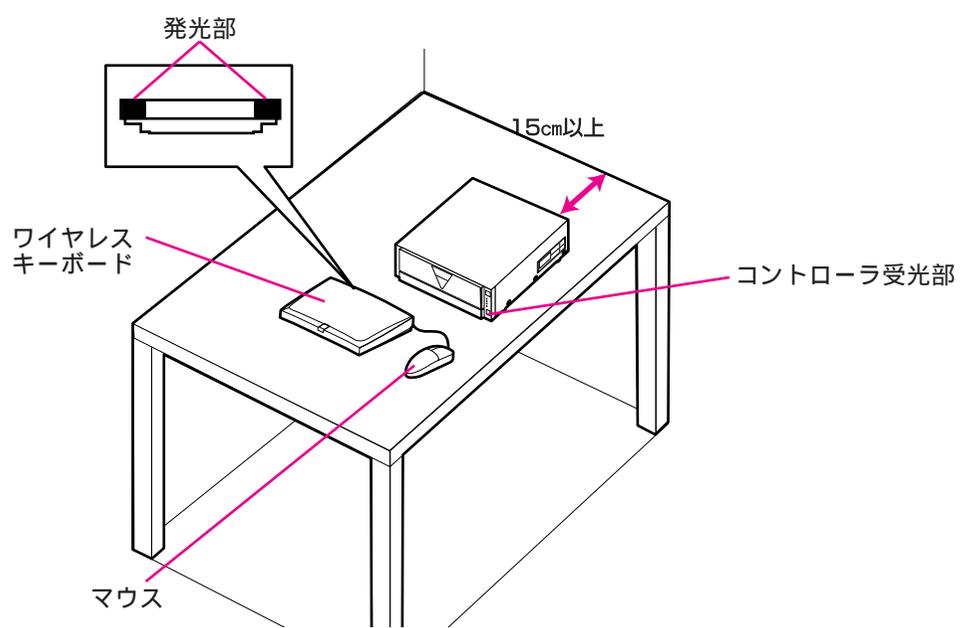
- 2** ディスプレイを、設置に適した場所 (P.13) に静かに置きます。
- 3** ワイヤレスキーボード、マウスを、使いやすい位置に静かに置きます。
- 4** スピーカセットを使用する場合は、使いやすい位置に静かに置きます。



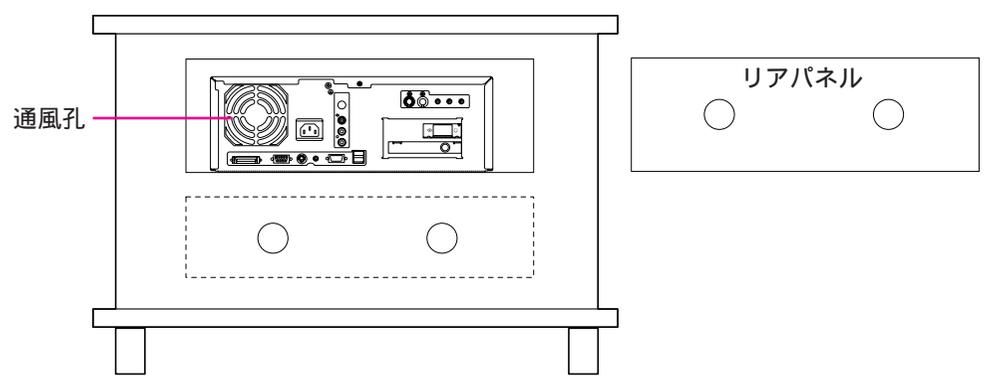
ワイヤレスキーボードの左右どちらかの発光部が本体のコントローラ受光部の方を向くようにしてください。詳しくはP.31をご覧ください。



- ・本体には、BSワイドディスプレイテレビはのせられません。
- ・衝撃を加えると、故障や破損の原因となります。



別売のテレビスタンド(PC-TS32WまたはPC-TS28W)を使用する場合の設置方法



必ずテレビスタンドのリアパネルを切り取ってから本体を設置してください。また、本体背面の通風孔がテレビスタンドの背面から見えるように設置してください。詳しくは、テレビスタンドのマニュアルをご覧ください。



- ・熱を発生するオーディオ機器などを本体の近くに置かないでください。
  - ・本体の通風孔をふさがないようにしてください。
  - ・ソフトウェアまたはメディアコントローラでCD-ROMを取り出す場合は、テレビスタンド前面のガラス扉を開けてから操作してください。
-

## 必要な機器を接続する

設置が終わったら、必要な機器を接続して本機を使えるようにしましょう。

### 接続の前に

アース線の接続

ワイヤレスキーボード、マウスの接続

ディスプレイの接続

スピーカセットの接続

マイクロホンの接続

電話回線の接続

アンテナの接続

メディアコントローラに乾電池を入れる

本体電源ケーブルの接続

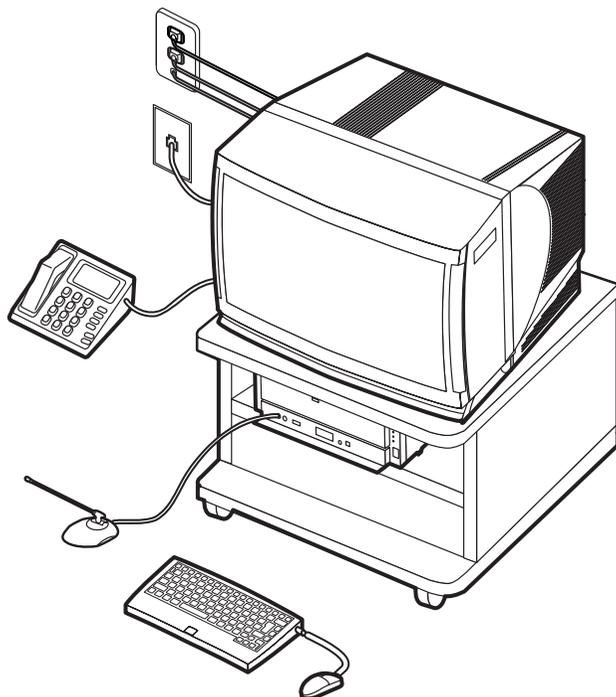
# 接続の前に

電源をONにする前に、必要な機器を接続しましょう。ここでは、実際に機器を接続する前に、どこにどんな機器を接続するか、イメージをつかんでください。実際の接続手順はこのあとのページで詳しく説明しています。また、接続する際の注意事項も確認してください。

## 標準的な接続例

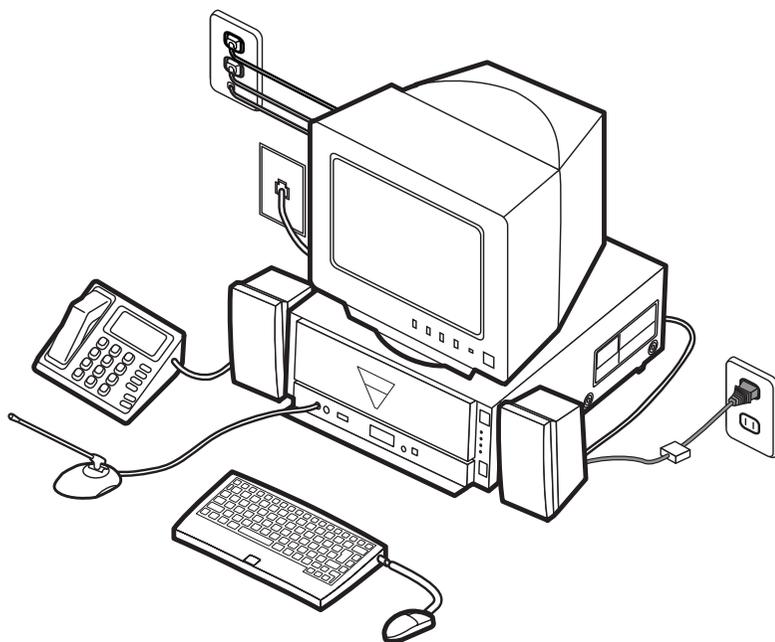
本機に必要な機器を接続すると、次のようになります。

別売のBSワイドディスプレイテレビ( PC-DH32W1、PC-DH28W1 )を接続する場合



ディスプレイに添付の取扱説明書をあわせてご覧ください。

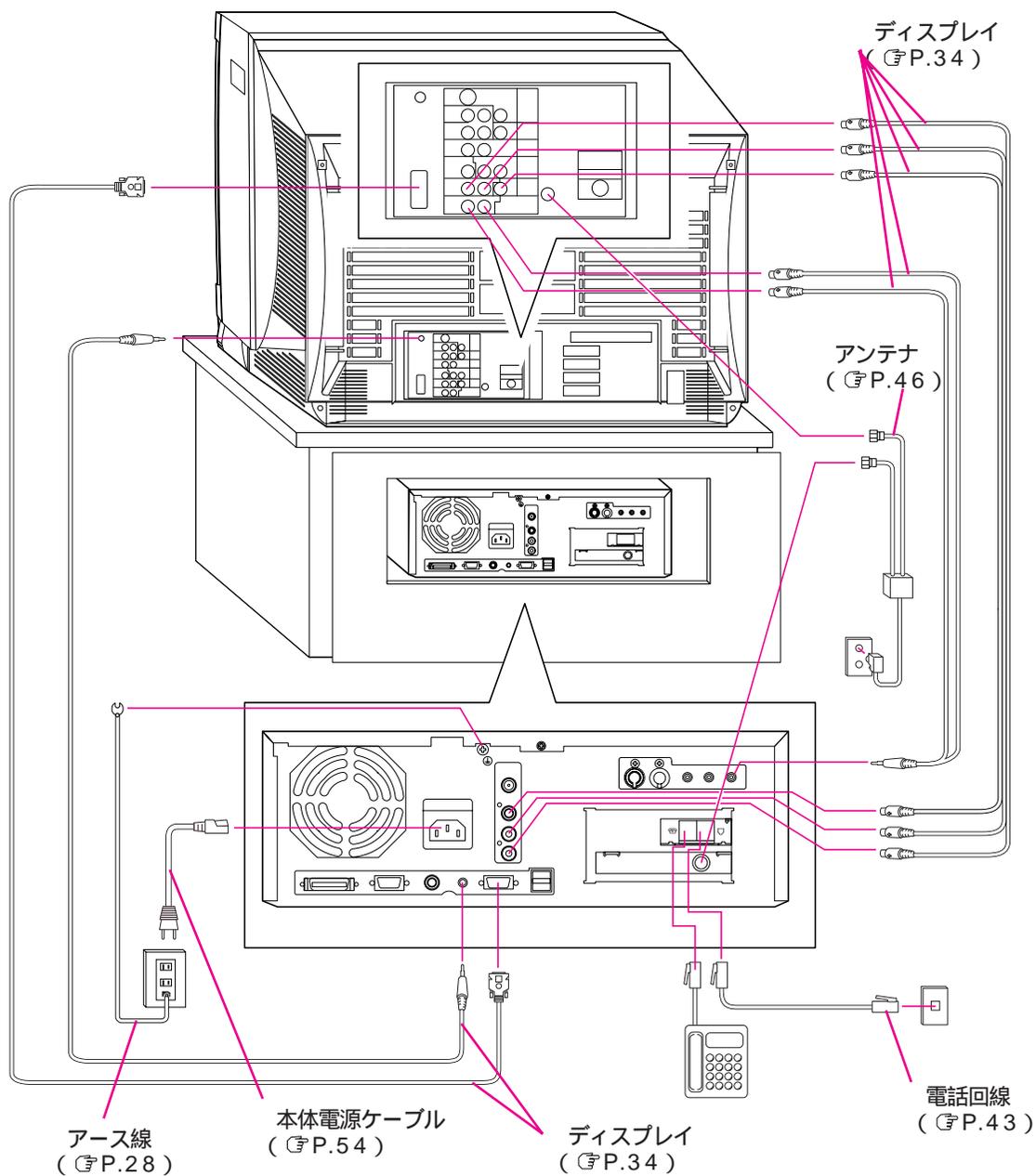
別売の17インチディスプレイ(PC-DH171)とアンプ内蔵スピーカセット(PC-SP700(BK))を接続する場合

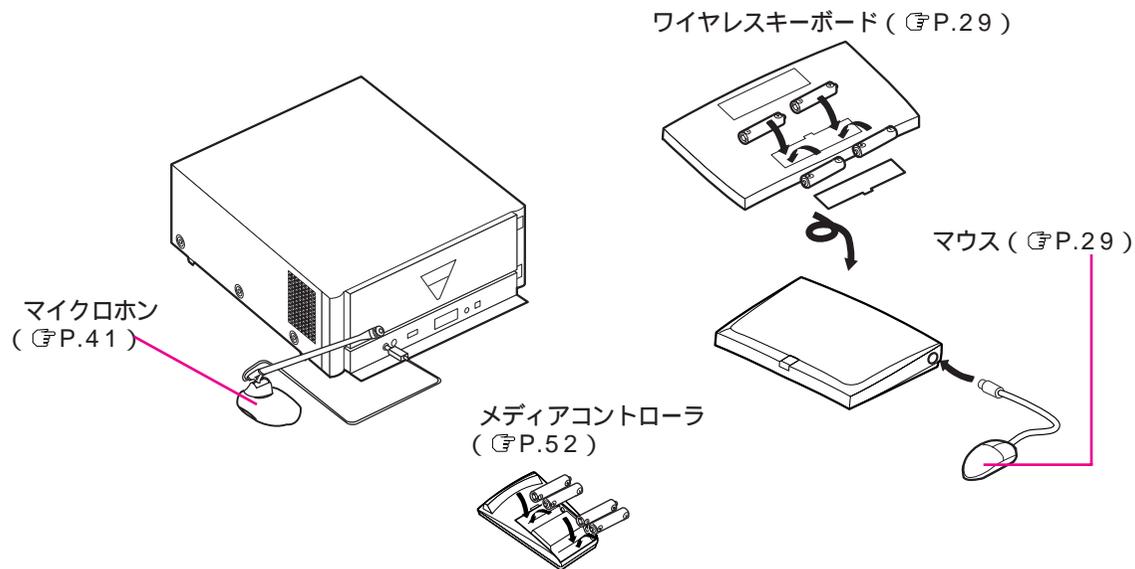


## 接続のしかた

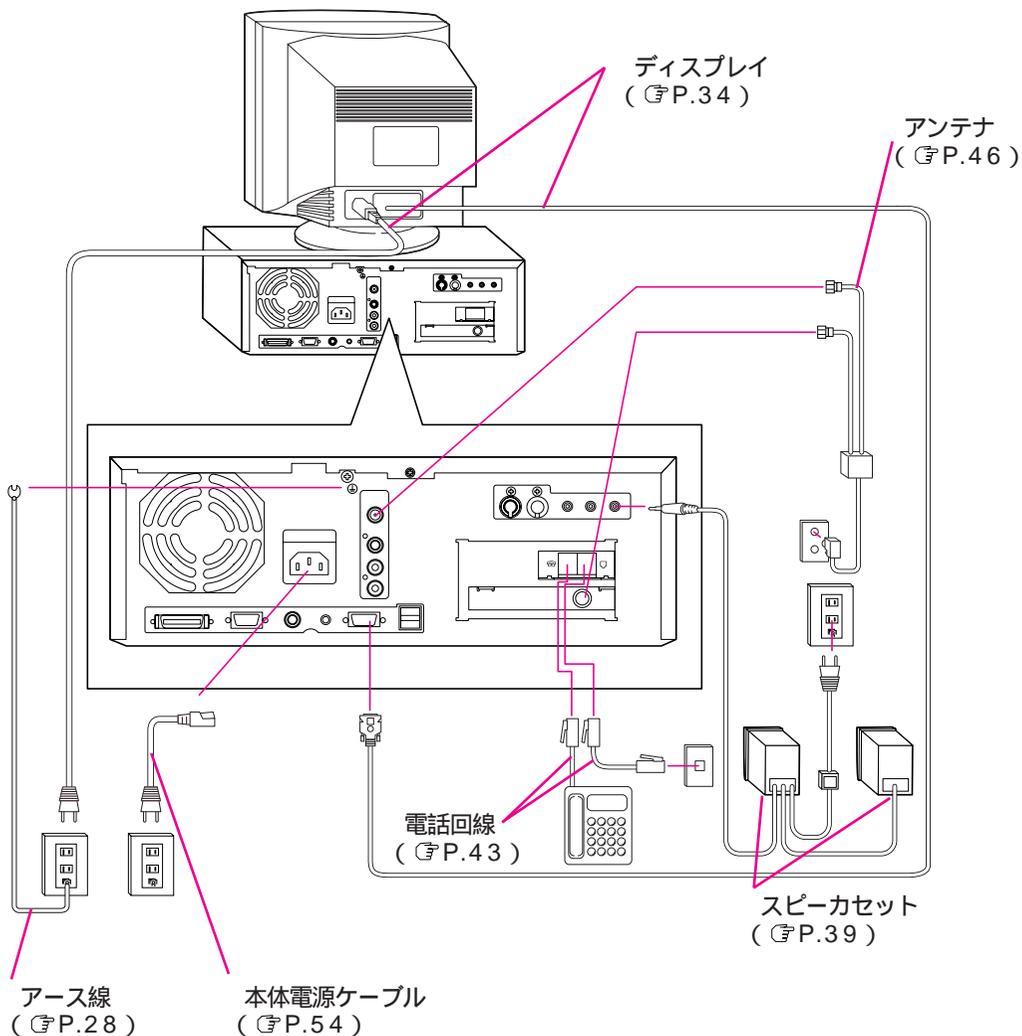
機器を接続するときは、次のような順で接続していきます。  
詳しい説明は、それぞれのページをご覧ください。

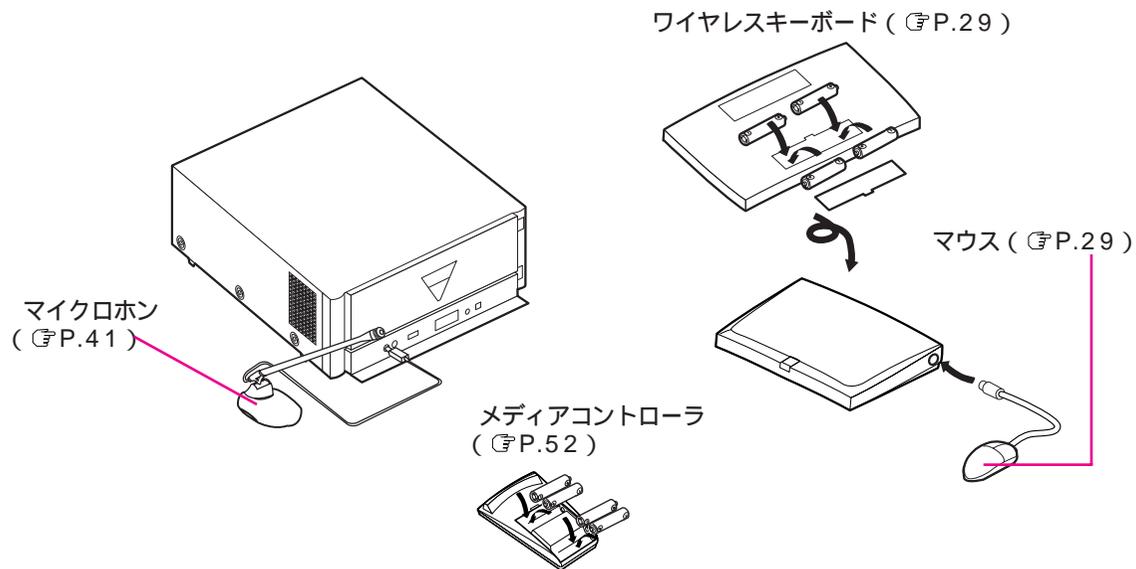
別売のBSワイドディスプレイテレビ( PC-DH32W1、PC-DH28W1 ) を接続する場合





別売の17インチディスプレイ(PC-DH171)とアンプ内蔵スピーカセット(PC-SP700(BK))を接続する場合





## 接続するときの注意

### ⚠警告



雷が鳴り出したら、本機やアンテナ線、電源ケーブル、ACアダプタ、回線に接続されているケーブルに触れたり、周辺機器の取り付け/取り外しをしたりしないでください。

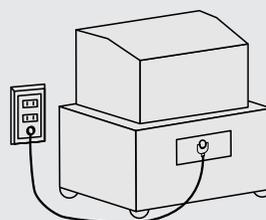
落雷による感電のおそれがあります。

### ⚠注意



必ず本体にアース線を接続してください。

アース線を接続しないと、感電の原因となります。



アース線を接続するときは、必ず電源ケーブル、ACアダプタのプラグをACコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。



周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブル、ACアダプタのプラグをACコンセントから抜いてください。

感電の原因となります。



ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。

けがの原因となります。

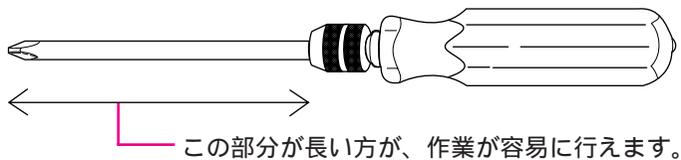


ケーブルのコネクタは無理に押し込まないでください。

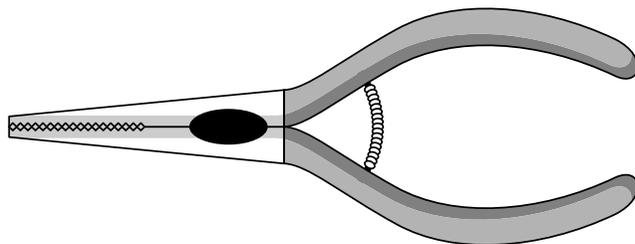
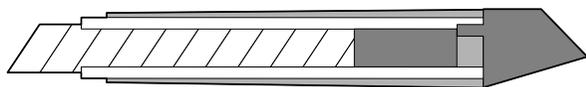
各コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと、接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっていきます。もしうまく差し込めないときは、無理に押し込まずに、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。

## 必要な工具について

本機では、アース線の接続をする場合に、+（プラス）ドライバが必要です。



また、アンテナを接続する場合に、カッター、ペンチが必要です。



# アース線の接続

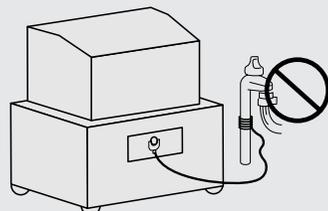
添付のアース線を、本体のアース端子とACコンセントのアース端子に接続します。

## ⚠注意



発火注意

アース線は絶対にガス管にはつながないでください。



感電注意

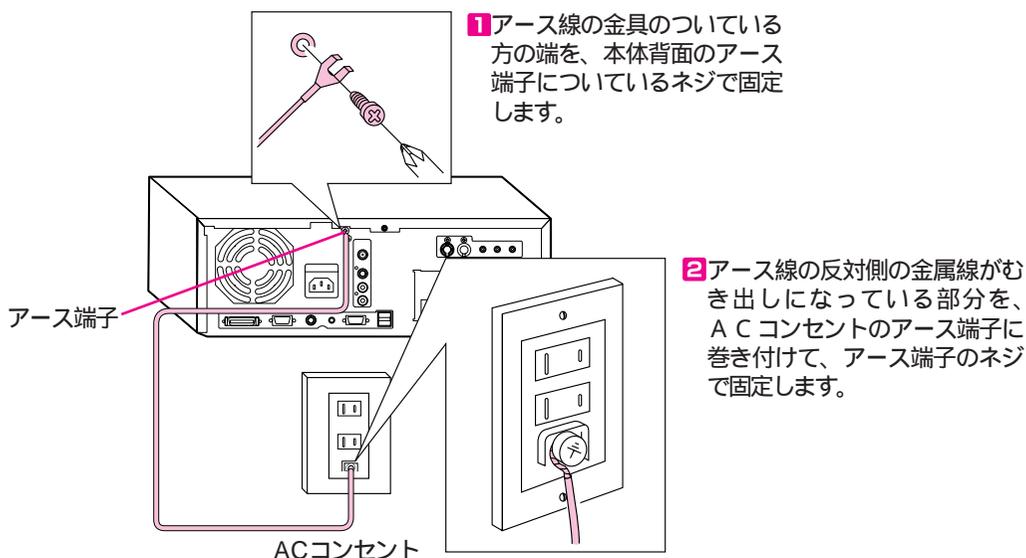
アース線の接続や取り外しをするときは、必ず電源ケーブル、ACアダプタのプラグをACコンセントから抜いてください(周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源ケーブルのプラグもACコンセントから抜いてください)



感電の原因となります。



- ・アース線は水道管につながないでください。アースできないことがあります。
- ・アース線は電話専用のアース端子には接続しないでください。電話にノイズが入ることがあります。



# ワイヤレスキーボード、マウスの接続

## ⚠注意



破裂注意

乾電池をショートさせないでください。

乾電池が破裂し、けがの原因となります。

乾電池を火の中へ入れないでください。

破裂して、けがの原因となります。



毒物注意

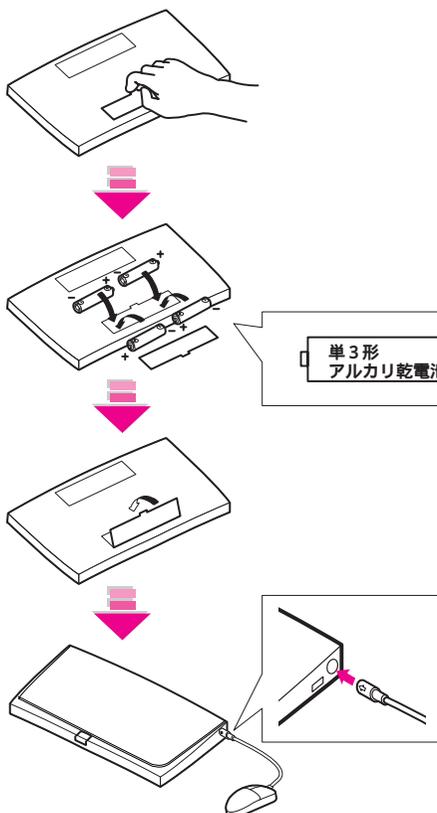
乾電池を分解しないでください。

有毒物質が出て体に悪影響を及ぼすことがあります。



乾電池を取り扱うときは、次のことに注意してください。ワイヤレスキーボードの故障の原因となります。

- ・ワイヤレスキーボードには、必ず「アルカリ乾電池」を使用してください。
- ・長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・プラス(+)とマイナス(-)の向きをワイヤレスキーボードの表示通りに入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・乾電池を交換するときは、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- ・ワイヤレスキーボードには、ニカド電池は使わないでください。



1 ワイヤレスキーボードを裏返します。

2 ワイヤレスキーボード底面の手前側のフタのツメ(電池のマーク がある方)に指をかけて手前に引っぱり、カバーを外します。

3 +の方向を確かめて、添付の「アルカリ乾電池」4本を入れます。

4 カバーを元に戻します。

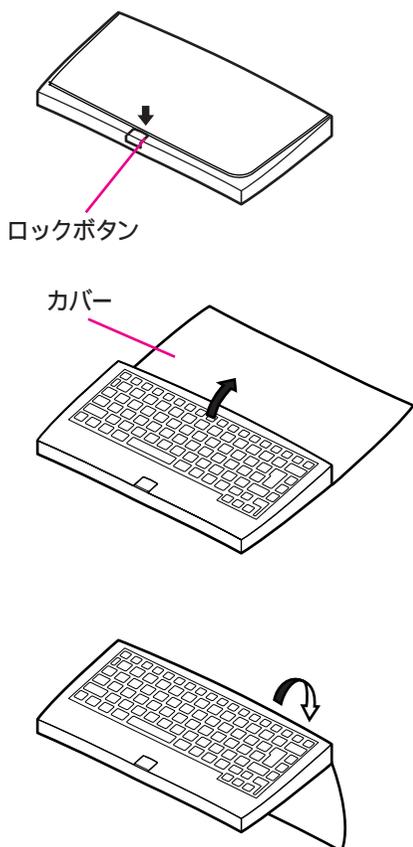
5 裏返しになっているワイヤレスキーボードを元に戻します。

6 マウスのケーブルプラグを、矢印マークを上に向けて、ワイヤレスキーボード右側の丸いコネクタに差し込みます。



添付のマウス以外は差し込まないでください。

## ワイヤレスキーボードのカバーの開け方



- 1 ワイヤレスキーボードのロックボタンを押します。  
カバーのロックが外れます。



ワイヤレスキーボードを手に持ったままロックボタンを押さないでください。カバーがはね上がり、破損するおそれがあります。

- 2 カバーを持ち上げて、反対側に静かに倒します。

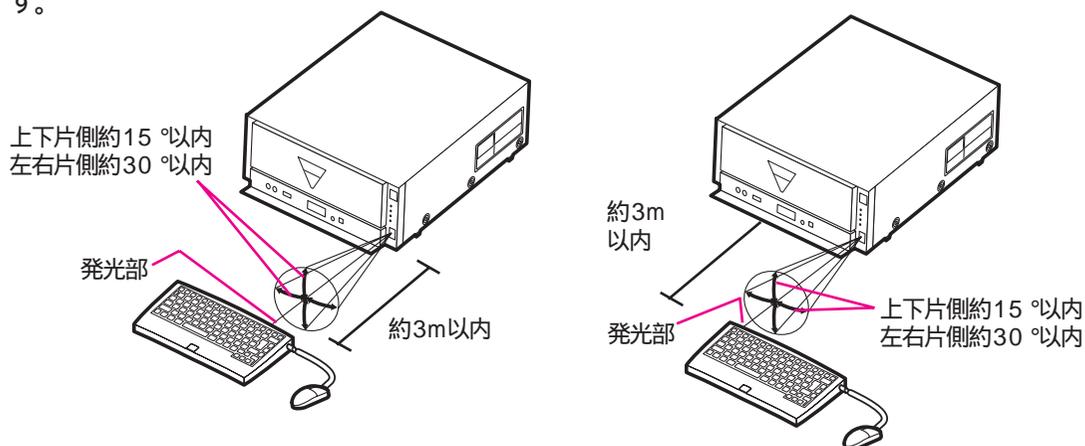
カバーは、ワイヤレスキーボードの裏側に回すこともできます。



カバーを閉めるときは、ロックボタンからパチンと音がするまで閉めてください。

## ワイヤレスキーボードを操作できる範囲

添付のワイヤレスキーボード、マウスを使用するときには、本体のコントローラ受光部に向けてワイヤレスキーボードを配置してください。障害物でコントローラ受光部を隠したりさえぎったりしないでください。操作できる範囲は次の図のとおりです。



- ・ワイヤレスキーボードの送信部は2カ所あり、どちらも同じように動きます。
- ・別売のテレビスタンド内でガラス扉を閉めてご使用になると、操作できる範囲が狭くなる場合があります。その場合は赤外線延長ユニットをご使用ください。
- ・コントローラ受光部や赤外線延長ユニットに日光が当たると、ワイヤレスキーボードが正常に動かなくなることがあります。

## 赤外線延長ユニット

ワイヤレスキーボードを操作できる範囲は、本体から約3m以内です。添付の赤外線延長ユニットを接続することで、ワイヤレスキーボードから本体が見えないような場所でもワイヤレスキーボードを使用することができます。

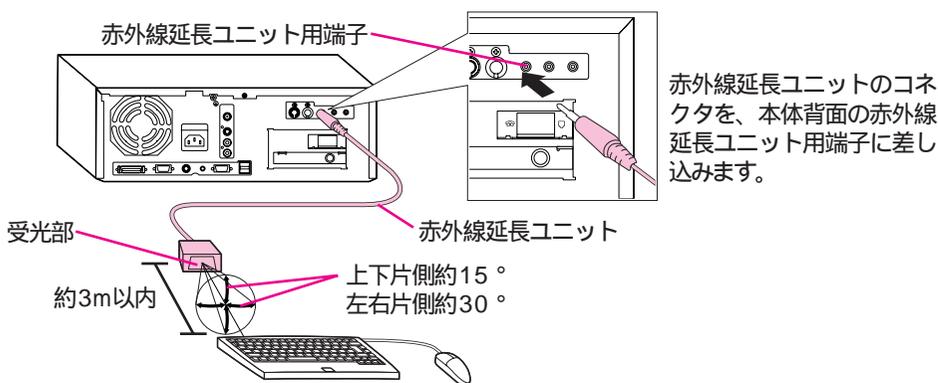
赤外線延長ユニットの使用方法については、『ステップアップガイド』をご覧ください。



赤外線延長ユニットを本体背面の赤外線延長ユニット用端子に接続している場合は、本体のコントローラ受光部でワイヤレスキーボードを使用することはできません。詳しくは、『ステップアップガイド』の「ワイヤレスキーボード」をご覧ください。

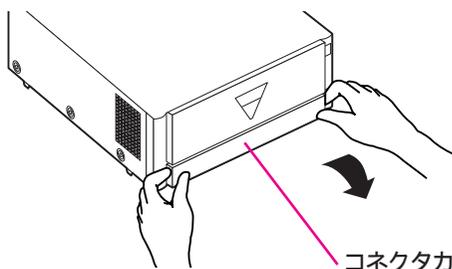


赤外線延長ユニットをアンテナ線の近くで使用すると、正常に動かない場合があります。赤外線延長ユニットを使用する場合は、アンテナ線の近くに設置しないでください。また、赤外線延長ユニットのケーブルがアンテナ線と絡まないようにしてください。



## ワイヤレスキーボードケーブル

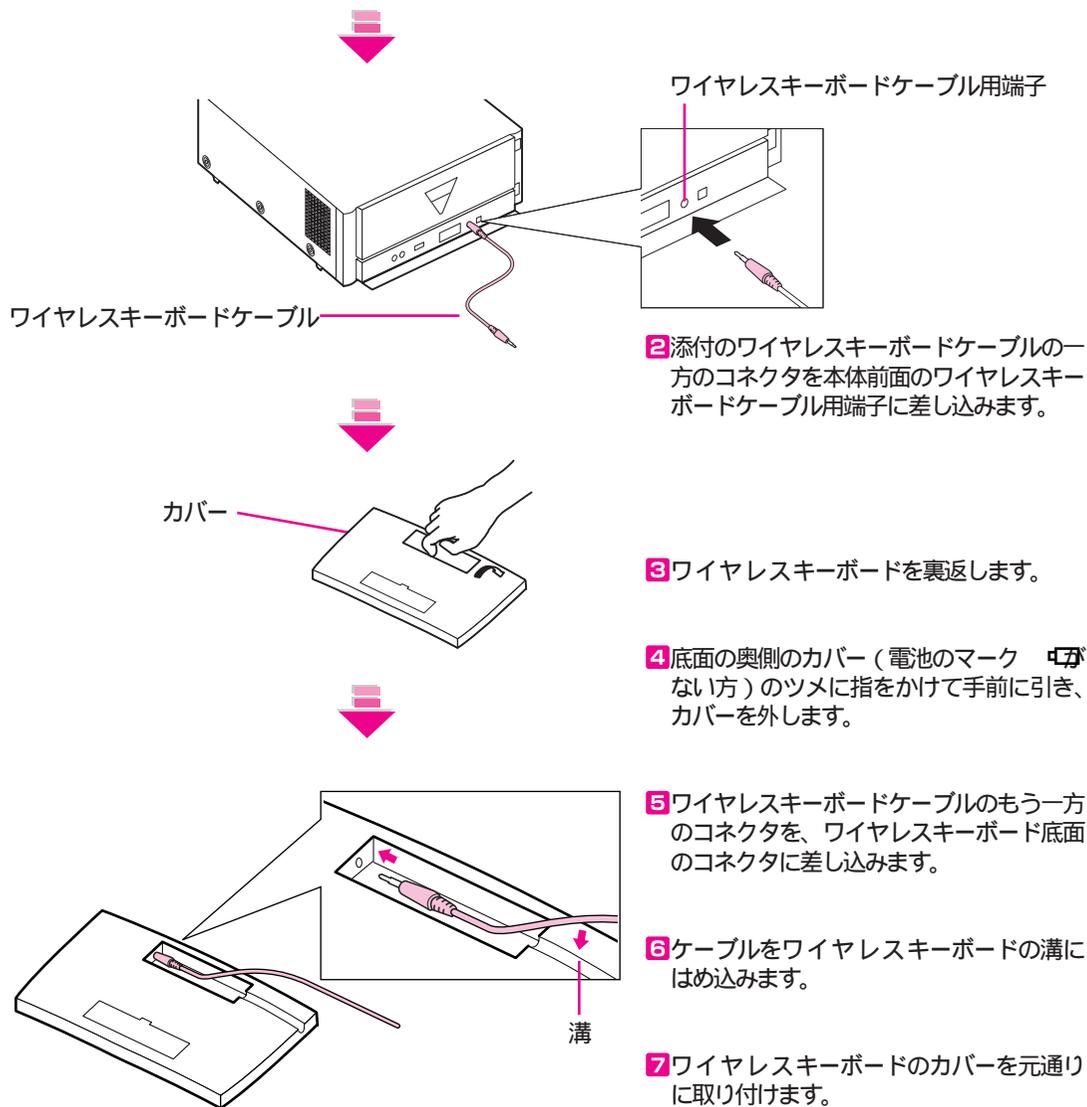
電池が消耗した場合などは、本体とワイヤレスキーボードを添付のワイヤレスキーボードケーブルで接続することで、一時的にワイヤレスキーボードを使用することができます。



1 コネクタカバーの側面に指をかけて手前に開きます。

コネクタカバー





- ワイヤレスキーボードケーブルは必ず本体前面のワイヤレスキーボードケーブル用端子に接続してください。本体背面のキーボード用コネクタ  には接続できません。
- ワイヤレスキーボードケーブルを取り外した場合、カバーの内側に収納しないでください。
- 本体とワイヤレスキーボードを添付のワイヤレスキーボードケーブルで接続した場合は、メディアコントローラのトラックボール、カーソルボタン、ESCボタン、Enterボタンは使用できません。詳しくは、『ステップアップガイド』の「メディアコントローラ」をご覧ください。



本機では、別売のPC-9800シリーズ用キーボード、PC-H98シリーズ用マウスも使用できます。接続方法と設定方法は、『ステップアップガイド』のPart1の「ワイヤレスキーボード」「マウス」をご覧ください。

# ディスプレイの接続

## ⚠注意



感電注意

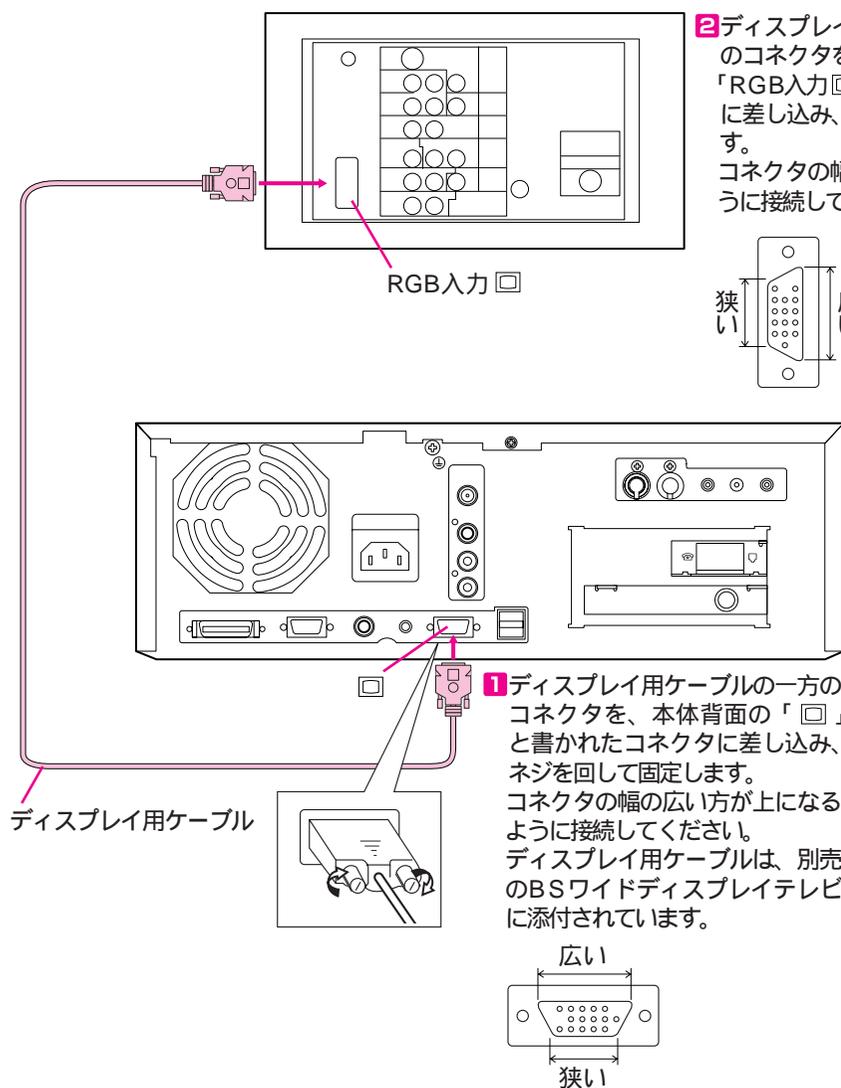
ディスプレイを接続するときは、本体の電源ケーブルを抜いてください。

本体の電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続したままディスプレイを接続すると、感電の原因となります。



- ・ディスプレイの取り扱い方法については、ディスプレイの取扱説明書を必ずお読みください。
- ・ディスプレイは別売です。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「別売のディスプレイを使う」をご覧ください。
- ・アンテナの接続は、P46をご覧ください。

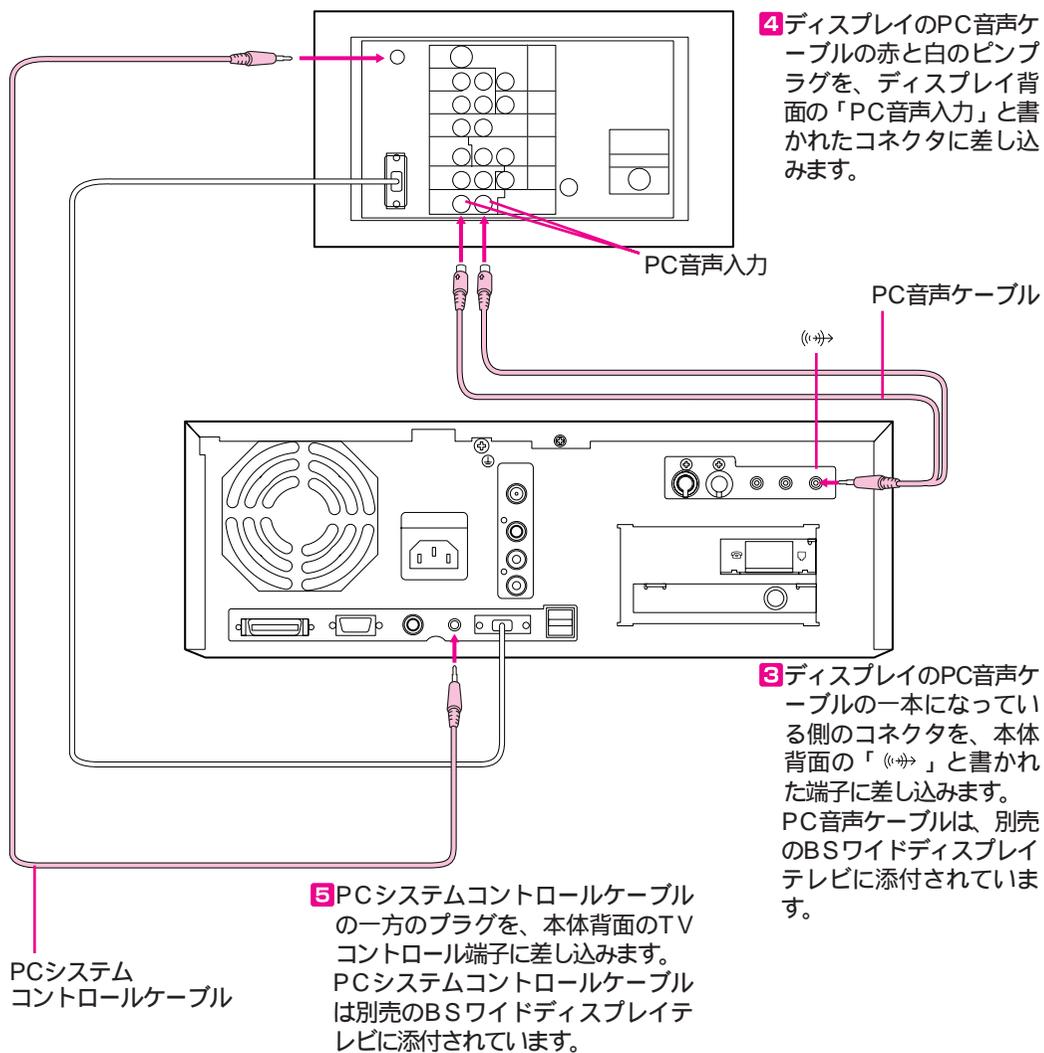
## 別売のBSワイドディスプレイテレビ( PC-DH32W1、PC-DH28W1 )を接続する場合

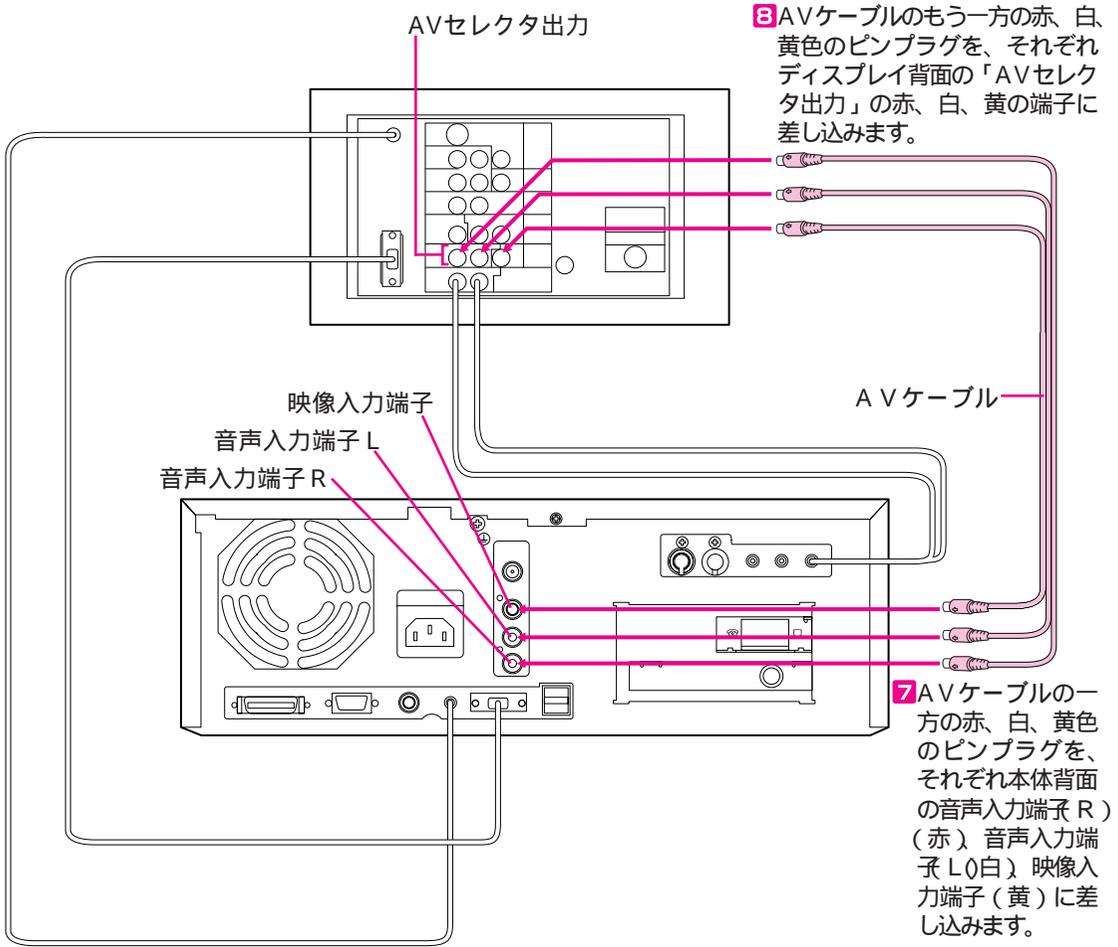


**2** ディスプレイ用ケーブルのもう一方のコネクタを、ディスプレイ背面の「RGB入力□」と書かれたコネクタに差し込み、ネジを回して固定します。コネクタの幅の広い方が右になるように接続してください。

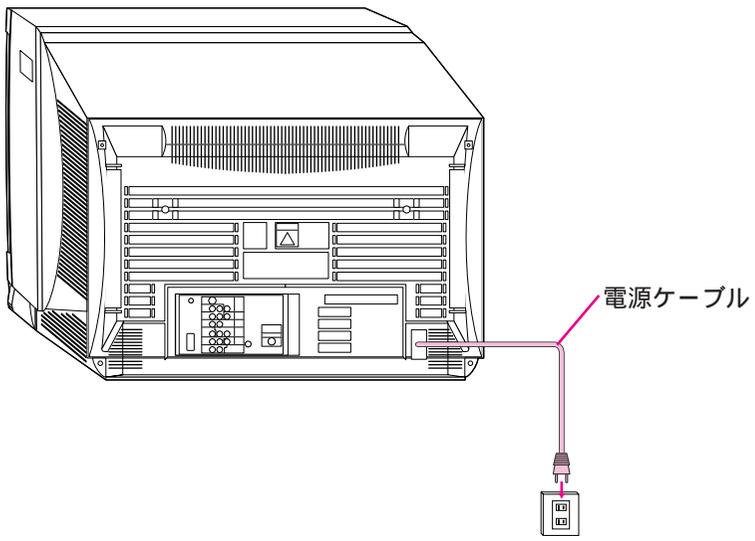
**1** ディスプレイ用ケーブルの一方のコネクタを、本体背面の「□」と書かれたコネクタに差し込み、ネジを回して固定します。コネクタの幅の広い方が上になるように接続してください。ディスプレイ用ケーブルは、別売のBSワイドディスプレイテレビに添付されています。

- 6** PCシステムコントロールケーブルのもう一方のプラグを、ディスプレイ背面の「PCシステム端子」と書かれた端子に差し込みます。



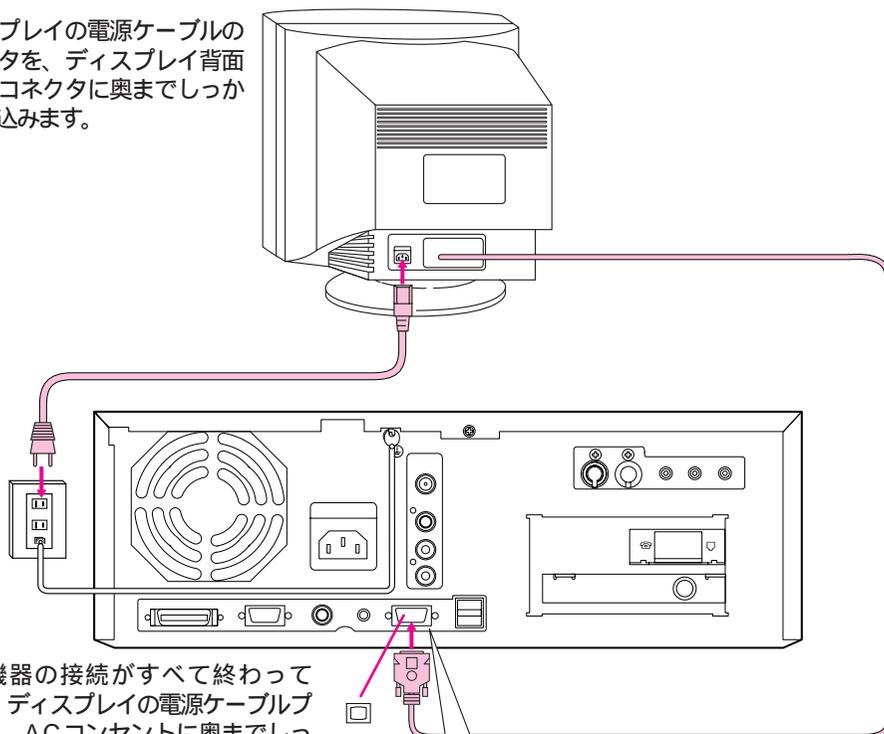


9 他の機器の接続がすべて終わってから、ディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに奥までしっかり差し込みます。



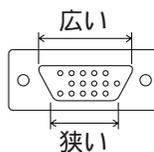
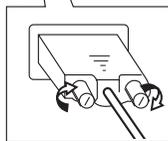
## 別売の17インチディスプレイ(PC-DH171)を接続する場合

②ディスプレイの電源ケーブルのコネクタを、ディスプレイ背面の電源コネクタに奥までしっかり差し込みます。



③他の機器の接続がすべて終わってから、ディスプレイの電源ケーブルプラグを、ACコンセントに奥までしっかり差し込みます。

①ディスプレイ用ケーブルのコネクタを、本体背面の「□」と書かれたコネクタに差し込み、ネジを回して固定します。コネクタの幅の広い方が上になるように接続してください。



# スピーカセットの接続

別売のアンブ内蔵スピーカセット(PC-SP70(BK))を接続する場合の接続方法を説明します。

## ⚠注意



感電注意



発火注意

**添付のACアダプタを使用してください。**

添付以外のACアダプタを使用すると、感電、発煙、火災の原因となります。

**ACアダプタは、絶対に分解しないでください。**

ACアダプタ内部には電圧の高い部分があり、触れると感電することがあります。

**ACアダプタの上には、絶対に重いものを載せないでください。**

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因となります。



感電注意

**ACアダプタのプラグは、濡れた手で抜き差ししないでください。**

感電の原因となります。



発火注意

**タコ足配線にしないでください。**

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となります。

**ACアダプタを布などでくるまないでください。**

本機使用時にはACアダプタが発熱するため、布などでくるむとACアダプタが過熱し、火災の原因となります。



スピーカセットは右側用と左側用があります。スピーカセットに添付の「取り扱いの手引き」をご覧のうえ、正しく設置してください。



- ・スピーカセットを設置するときは、ディスプレイの画面と密着させて置いたり、ディスプレイの上に置いたりしないでください。
- ・ディスプレイの色がにじんだり、画像にムラがでたりする場合は、スピーカセットをディスプレイから離して設置してください。
- ・ACアダプタをディスプレイの近くに置かないでください。画面表示が乱れることがあります。

17インチディスプレイ

**1**スピーカセットのステレオミニプラグケーブルのプラグを本体背面の「(←)」と書かれた端子に差し込みます。

(←)

ACアダプタ

R-ch

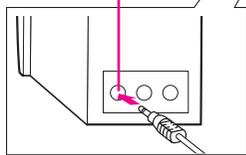
L-ch

スピーカ

ステレオミニプラグケーブル

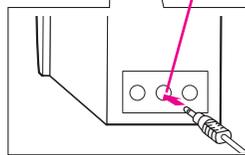
**5**他の機器の接続がすべて終わってから、ACアダプタのプラグを、ACコンセントに奥までしっかり差し込みます。

(←)



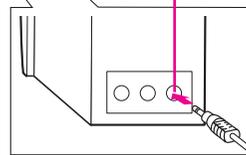
**2**スピーカセットのステレオミニプラグケーブルのもう一方のプラグをスピーカ（R-ch）背面の「(←)」と書かれた端子に差し込みます。

(←)



**3**スピーカ（L-ch）のミニプラグケーブルの端子をスピーカ（R-ch）背面の「(←)」と書かれた端子に差し込みます。

≡



**4**ACアダプタをスピーカ（R-ch）背面の「≡」と書かれた端子に差し込みます。

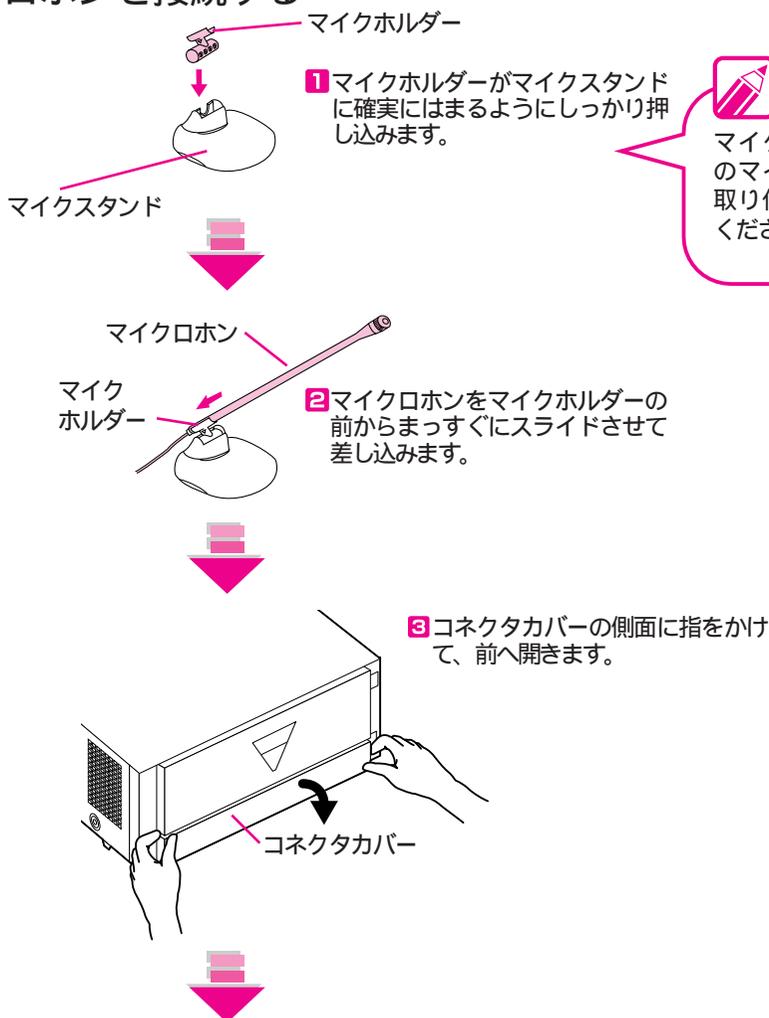
# マイクロホンの接続

マイクロホンを接続すると、本機に音声を取り込むことができます。

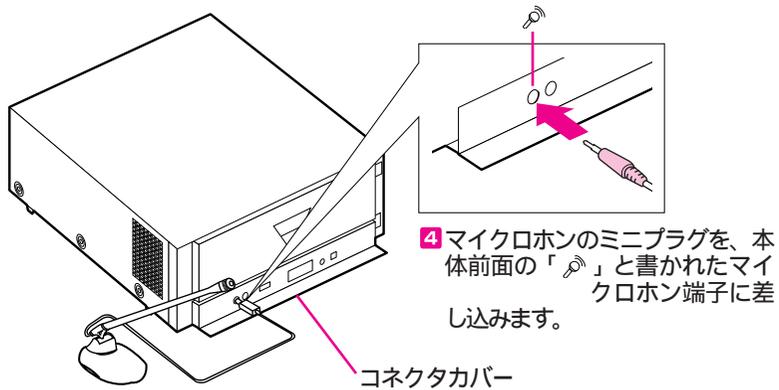


- ・添付のマイクロホン、または本機のマイクロホン端子に対応している別売の周辺機器以外は接続しないでください。本体の故障の原因となります。
- ・添付のマイクロホンには、強い衝撃を与えないでください。
- ・添付のマイクロホンは、高温の自動車内、アンプ類の上、暖房器具の付近など、高温、高湿度の場所に放置しないでください。また、水がかからないようにしてください。
- ・添付のマイクロホンを接続するときは、本体の音量を下げてから接続してください。

## マイクロホンを接続する



マイクロホンは添付のマイクスタンドに取り付けて使用してください。



# 電話回線の接続

本機のパソコン通信、インターネット、FAXの送受信、留守番電話などの機能を使う場合は、電話回線を接続します。

## ⚠注意



感電注意

モジュラーケーブルを接続するときは、電源ケーブルを抜いてください。

本体や周辺機器の電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続したままモジュラーケーブルを接続すると、感電の原因となります。

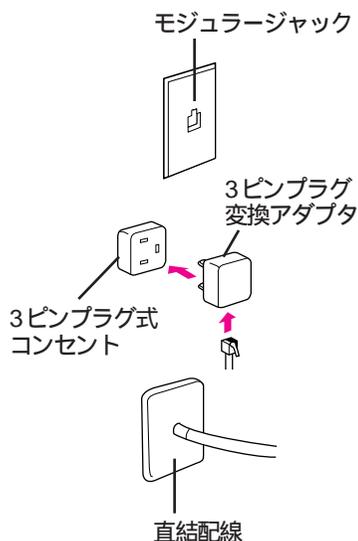
モジュラーケーブルを接続するときは、モジュラーケーブルの端子部分に触れないようにしてください。

感電の原因となります。

## 電話回線について

電話回線には次の3種類があります。

- ・モジュラージャック式  
お客様自身で、電話回線を接続することができます。
- ・3ピンプラグ式コンセント  
市販の3ピンプラグ変換アダプタを使用するか、NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。
- ・直結配線方式  
モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにモジュラージャックの取り付けをご相談ください。



必要な機器を接続する



- ・FAXモデムボードに接続できる回線は2線式のみです。
- ・FAXモデムボードに接続できる電話機は2線式の回線用のみです。
- ・電話回線を接続する際には、設定が必要な場合があります。電話回線について詳しくは、『ステップアップガイド』の「Part1 本機の基礎知識」の「FAXモデムボード」をご覧ください。

## ケーブルの準備

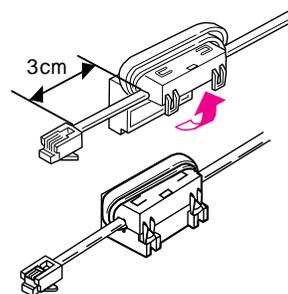
添付のモジュラーケーブルと電話機のモジュラーケーブルには、次のようにして、添付のノイズ除去用部品を取り付けてください。

**1** ノイズ除去用部品のフタを、ドライバなどを使って開け、図のようにケーブルを2回巻き付けます。ノイズ除去用部品は、FAXモデムボードに接続する側のコネクタから約3cmのところに取り付けてください。

**2** ケーブルをはさまないようにして、ノイズ除去用部品のフタを「カチッ」と音がするまで閉じます。



ノイズ除去用部品の形状は、図と多少異なる場合があります。





# アンテナの接続

本機でテレビまたはビットキャスト放送を見るときは、テレビ用のアンテナを接続します。

別売のBSワイドディスプレイテレビ (PC-DH32W1、PC-DH28W1) を使用する場合は、テレビにアンテナを接続します。詳しくは、BSワイドディスプレイテレビのマニュアルをご覧ください。

ビットキャスト放送について、詳しくは『ビットキャストブラウザ ユーザーズガイド』をご覧ください。

## ⚠ 警告



感電注意

**雷が鳴り出したらアンテナの接続を行わないでください。**

落雷による感電のおそれがあります。

## ⚠ 注意



感電注意

**アンテナを接続するときは、電源ケーブルを抜いてください。**

本体や周辺機器の電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続したままアンテナを接続すると、感電の原因となります。

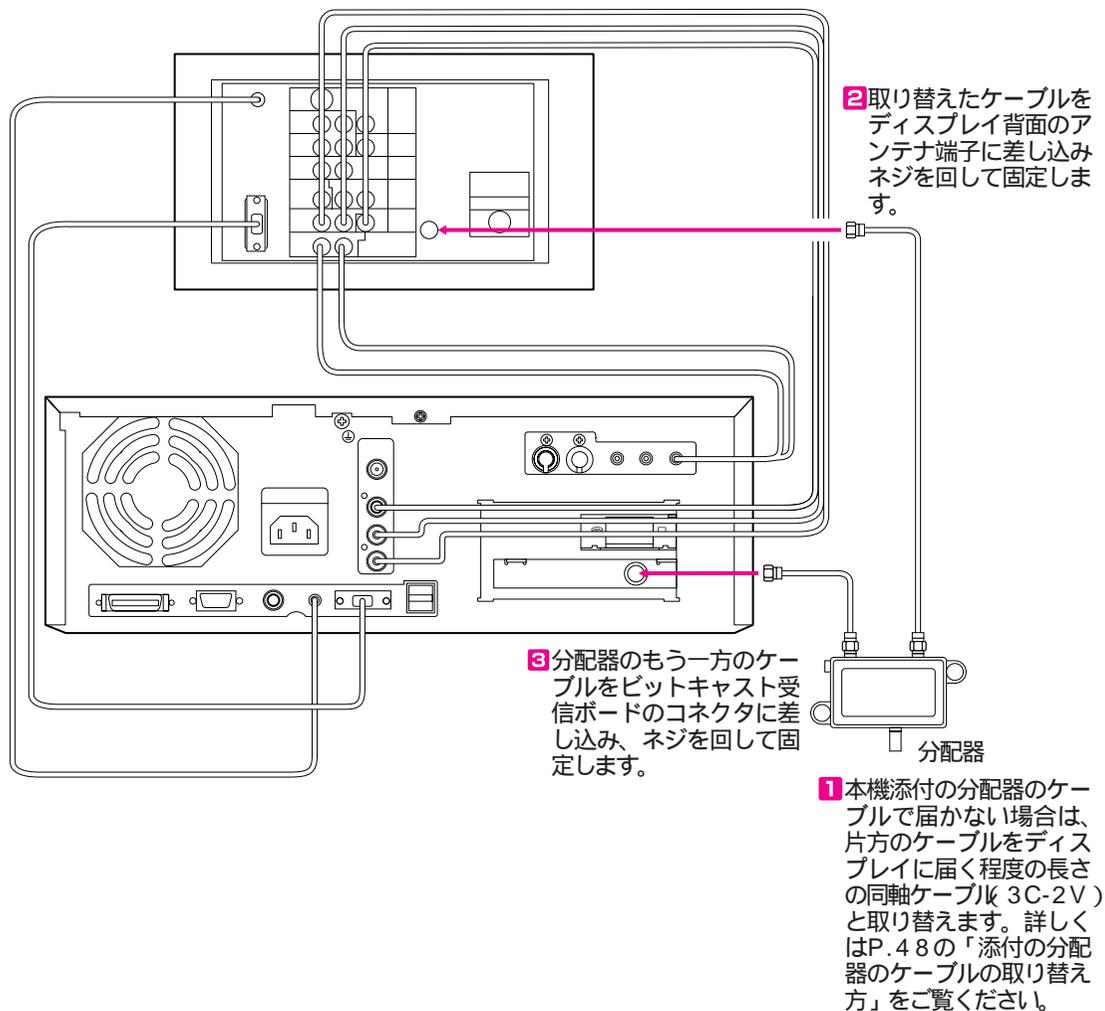


## 本体への接続

別売のBSワイドディスプレイテレビ (PC-DH32W1、PC-DH28W1) に接続する場合



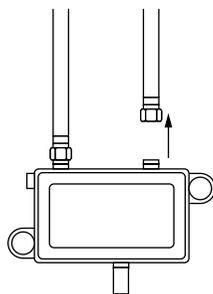
同軸ケーブルへのF型コネクタプラグの取り付け方はP.51をご覧ください。



## 添付の分配器のケーブルの取り替え方

分配器には、同軸ケーブルが添付されていますが、長さが合わない場合は次の手順で取り替えてください。

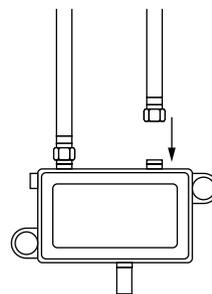
**1** 本機添付の分配器の一方のケーブルをネジを回して取り外します。



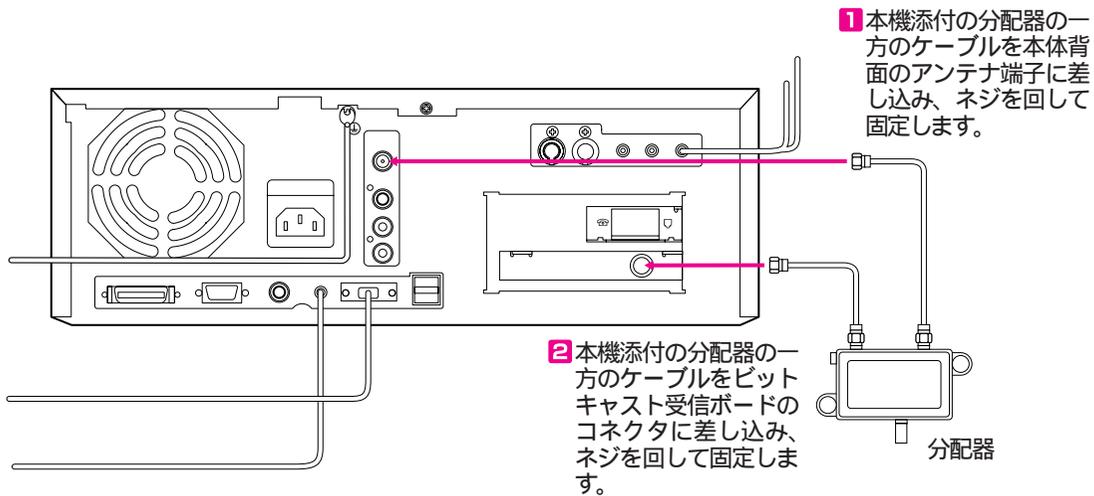
**2** ディスプレイに届く程度の長さの同軸ケーブル（3C-2V）を購入し、両端に添付のF型コネクタプラグと、BSワイドディスプレイテレビに添付のF型コネクタプラグを取り付けます（



**3** **2**で用意したケーブルの一方のコネクタを、分配器のコネクタに、ネジを回して固定します。



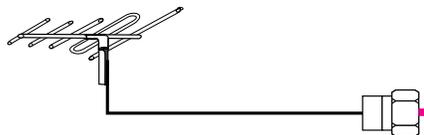
## 別売の17インチディスプレイ (PC-DH171) を接続する場合



## アンテナ設置のタイプ

VHFまたはUHFアンテナのみの場合

VHFまたはUHFアンテナ



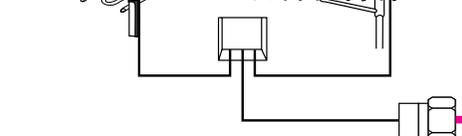
添付のF型コネクタプラグを取り付ける(☞P.51)

U/V混合アンテナの場合

VHFアンテナ



UHFアンテナ



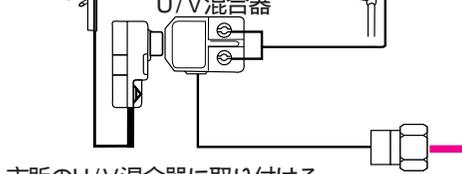
添付のF型コネクタプラグを取り付ける(☞P.51)

VHFとUHFアンテナ線が別々の場合

VHFアンテナ

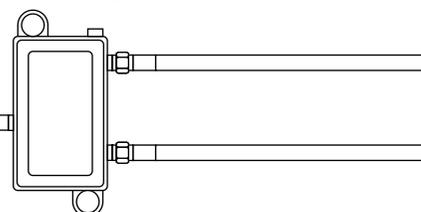


UHFアンテナ



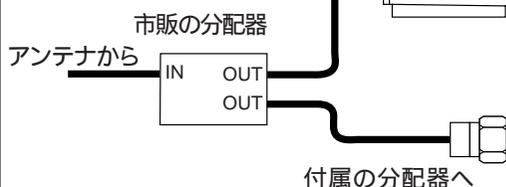
市販のU/V混合器に取り付ける

付属の分配器



アンテナに接続されているケーブルを付属の分配器のコネクタに差し込み、ネジを回して固定します。

すでにテレビ/ビデオなど テレビ・ビデオ  
を使っている場合



ひとつのアンテナにテレビやビデオを複数接続する場合は、市販の分配器が必要です。分配器を使用した場合、アンテナ入力信号が弱くなります。電波の弱い地域の方は、市販の電波増幅器(アンテナブースタ)の使用をおすすめします。



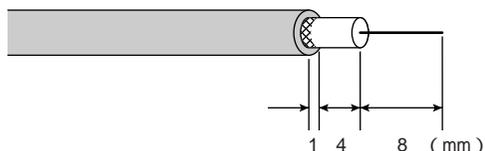
- ・ゴーストが多い場所やテレビ電波が弱い場所、極端に電波が強い場所では、ビットキャスト放送が受信できないことがあります。
- ・テレビ放送の電波状態や接続状況によっては、データの取りこぼしが発生する場合があります。アンテナの向きを変更したり、アンテナとの接続距離を短くする等の方法で受信状況を改善することで発生頻度が低くなることもあります。
- ・地上波テレビ放送以外でのテレビ放送(CATV会社のテレビ放送中継サービス)は、ビットキャスト放送の対応を行っていない場合があります、受信できないことがあります。

## F型コネクタプラグの取り付け方

ケーブルに取り付けるF型コネクタプラグは次のように取り付けてください。

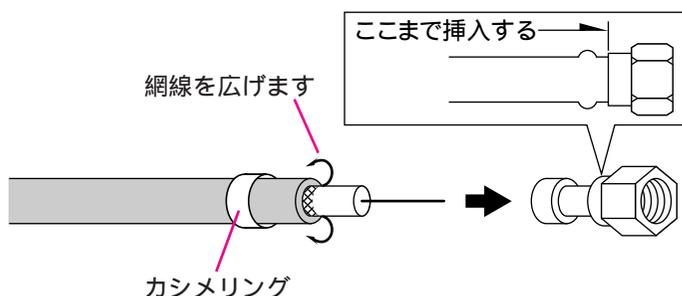
### アンテナ線が同軸ケーブル 3C-2V の場合

- 1** 同軸ケーブルの先端をカッター等で、図の寸法に加工します。

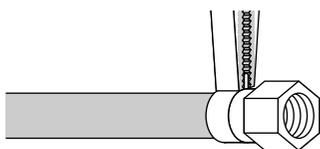


- 2** カシメリングをケーブルに通します。

- 3** ケーブルを、F型コネクタプラグの図の位置まで挿入します。



- 4** カシメリングをペンチまたはラジオペンチなどで、ケーブルが抜けないように締めます。



添付のF型コネクタプラグは3C用です。それ以外の太さのアンテナケーブルをご使用の場合はケーブルの太さに適合したF型コネクタプラグを別途お買い求めください。

# メディアコントローラに乾電池を入れる

メディアコントローラに乾電池を入れる方法を説明します。メディアコントローラは、本機の電源をON / OFFにしたり、本機のテレビ機能などを操作することができます。詳しくは、『ステップアップガイド』のPart1の「メディアコントローラ」をご覧ください。

## ⚠注意



破裂注意

**乾電池をショートさせないでください。**

乾電池が破裂し、けがの原因となります。

**乾電池を火の中へ入れないでください。**

破裂して、けがの原因となります。



毒物注意

**乾電池を分解しないでください。**

有毒物質が出て体に悪影響を及ぼすことがあります。



乾電池を取り扱うときは、次のことに注意してください。メディアコントローラの故障の原因となります。

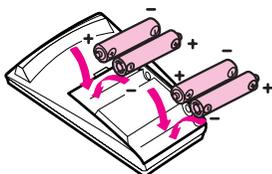
- ・メディアコントローラには、必ず「アルカリ乾電池」を使用してください。
- ・長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・プラス(+)とマイナス(-)の向きをメディアコントローラの表示通りに入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・乾電池を交換するときは、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- ・メディアコントローラには、ニカド電池は使わないでください。

**1** メディアコントローラを裏返します。

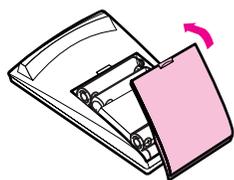
**2** 底面のカバーのツメに指をかけて手前に引きカバーを外します。



**3** + - の方向を確かめて、添付の「アルカリ乾電池」を4本入れます。



4 カバーを元通りに取り付けます。



# 本体電源ケーブルの接続

## ⚠注意



感電注意

濡れた手で、電源ケーブル、ACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。

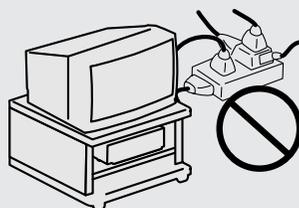
感電の原因となります。



発火注意

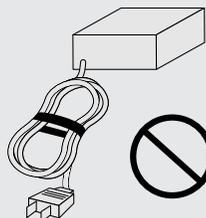
タコ足配線にしないでください。

本体の電源ケーブル、ACアダプタをタコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因となります。



電源ケーブルを束ねたまま使用しないでください。

ケーブルが過熱し、火災の原因となります。



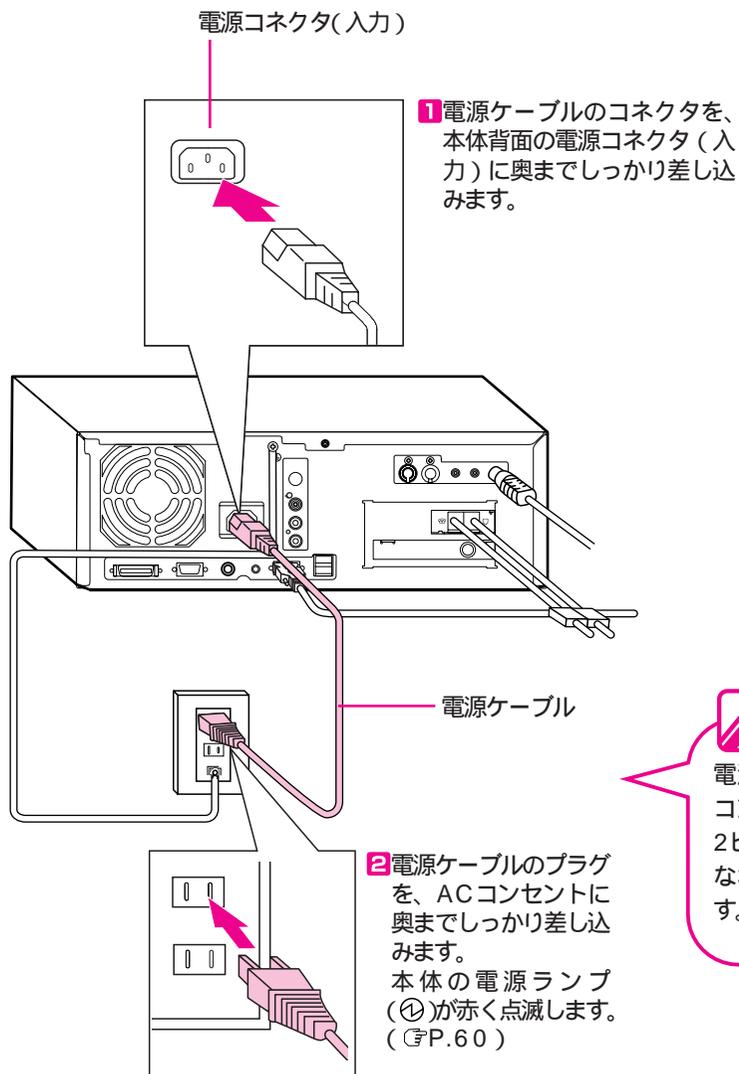
感電注意



発火注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものを載せないでください。

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因となります。





## Part 3

# セットアップする

必要な機器との接続が終わったら、電源をONにしてWindows 95を使えるようにしましょう。

Windows 95を使えるようにするための作業のことを「セットアップ」といいます。セットアップにはおよそ15分 かかります。

画面の内容を読んだり、確認したり、また画面に文字を入力するのにかかる時間によっては、これより長くなることがあります。また、この時間はこのマニュアルのPart 2のとおり機器を接続した場合の時間です。

**電源をONにする前に**

**電源をONにする**

**電源をOFFにする**

本機にインストールされているWindows 95は、市販品と異なり本機固有の機能に対応しています。

本機のハードディスクをフォーマット（初期化）して市販のWindows 95をインストールしても本機固有の機能は使用できません。

# 電源をONにする前に

いよいよ電源をONにして本機を使い始めます。セットアップに必要なものを準備して、作業の流れをつかんでおきましょう。電源をONにする前に必ず読んでください。



- セットアップ前には、別売の拡張機器などを取り付けしないでください。正しくセットアップできなくなる可能性があります。
- セットアップ時には、別売のBSワイドディスプレイテレビ (PC-DH32W1、PC-DH28W1) 17インチディスプレイ (PC-DH171) などのパソコン用ディスプレイを接続する必要があります。

## 準備してください

セットアップの際には、次の情報が必要です。電源をONにする前に準備してください。

- Product IDを用意してください  
セットアップの途中でProduct IDを入力します。Product IDは、添付の『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

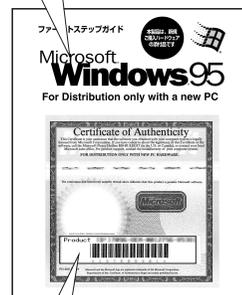


- 本機を再セットアップするときにProduct IDが必要になりますので、『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』をなくさないように保管してください。
- 『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』を紛失したときのために、Product IDをここにメモしておいてください。

- OEM -

- 名前を決めてください  
セットアップの途中で「名前」を入力します。Windows 95のライセンスを受ける人を決めておいてください。再セットアップしないかぎり、セットアップ完了後に変更することはできません。
- 会社名を決めてください  
個人で使用する場合は必要ありません。

「Windows 95」と書かれているマニュアルです。



Product ID: XXXXX-OEM-XXXXXXXX-XXXXX



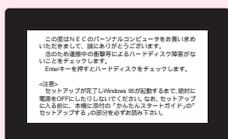
Product IDはここに記載されています。

表紙のデザインは変更になる場合があります。

# セットアップの流れ

電源をONにしてから、Windowsが使えるようになるまでの流れは次のようになっています。実際のセットアップの手順はこのあとのページで詳しく説明していますので、ここでは全体の流れをつかんでおきましょう。

## 電源をONにする



ハードディスクに異常がないかどうかを調べます。



Windowsを使うために必要な情報を入力します。「利用者の名前」「Product ID」が必要になります (P.58)



一瞬画面が暗くなります。

## 自動的に再起動する



この画面が表示されたらスタートメニューの [ CEREBを使う準備をします ] をクリックします。



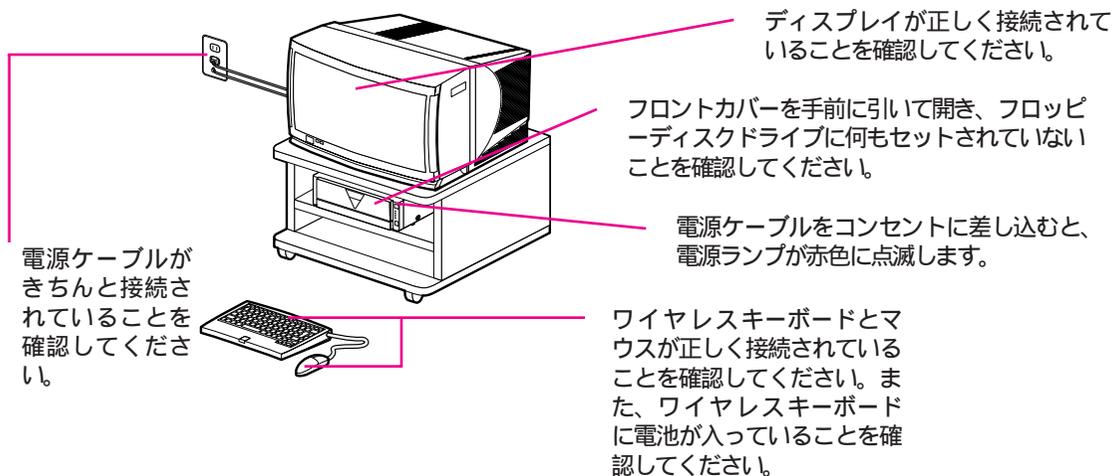
この画面が表示されたらセットアップは完了です。

この間は絶対に電源をOFFにしないでください。Windowsが使えなくなってしまうことがあります。

# 電源をONにする

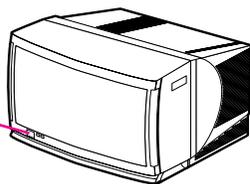
セットアップのおおまかな流れはつかめましたか？ 必要な情報はそろっていますか？ それでは、セットアップを始めましょう。

## 1 電源をONにする前に次のことを確認します。

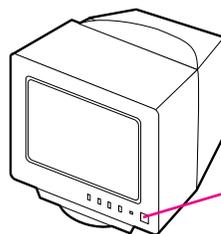


## 2 ディスプレイの電源スイッチを押します。

ディスプレイの電源スイッチ



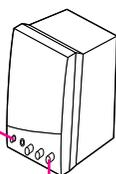
ディスプレイの電源がONになりました。



ディスプレイの電源スイッチ

### — スピーカセット(PC-SP700)を接続している場合 —

POWERスイッチ



VOLツマミ

スピーカセットのPOWERスイッチを押します。

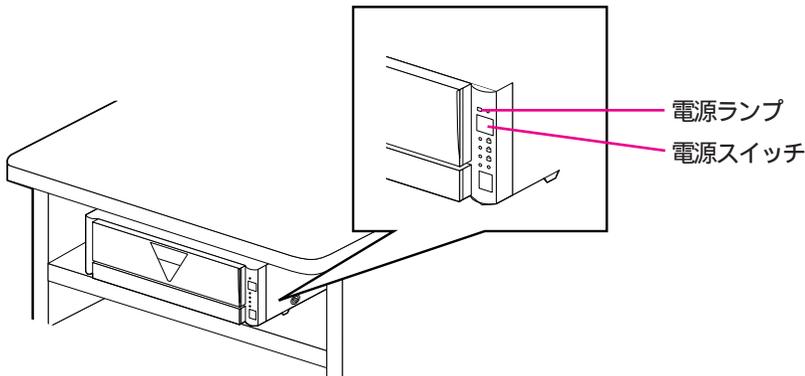
スピーカセットの電

スピーカセットのVOLツマミを、中央の位置まで右方向に回します。



BSワイドディスプレイテレビの電源スイッチを押して、テレビの画像が表示された場合は、BSワイドディスプレイテレビの「PC切替ボタン」を押してください。

**3** 本体の電源スイッチを押します。



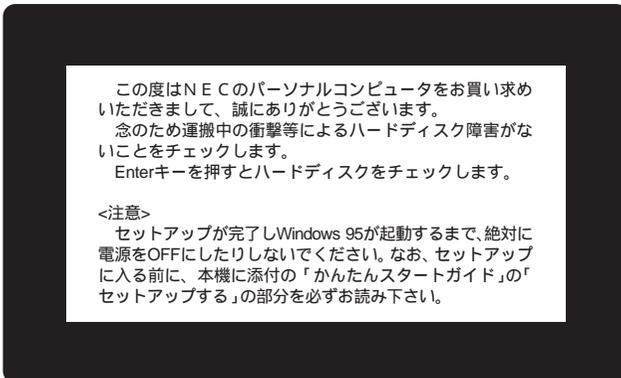
電源ランプが緑色に点灯します。これで電源がONになりました。



しばらくすると、画面左上にメモリチェックが表示されます。

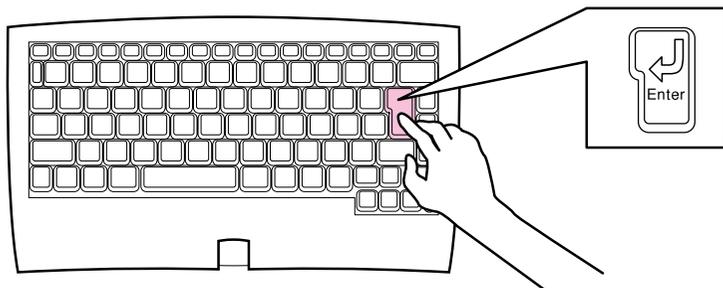


Windows 95のロゴの画面が表示されたあと、次のような画面が表示されます。

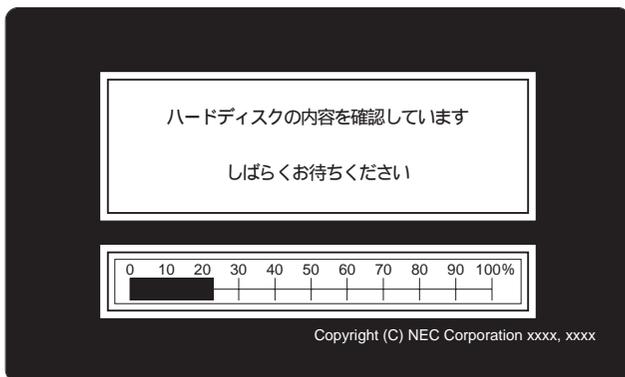


メモリチェックが正しく表示されない場合は、メモリに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。

**4** ワイヤレスキーボードの  Enterキー を押します。



ハードディスクをチェックするプログラムが起動し、自動的にハードディスクがチェックされます。



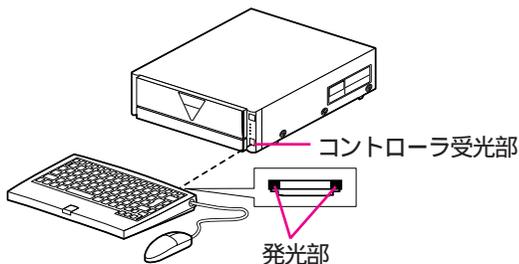
ハードディスクをチェックするプログラムが表示されない場合は、ハードディスクに異常があることが考えられます。ご購入元にご相談ください。



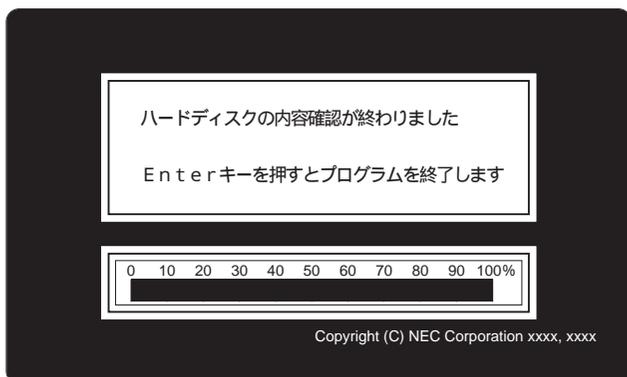
ハードディスクをチェックするプログラムは、購入後、初めて電源をONにしたときだけ表示されます。ハードディスクに異常がないと判断されると、このプログラムはハードディスクから削除されます。

 **ワイヤレスキーボード、マウスの使い方**

添付のワイヤレスキーボードや、ワイヤレスキーボードに接続したマウスを使用するときは、ワイヤレスキーボードの左右どちらかの発光部を本体のコントローラ受光部に向けてください。ワイヤレスキーボード、マウスについて、詳しくはP.31または『ステップアップガイド』のPart1の「ワイヤレスキーボード」、「マウス」をご覧ください。



チェックが終わり、ハードディスクが正常なことが確認されると、次の画面が表示されます。



- 5** ワイヤレスキーボードの  (Enterキー) を押します。

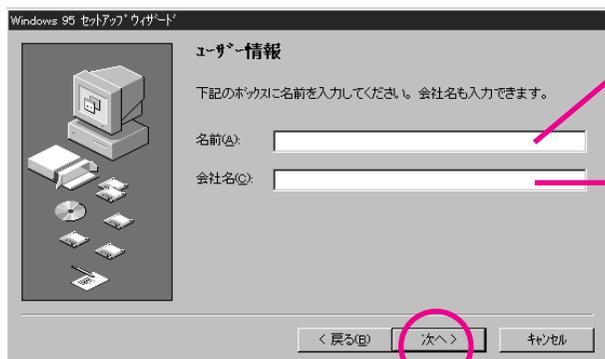


Windows 95のロゴの画面が表示されます。しばらくお待ちください。約1分間かかります。

**6** 次の画面が表示されますので、ワイヤレスキーボードを使って名前と会社名を入力します。入力が終わったら**次へ** ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



名前の入力のしかたとクリックのしかたについては下のコラムをご覧ください。



名前を入力します。ここにマウスポインタを合わせてクリックすると、名前を入力できるようになります。名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。また、セットアップ完了後は、再セットアップしないかぎり入力し直すことはできません。再セットアップには、大変時間がかかりますので、間違えないように入力してください。

これが [ 次へ ] ボタンです。ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



個人で使用する場合は必要ありません。会社名を入力する場合は、ここにマウスポインタを合わせてクリックすると、入力できるようになります。入力のしかたは名前と同じです。



この手順**6**の画面以降、手順**10**の画面が表示されるまで [ キャンセル ] ボタンをクリックしないでください。



## 名前の入力のしかたとマウスの操作のしかた

### 名前の入力のしかた

<例：漢字で「別所」と入力する場合>

文字を入力するときには、読みを入力 → 漢字に変換する → 確定するという手順で入力します。ここでは、ワイヤレスキーボードに書かれているアルファベットを使って読みを入力する「ローマ字入力」のしかたを説明します。

このマニュアルのP.98～P.103にも詳しい説明があります。あわせてご覧ください。

読みを入力します。

ワイヤレスキーボードの **B E S S Y O** を押します。

「べっしょ」と表示されます。

漢字に変換します。

ワイヤレスキーボードの   (スペースキー) を押します。

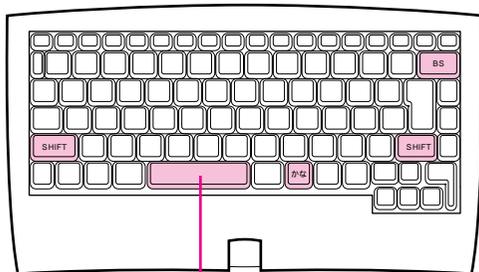
入力した文字が漢字に変換されて、別所 のように表示されます。変換したい漢字が表示されない場合は、ワイヤレスキーボードの   (スペースキー) を押して、目的の漢字を探します。

確定します。

ワイヤレスキーボードの  (Enterキー) を押します。

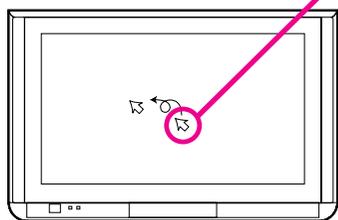
変換した漢字が確定されます。

- ・読み方が難しい漢字などを入力する場合、例えば「別所」と入力するときには、まず ~ までの手順で「別」を入力します。次にもう一度 ~ の手順で「所」を入力するというように、漢字一文字ごとに区切って入力してください。
- ・ひらがなを入力して、ワイヤレスキーボードの   (スペースキー) を押さずに  (Enterキー) を押すと、ひらがなのまま確定することができます。
- ・間違えて入力してしまった場合は、ワイヤレスキーボードの **BS** を押すことで一文字ずつ削除することができます。



スペースキー

## マウス操作のしかた



この矢印をマウスポインタと呼びます。

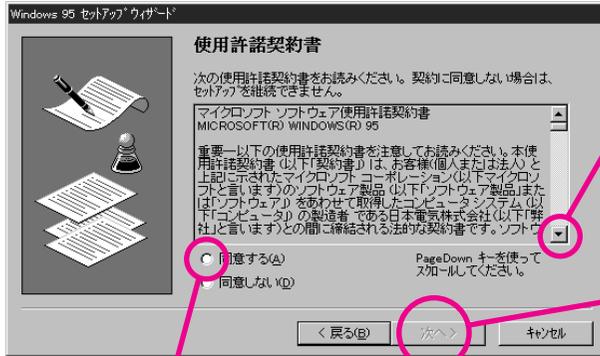


机の上などの平らなところでマウスを動かしてみてください。マウスの動きに合わせて画面上の矢印が動きます。



マウスにある左ボタンを1回押すことをクリックと呼びます。

**7** [使用許諾契約書]を確認します。  
確認が終わったら[同意する]ボタンをクリックしま  
す。



[使用許諾契約書]は  
大切な情報ですので、  
必ずお読みください。

ここをクリックすると続きの画  
面を見ることができます。

PageDownキーとは、  
手前の面に「PgDn」  
と書かれているキーの  
ことです。

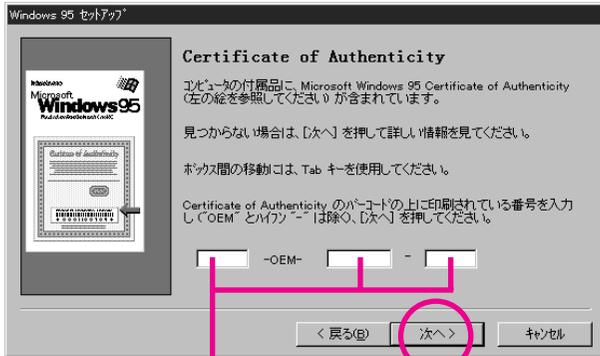
ここにマウスポインタを合わせてクリックしま  
す。クリックすると、 が●になります。  
[同意しない]をクリックした場合は、セット  
アップが中止されます。

**8** [次へ] ボタンをクリックします。



[同意するまたは同意しない]をクリックすると、[次へ]の  
文字がはっきりと表示されます。はっきりと表示されたら、  
ここにマウスポインタを合わせてクリックしてください。

- 9** ワイヤレスキーボードを使ってProduct IDを入力します。  
入力が終わったら[次へ]ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



Product IDを入力します。

ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

Product IDは、添付の『Microsoft Windows 95 フェーストステップガイド』の表紙( P.58 )に記載されています。

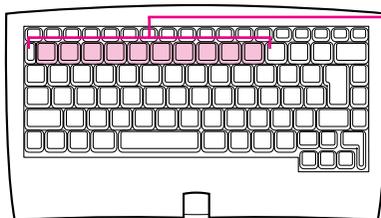


- Product IDは、日本語入力をOFFにした状態で入力してください。ご購入時での状態では日本語入力はOFFになっていますが、ワイヤレスキーボードの[CTRL]を押しながら[XFER]を押して日本語入力ONになっている場合は、再度[CTRL]を押しながら[XFER]を押して日本語入力をOFFにしてください。
- 0(ゼロ)とO(オー)、1(イチ)とI(アイ)など、似ている文字を間違えないように注意して入力してください。
- 入力を間違えると、間違っていることを表すメッセージが表示されるので、画面の指示に従ってもう一度入力し直してください。
- 入力を間違えたときは、間違えた欄にマウスポインタを合わせてクリックし、ワイヤレスキーボードの[BS]で消してから入力し直してください。



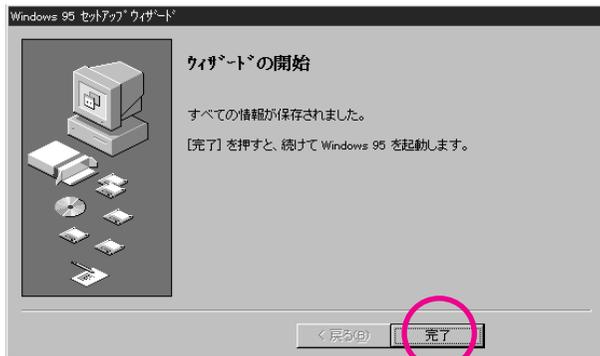
### Product IDの入力のしかた

Product IDを入力するときには次のキーを使います。



数字はここにあるキーを使って入力します。

**10** 次の画面が表示されたら、[完了] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここでの「完了」は、本機のセットアップすべての完了ではありません。ここでは絶対に電源をOFFにしないでください。

ハードウェアの設定が自動的に行われます。  
そのまましばらくお待ちください。約30秒かかります。

しばらくすると「Windows 95セットアップ」が起動して、自動的にシステム環境の設定を行います。



システム環境の設定の途中で、[プリンタウィザード]の画面が表示されます。



**11** [キャンセル] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

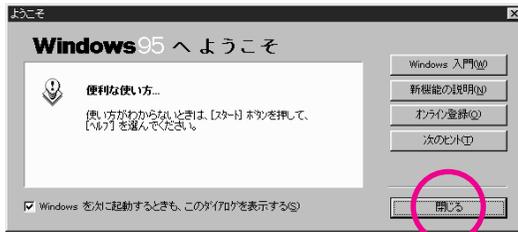


プリンタを利用する場合は、このPartの手順に従ってセットアップを完了し、電源をOFFにしたあと、『ステップアップガイド』のPart2の「プリンタ」をご覧ください。プリンタの接続や設定を行ってください。



自動的に再起動（いったん電源がOFFになってから、再びWindows 95が起動）します。しばらくお待ちください。約1分間かかります。

**12** [閉じる]ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



次のような画面が表示されます。



ここでWindows 95のデスクトップの画面（P.125）が表示されますが、本機のセットアップはまだ完了していません。ここではアプリケーションを起動したりせずに、必ず**10**以降に記述されている手順に従ってセットアップを完了させてください。セットアップを正しく完了しないと誤動作の原因となりますので、注意してください。



この画面はWindows 95の使い方について学ぶ画面ですが、ここでは次に進みます。「Windows 95へようこそ」はあとからでも起動できます。

- 13** [スタート] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

- 14** スタートメニューの [CEREBを使う準備をします] にマウスポインタを合わせてクリックします。

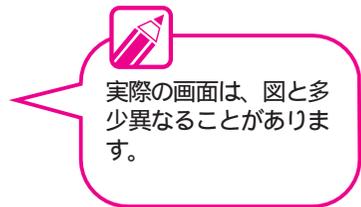


[CEREBを使う準備をします] は一度クリックすると、自動的にスタートメニューからなくなって、ハードディスクから削除されます。

**16** [次へ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



次のような画面が表示されます。この画面をCEREBメニューといいます。

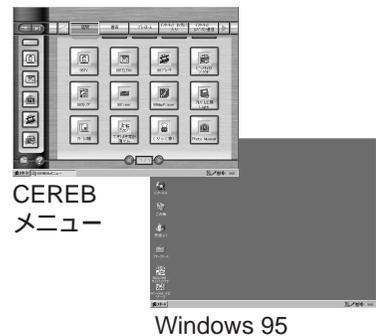


これでWindows 95が使えるようになりました。

## CEREBメニューとWindows 95

本機には、OS（オペレーティングシステム）としてWindows 95が組み込まれています。OSはコンピュータを動かすためのもっとも基本的なソフトウェアです。ワープロやゲームなどのようなアプリケーションソフトを動かすための土台のような役割をしています。

CEREBメニューは、Windows 95をより簡単に、使いやすく、親しみやすくするソフトウェアです。ワープロやゲームなどを簡単に起動できます。



CEREB  
メニュー

Windows 95



## 日付と時刻を設定する

画面右下の時刻の部分にマウスポインタを合わせると、日付が表示されます。



時刻が表示されています。ここにマウスポインタを合わせると、上に日付が表示されます。

表示される日付と時刻が正しくない場合は、次の手順で設定しなおしてください。

**1** 時刻の部分にマウスポインタを合わせて、マウスの左ボタンをすばやく2回押します。



ここにマウスポインタを合わせます。

**2** [日付と時刻のプロパティ]の画面が表示されるので、日付と時刻を設定します。

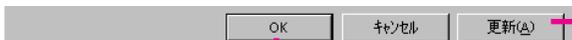
月を設定します。  
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。  
月の一覧が表示されるので、現在の月にマウスポインタを合わせてクリックします。



日を設定します。  
カレンダーの中の現在の日付にマウスポインタを合わせてクリックします。

年を設定します。  
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。  
その後、右側の[ ]にマウスポインタを合わせてクリックし、現在の年を表示させます。

時刻を設定します。  
「時」を設定したい場合は、「時」の部分の数字にマウスポインタを合わせてクリックします。  
その後、右側の[ ]にマウスポインタを合わせてクリックし、現在の「時」を表示させます。  
「分」「秒」についても、同じようにして設定します。



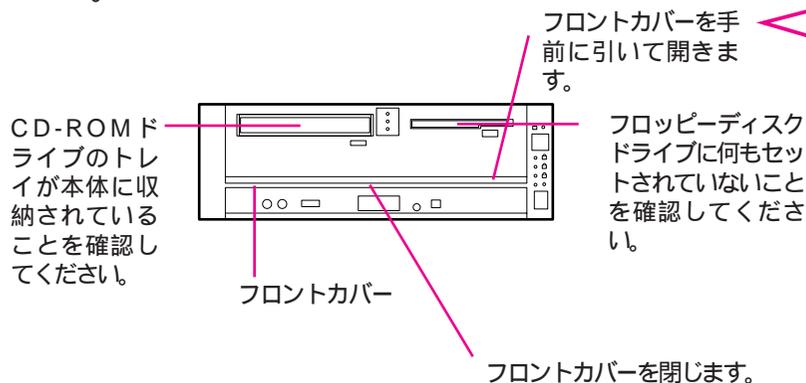
[OK] ボタンをクリックします。  
設定が終了したら、ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

[更新] ボタンをクリックします。  
日付と時刻を変更すると、ここがはっきりと表示されます。そうしたら、ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

# 電源をOFFにする

セットアップは、完了しましたか？ すぐに本機を使ってみたいところですが、電源のOFFのしかたは重要です。まずは、電源のOFFのしかたを覚えましょう。きちんと手順を守ってOFFにしないと、本機が正常に動かなくなってしまうこともあります。

- 1** 電源をOFFにする前に次のことを確認してください。



これまでの手順では、フロッピーディスクは使用していませんが、電源をOFFにするときは必ず、フロッピーディスクがセットされたままになっていないか、確認するようにしましょう。もし、フロッピーディスクがセットされていた場合には、イジェクトボタンを押して取り出してください( P.145 )。

- 2** [スタート] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。

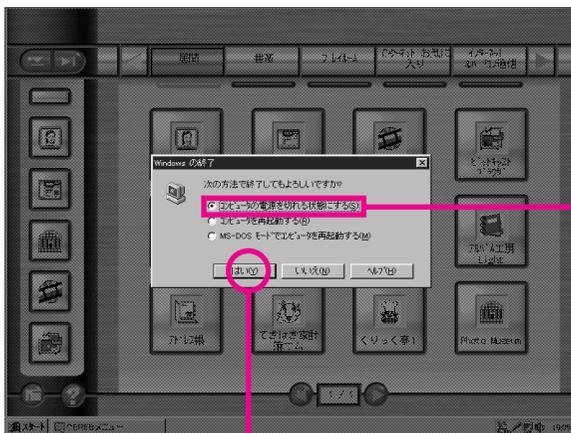


- 3** 表示されたスタートメニューから、[ Windowsの終了 ]にマウスポインタを合わせてクリックします。



これがスタートメニューです。  
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

- 4** [ コンピュータの電源を切れる状態にする ] が選択されている状態で、[ はい ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここが選択されていることを確認します。

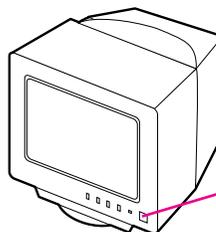
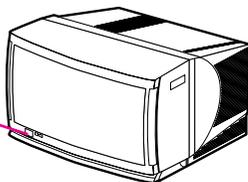
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されたあと、電源ランプが消え自動的に本体の電源がOFFになります。

**5** ディスプレイの電源スイッチを押します。

ディスプレイの  
電源スイッチ



ディスプレイの  
電源スイッチ

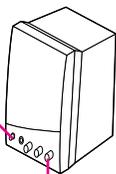
ディスプレイの電源がOFFになります。



本体の電源がOFFになっ  
たあとで、ディス  
プレイの電源をOFF  
にしてください。

— **スピーカセットを接続している場合** —

POWERスイッチ



VOLツマミ

スピーカセットのPOWERスイ  
ッチを押します。  
スピーカセットの電源がOFFになり

## 基本操作を覚える

ここでは、本機を使う上で必要な、基本操作について説明しています。  
文字を入力したり、絵を描いたりしながら、基本的な操作を身につけましょう。

マウスの操作を覚える

トラックボールの操作を覚える

2回目からの電源のON/OFFのしかた

アプリケーションソフトを起動する

ウィンドウを操作する

文字を入力する

絵を描く

# 最初から順に読んで基本的な操作を身につけましょう

まず、 マウスやトラックボールを使いこなせるようになるう！

- ・マウスの操作を覚える
- ・トラックボールの操作を覚える

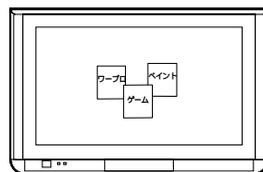
Windowsでのマウスの操作はたいへん重要なものです。マウスの操作を覚えてスムーズに使いこなせるようになりましょう。



次に、 電源のON/OFFとアプリケーションソフトの基本操作を覚えよ

- ・電源のON/OFFのしかた
- ・アプリケーションソフトを起動する
- ・ウィンドウを操作する

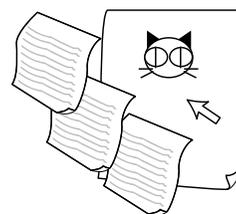
CEREBメニューからアプリケーションソフトを起動してみます。電源のON/OFFができるようになったら、CEREBメニューの使いかたとアプリケーションソフトの起動のしかたを覚えましょう。



それから、 アプリケーションソフトを使って基本操作を練習しよう

- ・文字を入力する
- ・絵を描く

実際にアプリケーションソフトを使いながら各アプリケーションソフトに共通の操作を練習しましょう。ワープロソフトを使ったり、絵を描いたりしてパソコンを自由に使ってみましょう。



ここまで来れば、もう一安心。本機にはたくさんのアプリケーションソフトが入っています。どんどん使ってみましょう。

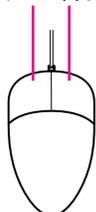
# マウスの操作を覚える

Windowsの操作には、マウスを使います。使い方は、ボタンを押したりマウスを動かしたりといった単純なものです。また、ボタンの押し方や動かかし方を組み合わせることで、いろいろな機能を実行させることができます。ここでは、その方法を説明しています。実際の操作は電源がONになっているときに確認してみてください。

## マウスとは

マウスはコンピュータに指示を与えるための装置です。マウスには、左ボタンと右ボタンがあります。

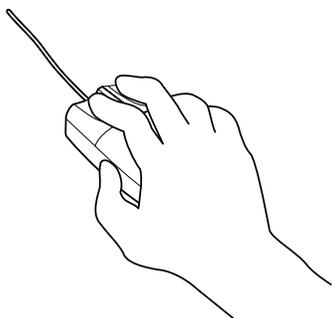
左ボタン 右ボタン



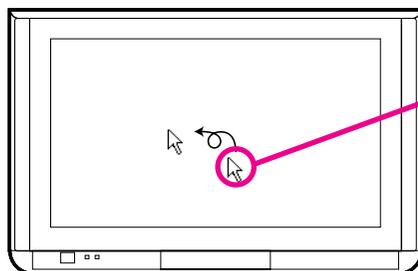
[コントロールパネル]でマウスの設定を左きき用に変更することができます。詳しくは『ステップアップガイド』の「マウス」をご覧ください

## マウスの動かし方

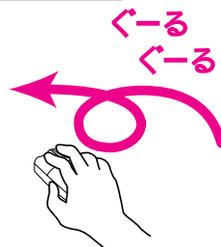
マウスを机の上などの平らな場所に置いて図のように持ちます。



マウスを動かすと、マウスの動きに合わせて画面上の矢印が動きます。電源がONになっているときに確認してみてください。

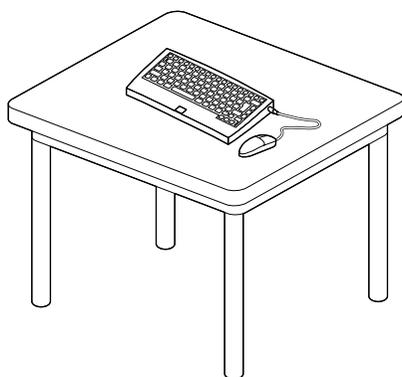


この矢印をマウスポインタといいます。

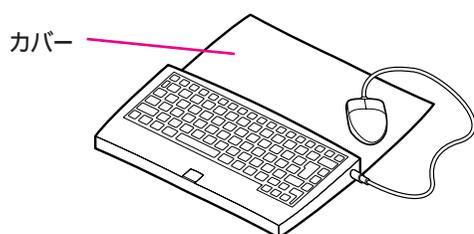


## マウスの使用例

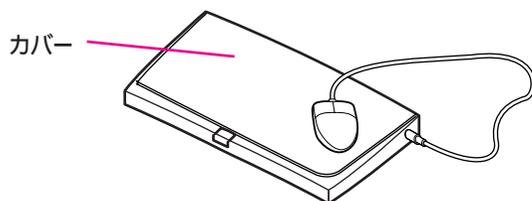
机の上などで使う



ワイヤレスキーボードのカバーの上で使う

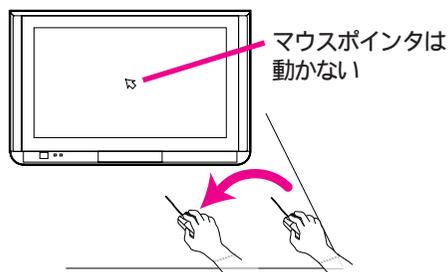


マウス操作だけのときは、ワイヤレスキーボードのカバーを閉じて、カバーの上で使う



### こんなときは？

- ・マウスが机の端まで到達したとき  
マウスをいったん持ち上げて移動してから、机の上に戻してください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。電源がONになっているときに確認してみてください。
- ・マウスの動きが悪い  
マウスの中にあるボールが汚れている可能性がありますので掃除してください。詳しくは『ステップアップガイド』のPart1の「マウス」をご覧ください。



# マウスの操作

マウスの操作には、クリック(左クリックともいいます)、右クリック、ダブルクリック、ドラッグの4種類があります。

## クリック

マウスのボタンを1回押してすぐ離すことを、「クリック」といいます。このマニュアルでは、通常は左ボタンを押します。単に「クリック」とだけ書いてある場合は、左ボタンを1回押してください。



クリックはメニューやボタンを選んだりするときに使います。

## ダブルクリック

左ボタンをすばやく2回押すことを「ダブルクリック」といいます。



- ・ダブルクリックはWindows 95デスクトップ上のアプリケーションソフトを起動するときなどに使います。
- ・ダブルクリックの速度は変更できます。詳しくは、『困ったときにお読みください』をご覧ください。

## ドラッグ

マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすことを「ドラッグ」といいます。また、目的の場所までドラッグしたあと、マウスのボタンを離すことを「ドロップ」といいます。



ドラッグは、「ある場所から別の場所まで」ということを示すために使います。例えば、アイコンやウィンドウの移動や、操作の範囲の選択が行えます。



## 右クリック

マウスの右ボタンを1回押すことを「右クリック」といいます。このマニュアルの中では使いませんが、Windowsでは、右クリックでメニューが表示されます。



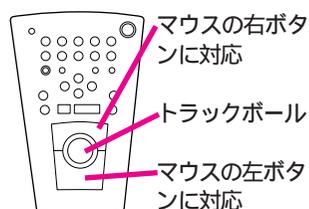
Windowsのデスクトップ上で右クリックをするとこのようなメニューが表示されます。

# トラックボールの操作を覚える

本機では、Windowsの操作として、メディアコントローラのトラックボールを使用することができます。使い方は、ボタンを押したりトラックボールを動かしたりといった簡単なものです。また、ボタンの押し方や動かし方を組み合わせることで、いろいろな機能を実行させることができます。ここでは、その方法を説明しています。実際の操作は電源がONになっているときに確認してみてください。

## トラックボールとは

トラックボールはコンピュータに指示を与えるための装置で、マウスと同じ機能をもちます。トラックボールには、マウスの右ボタン、左ボタンに対応したボタンがあります。



次の場合は、トラックボールは使用できません。

- ・ワイヤレスキーボード用切替スイッチがOFFになっている場合
- ・添付のワイヤレスキーボードケーブルを使用して本体とワイヤレスキーボードを接続している場合

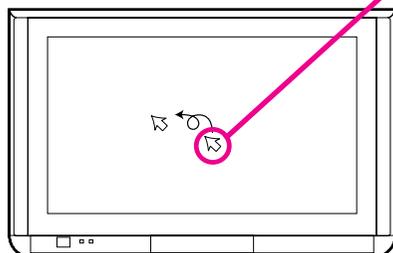
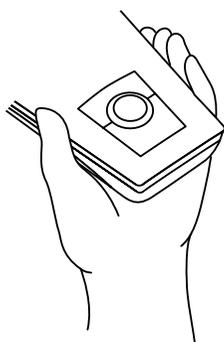


[コントロールパネル]でマウスの設定を左きき用に変更すると上下のボタンの機能を入れかえることができます。詳しくは『ステップアップガイド』の「マウス」をご覧ください

## トラックボールの動かし方

トラックボールを動かすと、トラックボールの動きにあわせて画面上の矢印が動きます。

電源がONになっているときに確認してみてください。



この矢印をマウスポインタとします。



- ・トラックボールをしばらく操作しないと、トラックボールを動かしてもマウスポインタが動かない場合があります。この場合は上下どちらかのボタンをクリックしてからトラックボールを動かしてください。
- ・トラックボールを動かすと白い粉が出る場合がありますが、これはすべり止めの粉で、故障、異常ではありません

# トラックボールの操作

トラックボールの操作には、クリック、右クリック、ダブルクリック、ドラッグの4種類があります。

## クリック

トラックボールの下のボタンを1回押してすぐ離すことを「クリック」といいます。マウスの左ボタンを押す（クリック）のと同じ機能です。



クリックはメニューやボタンを選んだりするときに使います。

## ダブルクリック

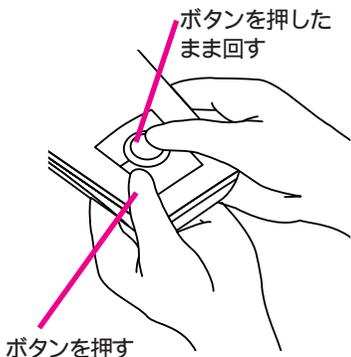
トラックボールの下のボタンをすばやく2回押すことを「ダブルクリック」といいます。マウスのダブルクリックと同じ機能です。



ダブルクリックはWindows 95のデスクトップ上のアプリケーションソフトを起動するときなどに使います。ダブルクリックの速度は変更できます。詳しくは『困ったときにお読みください』をご覧ください

## ドラッグ

トラックボールの下のボタンを押したままトラックボールを動かすことを「ドラッグ」といいます。また、目的の場所までドラッグしたあと、ボタンを離すことを「ドロップ」といいます。マウスのドラッグ、ドロップと同じ機能です。



ドラッグは「ある場所から別の場合まで」ということを示すために使います。例えば、アイコンやウィンドウの移動や、操作の範囲の選択が行えます



## 右クリック

トラックボールの上のボタンを押すと、マウスの右クリックと同じことができます。このマニュアルの中では使いませんが、Windowsでは右クリックでメニューが表示されます。

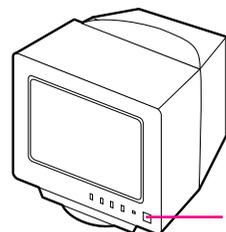
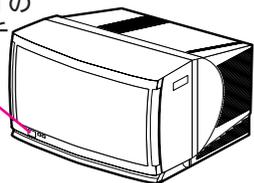


Windowsのデスクトップ上で右クリックをするとこのようなメニューが表示されます。



## 2 ディスプレイの電源スイッチを押します。

ディスプレイの電源スイッチ



ディスプレイの電源スイッチ

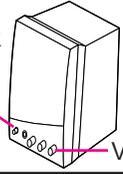
ディスプレイの電源がONになりました。



BSワイドディスプレイテレビの電源スイッチを押して、テレビの画像が表示された場合は、BSワイドディスプレイテレビの「PC切替ボタン」を押してください。

### スピーカセットを接続している場合

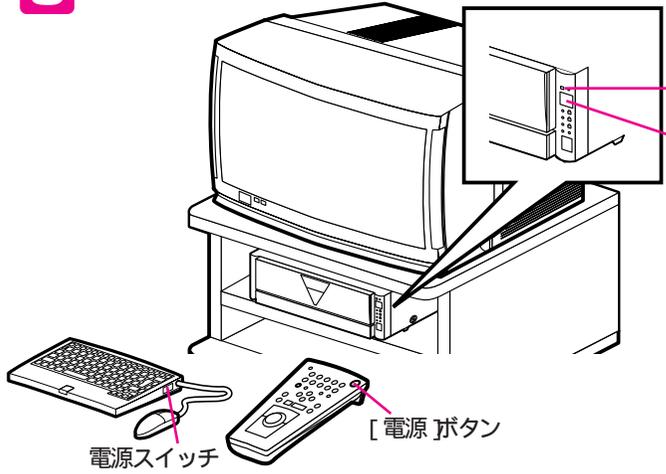
POWERスイッチ



VOLツマミ

スピーカセットのPOWERスイッチを押します。  
スピーカセットの電源がONになります。

## 3 本体の電源スイッチを押します。



電源ランプ

電源スイッチ

電源スイッチ

[電源]ボタン

電源ランプが緑色に点灯します。これで電源がONになりました。



### メディアコントローラの場合

[電源] ボタンを押します。メディアコントローラを使用するときは、本体のコントローラ受光部にメディアコントローラを向けてボタンを押してください。メディアコントローラについて、詳しくは『ステップアップガイド』をご覧ください。

### ワイヤレスキーボードの場合

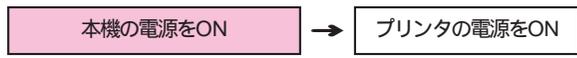
添付のワイヤレスキーボードの電源スイッチを押します。添付のワイヤレスキーボードや、キーボードに接続したマウスを使用するときは、ワイヤレスキーボードの発光部を本体のコントローラ受光部に向けてください。ワイヤレスキーボード、マウスについて、詳しくはP.31または『ステップアップガイド』のPart1の「ワイヤレスキーボード」「マウス」をご覧ください。



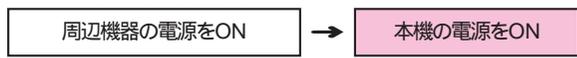
### 電源をONにする順序

本機に添付品以外の周辺機器を接続したときには、次の順序で電源をONにしてください。

- ・プリンタを接続しているとき



- ・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき



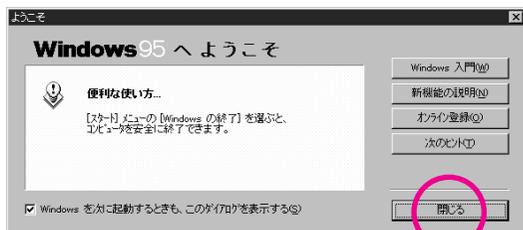
- ・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき





しばらくすると、画面左上にメモリチェックが表示されます。

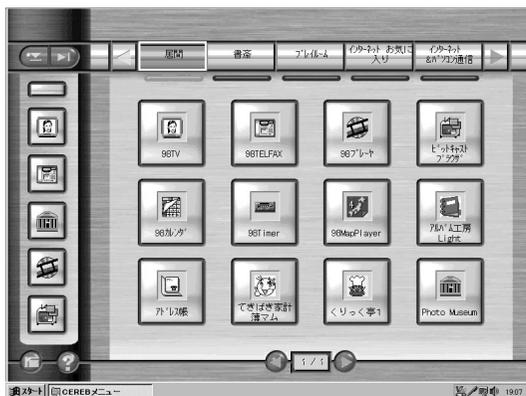
- 4** しばらくすると、[Windows 95へようこそ]の画面が表示されます。[閉じる]ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



CEREBメニューの画面が表示されます。



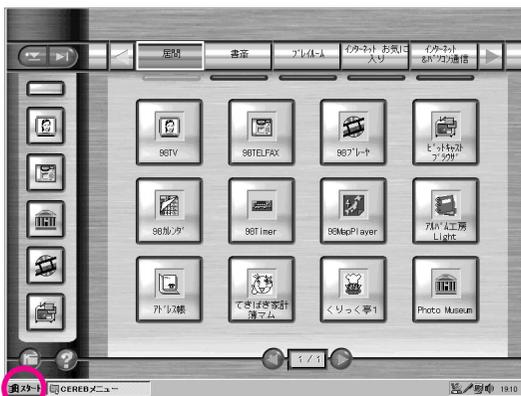
- この画面を次回電源をONにしたときから表示させないようにするには、「 Windowsを次に起動するときも、このダイアログを表示する」のの部分をクリックして、にしてください。次回Windowsを起動したときには、この画面は表示されなくなります。
- [Windows 入門]をクリックすると、Windowsの基本操作が学習できます。

# 電源をOFFにする

**1** 電源をOFFにする前に次のことを確認してください。

- ・フロッピーディスクドライブに何もセットされていないこと
- ・CD-ROMドライブのトレイが本体に収納されていること
- ・フロッピーディスクドライブアクセスランプとハードディスクドライブアクセスランプが消えていること

**2** [スタート] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



- ・メディアコントローラの場合、[電源] ボタンを1秒押し続けます。
- ・ワイヤレスキーボードの場合、電源ボタンを1秒以上押し続けます。  
Windows終了のメッセージが表示されますので [OK] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックしてください。
- ・本体の電源スイッチで操作する場合は、電源スイッチを1秒以上押し続けます。  
Windows終了のメッセージが表示されますので [OK] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックしてください。
- ・メディアコントローラの [電源] ボタンやワイヤレスキーボードの電源ボタン、本体の電源スイッチは、5秒以上押し続けられないでください。通常の終了処理が行われず、強制的に電源がOFFになってしまいます。

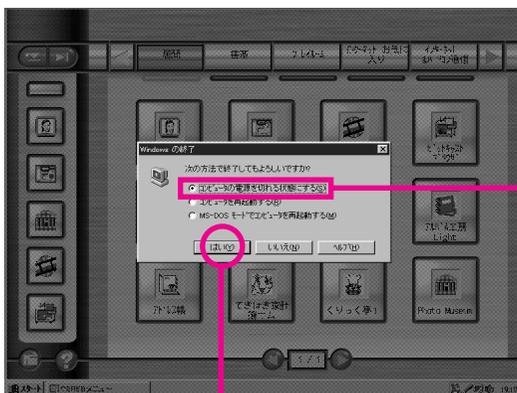
- 3** 表示されたスタートメニューから、[ Windowsの終了 ] にマウスポインタを合わせてクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

これがスタートメニューです。

- 4** [ コンピュータの電源を切れる状態にする ] が選択されている状態で、[ はい ] ボタンにマウスポインタを合わせてクリックします。



ここが選択されていることを確認します。

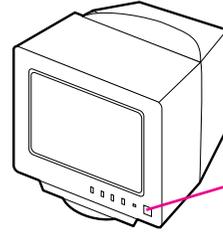
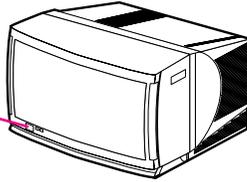
ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



「しばらくお待ちください」と表示されたあと、電源ランプが消え、自動的に本体の電源がOFFになります。

## 5 ディスプレイの電源スイッチを押します。

ディスプレイの  
電源スイッチ

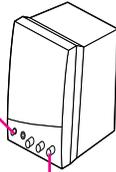


ディスプレイの  
電源スイッチ

ディスプレイの電源がOFFになります。

### スピーカセットを接続している場合

POWERスイッチ



VOLツマミ

スピーカセットのPOWERスイッチを押します。  
スピーカセットの電源がOFFになります。



本体の電源がOFFになったあとで、ディスプレイの電源をOFFにしてください。

本体の電源ケーブルがACコンセントに差し込まれた状態では、本体にわずかな電流が流れています。ご旅行などで、本機を長期間ご使用にならないときは、電源ケーブルをACコンセントから抜いてください。  
電源ケーブルを抜いた状態では、[留守録]モードや自動電源ONタイマーなどは使用できません。

・プログラムが暴走してしまったときは  
キーボードやマウスからの入力を全く受け付けなくなるほど、プログラムが明らかに停止している状態（これを暴走するといいます）になったら、本体前面の電源スイッチまたはメディアコントローラの[電源]ボタンまたはワイヤレスキーボードの電源ボタンを約5秒以上押し続けることで、電源をOFFにすることもできます（押ししている間は電源ランプが緑とオレンジ色の点灯を繰り返します）  
なお、これらの操作を行うと、作成途中の文書などは消えてしまいます。アクシデントに備えて、文書などはこまめに保存しながら作成しましょう。



### 電源をOFFにする順序

本機に添付品以外の周辺機器を接続したときには、次の順序で電源をOFFにしてください。

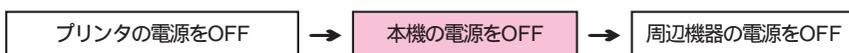
- ・プリンタを接続しているとき



- ・プリンタ以外の周辺機器を接続しているとき



- ・プリンタとその他の周辺機器を接続しているとき



# アプリケーションソフトを起動する

電源のON/OFFのしかたを覚えたら、本機を使っていきましょう。

本機には様々なアプリケーションソフトが添付されています。アプリケーションソフトはCEREBメニューから簡単に起動できるようになっています。ここで、アプリケーションソフトの起動と終了のしかたを練習しておきましょう。

## CEREBメニューの画面

本機の電源をONにすると、このCEREBメニューの画面が表示されます。

CEREBメニューに入っているアプリケーションソフトは、CEREBメニューから簡単に起動できます。

### [最小化] ボタン

このボタンをクリックすると、CEREBメニューが最小化され、デスクトップが表示されます。

### [グループ切り替え] ボタン

画面に表示されていないグループを表示させるときは、このボタンをクリックします。

### [グループ] ボタン

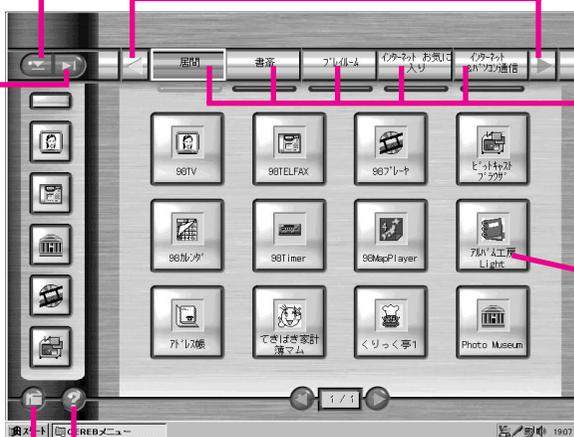
関連のある [アプリケーション起動] アイコンをまとめたものをグループと呼んでいます。[グループ] ボタンをクリックすると、そのグループに入っている [アプリケーション起動] アイコンが表示されます。グループについての一覧は、別冊の『CEREBを使いこなそう』で紹介していますのでご覧ください。

### [表示切り替え] ボタン

このボタンをクリックすると、デスクトップが表示されます。ただし、CEREBメニューの家電アプリケーション用の起動アイコンのみ画面右端に表示されます。

### [アプリケーション起動] アイコン

このアイコンをクリックすると、それぞれのアプリケーションソフトを使うことができます。アイコンの下には、アプリケーションソフト名が表示されています。



### [設定] アイコン

このアイコンをクリックすると、CEREBメニュー設定ダイアログボックスが表示され、CEREBメニューを設定することができます。

### [ヘルプ] アイコン

CEREBメニューの操作方法がわからなくなったときにクリックします。マウスポインタの形が  から  に変わります。このマウスポインタを、機能を知りたい部分に移動すると、説明が表示されます。説明を読み終わったら、[ヘルプの終了] をクリックすると説明が消えます。

### [タスクバー]

現在起動中のアプリケーションソフトの名前が表示されます。タスクバーに表示されているアプリケーションソフト名をクリックすると、アプリケーションソフトを切り替えることができます。



実際の画面は、図と多少異なる場合があります。



## 用語解説

### アプリケーションソフト

文書を作る、絵を描く、ゲームをするといった、特定の目的のために作られたプログラムのことです。

### アイコン

機能や命令を表した絵文字です。アイコンにマウスポインタを合わせてクリックすると、機能が実行されます。

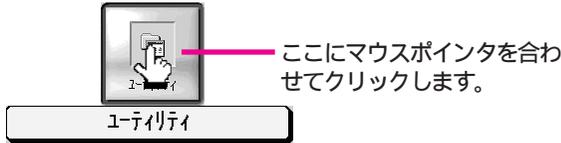
# アプリケーションソフトを起動する

では、CEREBメニューからアプリケーションソフトを起動してみましょ。ここでは「ペイント」を起動してみます。「ペイント」は、絵を描くためのアプリケーションソフトで、[書庫]グループの[ユーティリティ]グループに入っています。

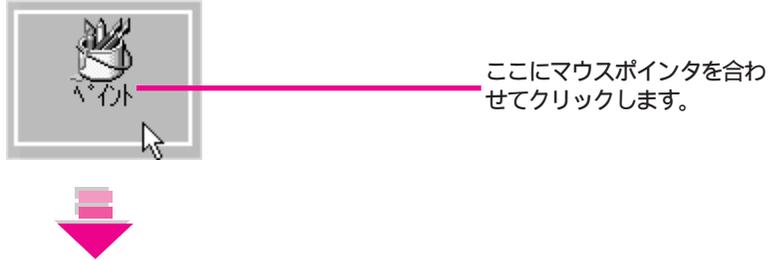
**1** [グループ] ボタンから [書庫] をクリックします。



**2** [ユーティリティ] アイコンをクリックします。



**3** [ペイント] アイコンをクリックします。



ペイントが起動します。



[書庫] が表示されていない場合は、[グループ切り替え] ボタン (または) をクリックしてください。



他のアプリケーションソフトも同じ手順で起動できます。



## 用語解説

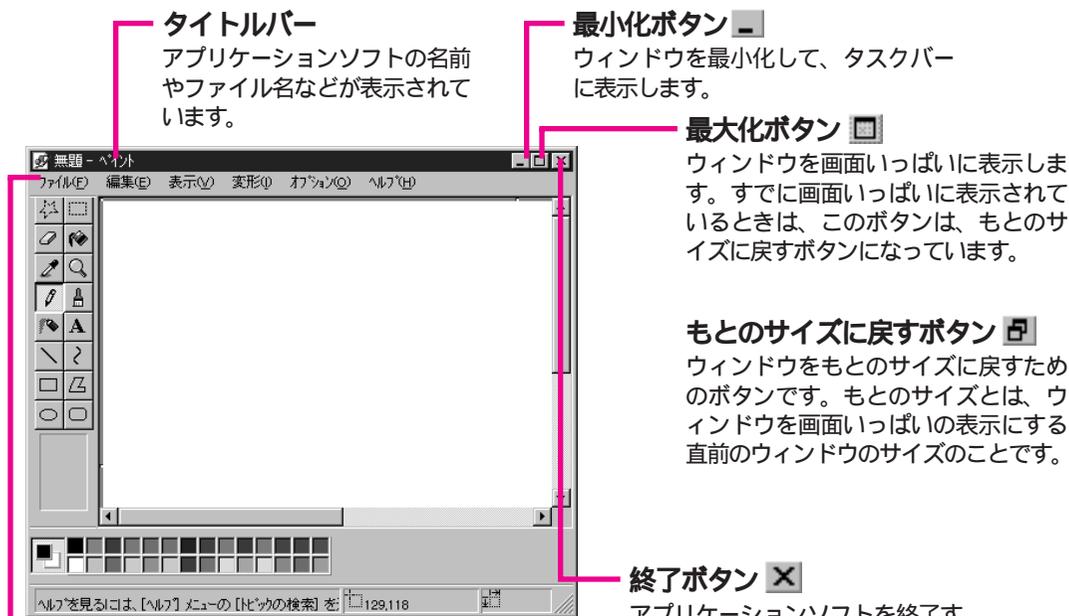
起動する

OSやアプリケーションソフト(プログラム)を呼び出して実行させることです。

# ウィンドウを操作する

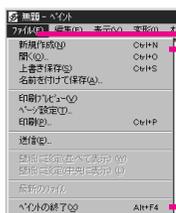
アプリケーションソフトのウィンドウは、どれも基本的に同じ要素で構成されています。ウィンドウの各部分の役割を覚えて、ウィンドウを自由自在に操作できるようにしましょう。では、先ほど起動したペイントのウィンドウを使って操作を練習してみましょう。

## ウィンドウ各部の説明



### メニューバー

各アプリケーションソフトでできる操作が表示されています。文字の部分をクリックすると、さらに詳しいメニューが表示されます。



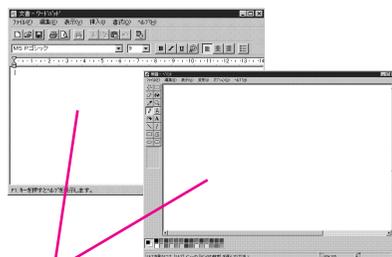
ここにマウスポインタを合わせてクリックすると

このようにメニューが表示されます。



## ウィンドウとは

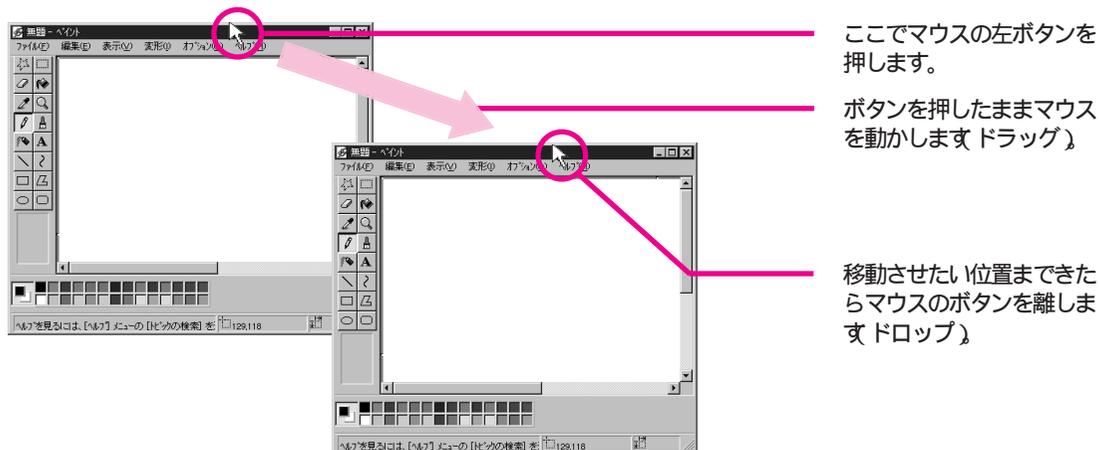
ウィンドウは作業を行う仕事場のようなものです。アプリケーションソフトを起動すると、そのアプリケーションソフトのウィンドウが開かれ、作業ができるようになります。ウィンドウは、同時にいくつも開くことができるので、複数の作業を同時進行で行うことができます。ペイントだけでなく、いろいろなアプリケーションソフトを起動してウィンドウを開いてみましょう。



これらそれぞれがウィンドウです。

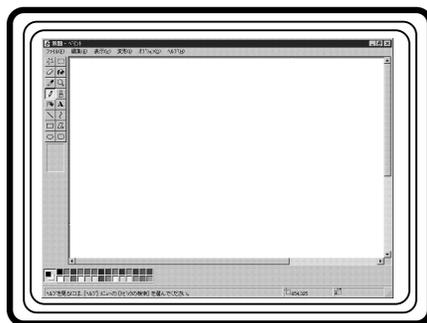
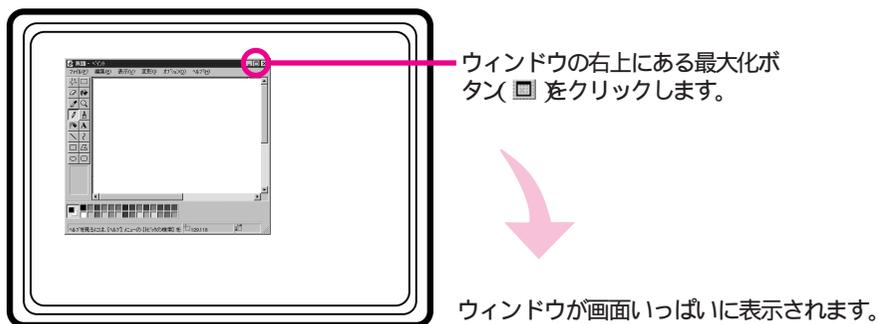
# ウィンドウを移動する

ウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。  
移動させたい位置まできたら、マウスのボタンを離します。  
ウィンドウを移動させてもウィンドウの大きさは変わりません。



# ウィンドウのサイズを変更する

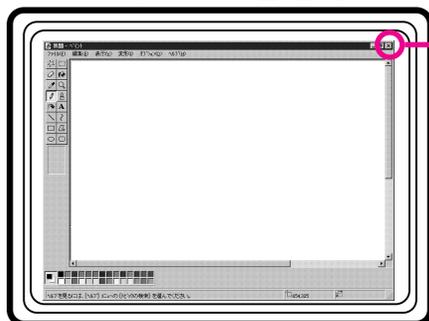
ウィンドウを画面いっぱいに表示させる



・最大化ボタン(  )は一度クリックすると、もとのサイズに戻すボタン(  )になります。

・すでにウィンドウが画面いっぱいに表示されているときは、このボタンは、もとのサイズに戻すボタンになっています。

## ウィンドウをもとのサイズに戻す



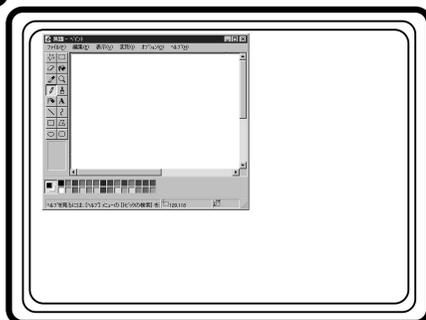
ウィンドウの右上にあるもとのサイズに戻すボタン(☐)をクリックします。



もとのサイズとは、ウィンドウを画面いっぱいに表示する直前のウィンドウのサイズのことです。



ウィンドウがもとの大きさに戻ります。



## ウィンドウを好きな大きさにする



ウィンドウの枠の部分にマウスポインタを合わせると、マウスポインタの形が↖(位置によっては↓、←など)に変わります。この状態のときにマウスをドラッグするとウィンドウの大きさが変わります。好きな大きさになったところでマウスのボタンを離してください。



### こんなときは？

ウィンドウをたくさん開きすぎて、使いたいアプリケーションソフトのウィンドウが見えなくなりました(隠れてしまった)

起動しているアプリケーションソフトはタスクバーにすべて表示されています。使いたいアプリケーションソフトの名前をクリックすると、隠れていたウィンドウが一番前に表示されます。

## ウィンドウを最小化する



ウィンドウの右上にある最小化ボタン  をクリックします。



ウィンドウが最小化され、タスクバー (P.90) にのみ表示されます。しかし、この状態では、アプリケーションソフトは終了していません。  
タスクバーに表示されているアプリケーションソフト名をクリックすると、すぐにウィンドウを開くことができます。



ウィンドウはいくつでも開くことができますが、たくさん開きすぎると画面が見にくくなります。そこで、作業をしていないアプリケーションソフトはウィンドウを最小化しておき、作業するときだけ、ウィンドウを開くようにすると、画面がすっきりします。

## アプリケーションソフトを終了する

作業が終わったら、アプリケーションソフトを終了します。まだ、作業はしていませんが、とりあえず、ここで終了のしかたを覚えておきましょう。



ウィンドウの右上にある終了ボタン  をクリックします。



ペイントの画面が消えます。今回は、ウィンドウを最小化しただけではないので、タスクバーの表示も消えています。  
これで、ペイントは終了しました。



### こんなときは？

アプリケーションソフトを終了しようとしたときに、「保存してください」というようなメッセージが表示されることがあります。これは、そのアプリケーションソフトで作業した内容が、パソコンの中に保存されていないためです。作業内容を保存しておきたい場合は、作業した内容を「ファイルに保存」してください。保存のしかたについては、P.108で説明しています。

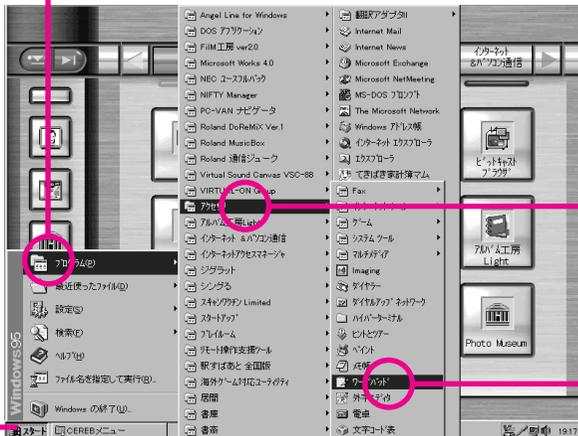
# 文字を入力する

ウィンドウの基本操作が分かったところで、実際にアプリケーションソフトを使ってみましょう。まずは、文字の入力をしてみましょう。ここでは、「ワードパッド」を使ってみます。

## ワードパッドを起動する

[スタート] ボタンをクリックします。

スタートメニューにある [プログラム] に、マウスポインタを合わせます。



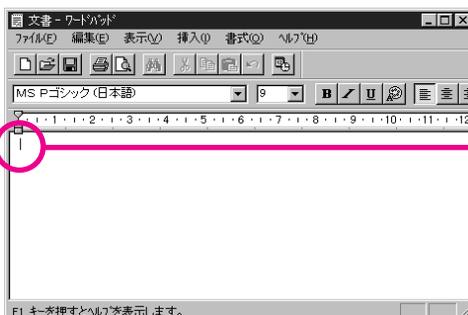
[スタート] ボタンは、CEREBメニューの画面 (P.90) デスクトップの画面 (P.125) サイバーホーム 3D の画面 (P.123) のどこからでも利用することができます。

[プログラム] の一覧にある [アクセサリ] に、マウスポインタを合わせます。

[アクセサリ] の一覧から [ワードパッド] をクリックします。



ワードパッドが起動します。



画面上にこのようなマークが点滅しています。これを「カーソル」といいます。文字を入力するとカーソルのある位置に表示されます。

# 日本語入力システム

漢字やひらがなを入力するには、日本語入力システムが必要です。本機では、MS-IME97という日本語入力システムを使うことができます。

## 日本語入力をONにする

電源をONにした直後は、日本語入力システムが使えるようになっていません。そこでまず、日本語入力をONにして、日本語入力システムが使えるようにします。



[日本語入力オン] をクリックします。

タスクバーの日本語入力インジケータをクリックします。



[日本語入力インジケータ]の形が変わります。また、日本語入力システムのツールバーが表示され、日本語が入力できる状態になります。

MS-IME97の詳しい操作方法については、画面右下にあるMS-IME97ツールバーのをクリックして表示されるヘルプを参照してください。

なお、本機に添付されている『Microsoft Windows 95 ファーストステップガイド』にはMS-IME95についての記述がありますが、本機はMS-IME95をインストールしていません。



ワイヤレスキーボードを使って、日本語入力をONにすることもできます。**CTRL**を押しながら、**XFER**を押すと、日本語入力をONにできます。



ツールバーが表示されないときは、日本語入力インジケータをクリックして、表示されるメニューの中の[ツールバーを表示]をクリックしてください。

### 日本語入力がOFFのとき

日本語入力がOFFのときには、半角の英数字が入力できます。**かな**を押すと、かなキーランプが点灯し、半角のカタカナが入力できます。

半角の文字とは、日本語入力がONのときに入力できる漢字やひらがなと比べて、文字幅が半分になっている文字のことです。



## 漢字を入力する

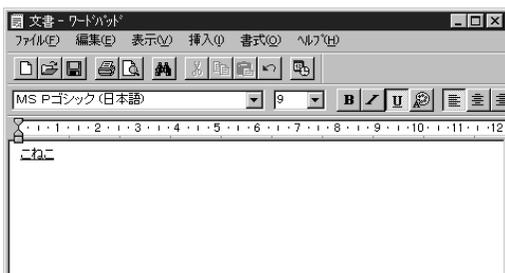
漢字を入力してみます。「子猫」と入力してみましょう。

### 1 読みを入力します。

ローマ字入力： **K O N E K O** と押してください。

かな入力： **こねこ** と押してください。

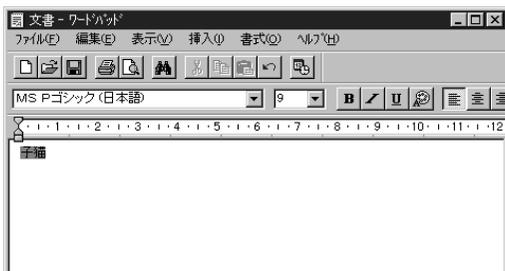
画面表示が次のように変わります。



### 2 漢字に変換します。

(スペースキー) を押してください。

画面表示が次のように変わります。



画面表示が「子猫」と表示されないときは、次のページに記述されているコラムを参照して、「子猫」に変換してください。



### 文字入力のヒント

入力を間違えたときは？

- ・読みを入力しているときに間違いに気づいたときは、**[BS]**を押すと、カーソルの左側にある文字が1文字ずつ消えていきます。間違えたところから入力し直してください。
- ・漢字に変換している途中で間違いに気づいたときは、**[ESC]**を押すと、変換する前の状態に戻ります。**[BS]**を押して、間違えたところを消して入力し直してください。
- ・確定したあとで間違いに気づいたときは、**[BS]**を押すと、カーソルの左側にある文字が1文字ずつ消えていきます。もう一度読みから入力し直してください。

- 3** 確定します。  
 (Enterキー) を押してください。



## ひらがなを入力する

ひらがなを入力してみます。「しっぽ」と入力してみましょう。

- 1** 読みを入力します。

ローマ字入力：      と押してください。

かな入力：   +    と押してください。

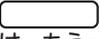
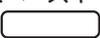
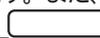


- 2** 確定します。  
ひらがなのままでよいので、変換する必要はありません。  
 (Enterキー) を押してください。



## 文字入力のヒント

正しい漢字に変換されないときは？

 (スペースキー) を1回押すと、次の変換候補が表示されます。まだ、正しい漢字でない場合は、もう一度  を押すと、変換候補の一覧が表示されます。 を押すたびに、反転表示が移動していきます。反転表示が正しい漢字のところに合ったら、 (Enterキー) を押してください。

## カタカナを入力する

カタカナを入力してみます。「リボン」と入力してみましょう。

### 1 読みを入力します。

ローマ字入力： **R I B O N** と押してください。

かな入力 : **りぼん** と押してください。



### 2 カタカナに変換します。 キーボード上部にある **f・7** を押してください。



### 3 確定します。 (Enterキー) を押してください。



### 文字入力のヒント

MS-IME97の「漢字辞典」では、マウスの手書き文字を認識して文字を入力することができます。詳しくは画面右下にあるMS-IME97ツールバーのをクリックして表示されるヘルプを参照してください。

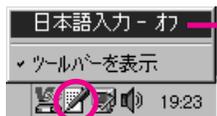
## 英字を入力する

英字を入力してみます。「mary」と入力してみましょう。英字は  
いったん日本語入力をOFFにしてから入力します。



ファンクションキーを使  
って英字を入力すること  
もできます( P.103 )

### 1 日本語入力をOFFにします。

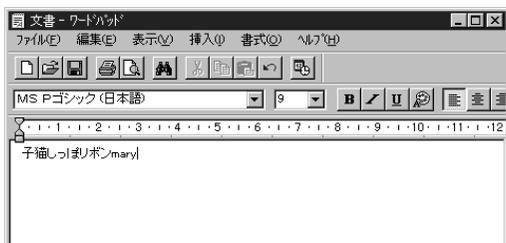


[日本語入力オフ] をクリックし  
ます。

タスクバーの日本語入力インジ  
ケータをクリックします。

### 2 英字を入力します。

**M A R Y** と押してください。



大文字にしたい場合  
は、「mary」と入力す  
る前に、**[CAPS]** を押  
しておきます。

### 3 日本語入力をONにします。 次に日本語を入力するときのために、日本語入力を ONにしておきます。



文字入力は、たくさん入力して慣れていくことが大切です。基本  
を理解したら、次の例文を入力してみましょう。**[BS]**を押して、  
これまで入力した文字を消してください。

#### 例題

うちの子猫maryを紹介します！  
耳は茶色、しっぽに赤いリボンがついています。  
血統書付きのペルシャ猫です。



ワイヤレスキーボード  
を使って、日本語入力  
のON/OFFを切り替  
えることもできます。  
**[CTRL]**を押しながら、  
**[XFER]**を押すと、日本  
語入力をONにできま  
す。もう一度押すと、  
日本語入力OFFにな  
ります。



## 文字入力のヒント

「!」や「?」を入力するには?

キーには、一つのキーにいくつかの文字や記号が書かれています。これは、キーの数が多すぎて使いにくくならないように、一つのキーに何種類かの文字や記号が割り当ててあるため、**(SHIFT)**、**(CAPS)**、**(かな)**と組み合わせることで、入力したい文字や記号が入力できるようになっています。

(例)  の場合

#を入力する場合：  
**(SHIFT)**を押しながらこのキーを押します。

3を入力する場合：  
このキーだけを押します。



あを入力する場合：  
**(かな)**をロック(☞P.98)して**(SHIFT)**  
を押しながらこのキーを押します。

あを入力する場合：  
**(かな)**をロック(☞P.98)してこのキーを  
押します。

改行をするときは?

 (Enterキー)を押すと、改行できます。

「、」や「。」を入力するときは?

ローマ字入力の場合は、

「、」は  を押すと入力できます。

「。」は  を押すと入力できます。

かな入力の場合は、

「、」は **(SHIFT)**を押しながら、 を押すと入力できます。

「。」は **(SHIFT)**を押しながら、 を押すと入力できます。

ファンクションキーを使ってみよう

キーボードの上部にある **(f・6)** ~ **(f・10)** のキーをファンクションキーといいます。ファンクションキーには、次のような役割があります。文字の入りに慣れてきたら、ファンクションキーを使って入力すると便利です。

	ひらがなに変換します
	カタカナに変換します
	半角の文字に変換します
	全角の英数字に変換します
	半角の英数字に変換します

日本語入力について、詳しいことが知りたいときは?

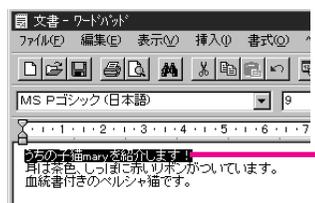
各日本語入力システムについてヘルプをご覧ください。日本語入力システムのヘルプの使いかたは、『ステップアップガイド』のPart1の「ワイヤレスキーボード」をご覧ください。

# 文章を編集する

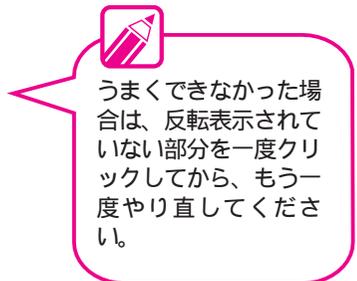
Windowsのアプリケーションソフトの多くは、文章をコピーして同じ文を作ったり、文字を移動したりする機能を持っています。先ほど入力した例題を使って、コピーや移動の練習をしてみましょう。

## 入力した文章のコピー(複製)を作る

- 1 コピーしたい部分をドラッグして選択します。  
ここでは、「うちの子猫maryを紹介します!」を選択してみましょう。



選択された部分は、反転表示されます。



- 2 選択した部分をコピーします。



[編集]メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から[COPY]コマンドをクリックします。

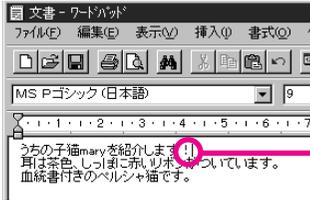
画面上は、何も変わっていませんが、選択された部分はクリップボードにコピーされています。

## クリップボードとは？

クリップボードは、コピーしたり、切り取ったりした文字などのデータを一時的に置いておくところです。

### 3 コピーした文章を貼り付けたい位置に、マウスポインタを移動してクリックします。

ここでは、「うちの子猫maryを紹介します!」のすぐ後に貼り付けてみましょう。



このあたりをクリックすると、カーソルが点滅します。

### 4 コピーした文字を貼り付けます。

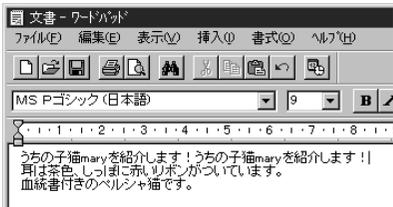


[編集]メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から [貼り付け] ボタンをクリックします。

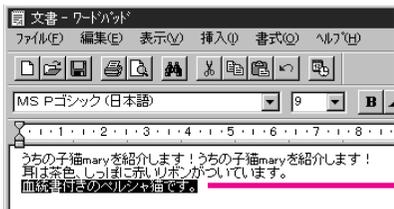


クリップボードからコピーした部分が貼り付けられます。



## 入力した文章を移動する

- 1 移動したい部分をドラッグして選択します。  
ここでは「血統書付きのペルシャ猫です。」を選択してみましょう。

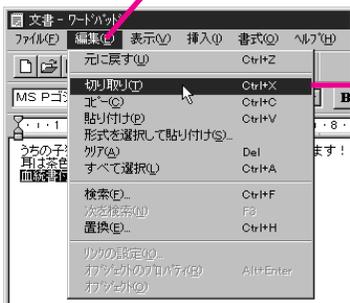


選択された部分は、  
反転表示されます。



うまくできなかった場合は、反転表示されていない部分を一度クリックしてから、もう一度やり直してください。

- 2 選択した部分を切り取ります。

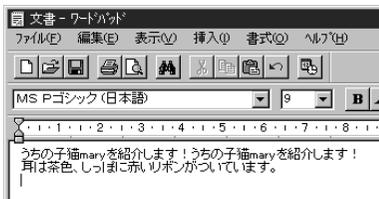


[ 編集 ]メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から [ 切り取り ]  
コマンドをクリックします。



反転表示されていた部分がクリップボードに切り取られ、画面上から消えています。



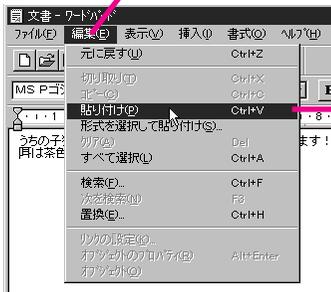
### 3 切り取った文章を貼り付けたい位置に、マウスポインタを移動してクリックします。

ここでは、「耳は茶色、」の前に貼り付けてみましょう。



クリックすると、カーソルが点滅します。

### 4 切り取った文字を貼り付けます。

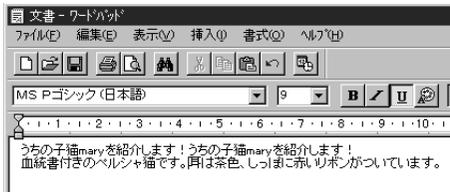


[編集]メニューをクリックします。

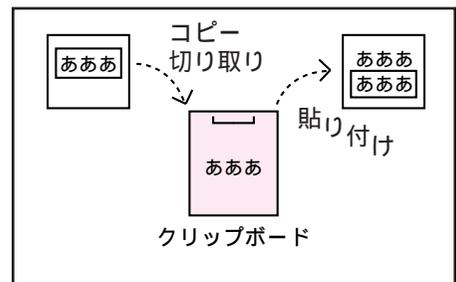
表示されたメニューの中から [貼り付け] ロマンドをクリックします。



クリップボードから切り取った文字が貼り付けられます。



このように、Windowsのほとんどのアプリケーションソフトでは、コピーや移動は、クリップボードを使って行われています。次に「コピー」や「切り取り」をするまでは、クリップボードには前のデータが残っているので、電源をOFFにしないかぎり、何回でも貼り付けることができます。



## 操作を間違えたときは

コピーする部分を間違えたり、貼り付ける位置を間違えたりしたときなど、操作を間違えてしまったときは、その操作をする直前の状態に戻すことができます。



操作内容によっては元に戻せない場合もあります。



[編集]メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から [元に戻す] ロマンドをクリックします。

## 入力した文章を保存する

入力した文章は、このままでは画面に表示されているだけのものなので、アプリケーションソフトを終了したり、電源をOFFにしたりすると、なくなってしまいます。そこで、名前を付けてパソコン内に保存します。この保存されたものをファイルといいます。

**1** 文章を保存するためのダイアログボックスを開きます。



[ファイル]メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から [名前を付けて保存] ロマンドをクリックします。



ダイアログボックスとは、項目の設定や確認情報の入力などをするときに、一時的に表示されるウィンドウのことです。



## ファイルの保存について

### ・こまめに保存しよう

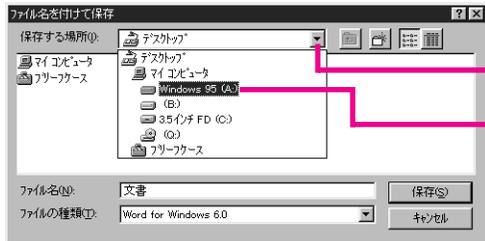
パソコンの使用中に停電になったりすると、保存していないデータは消えてしまいます。そうなってしまうと、取り返しがつきません。データが消えてしまうのを防ぐには、こまめに保存することが大切です。長い文書を作るときなどは、ある程度できあがったら [名前を付けて保存] でファイルに保存します。次からは、[ファイル]メニューの [上書き保存] を使って、変更した内容を更新していきます。そうすれば、何かトラブルがあっても、最後に更新した時点までの内容が残ることになります。

### ・保存する場所について

Windowsでは、ファイルをまとめて保存するしくみとして、フォルダと呼ばれるものがあります。フォルダをいくつか作成しておいて、目的別にファイルを分類しておくのと、あとからファイルを利用するとき便利です。また、フォルダの中にフォルダを作成することもできます。ファイルをいろいろなフォルダに保存してしまうと、どこにファイルを保存したのか分からなくなります。そのようなことを起こさないために、ファイルは決まったフォルダに保存するようにしましょう。次ページ以降にフォルダへの保存のしかたを説明しています。この練習ファイルは、そのフォルダに保存するようにしましょう。

## 2 ファイルを保存するためのフォルダを作成します。

ここでは、ファイルを保存するためのフォルダとして  
[Data] というフォルダを作成します。



このボタンをクリックします。

[ Windows 95 (A:) ] の部分をクリックします。



新しいフォルダを作成します。



このボタンをクリックします。

新しいフォルダが表示されます。



フォルダに名前をつけます。



[Data] と入力して、 (Enter キー) を押します。日本語入力  
が ON になっているときは、OFF に  
してから入力してください  
(P.102)

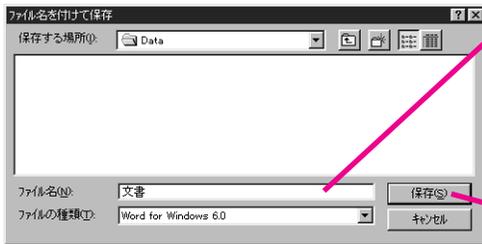
### 3 [Data]フォルダにファイルを保存します。



[Data]フォルダをダブルクリックします。



ファイルに名前をつけます。



ここをクリックしてカーソルを表示させてから **[DEL]** または **[BS]** を使って文書という文字を消します。そのあとファイル名を入力します。ここでは、「子猫」と入力しましょう。漢字が入力できない場合は、日本語入力がOFFになっています。ONにしてください( P.97 )

保存する場所と名前を確認して、[保存]ボタンをクリックします。

保存が終わると、タイトルバーのところにファイル名が表示されます。



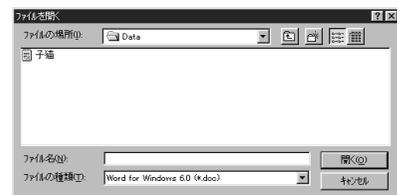
これで、「ワードパッド」での作業は終わりです。「ワードパッド」を終了しましょう。



保存する場所は、あとで変えることもできます( P.137 )

### 保存したファイルを開くには

保存したファイルを開くときには、[ファイル]メニューの[開く]コマンドを使って開きます。保存したときと同じように、[ファイルを開く]ダイアログボックスが表示されたら、ファイルを保存した場所とファイル名を選んで[開く]をクリックしてください。



# 絵を描く

ここでは、絵を描くアプリケーションソフトを起動して絵を描いてみましょう。ここでは、「ペイント」を使ってみます。

## ペイントを起動する

**1** [グループ] ボタンから [書庫] をクリックします。



[書庫]が表示されていない場合は、[グループ切り替え]ボタン( )または( )をクリックしてください。

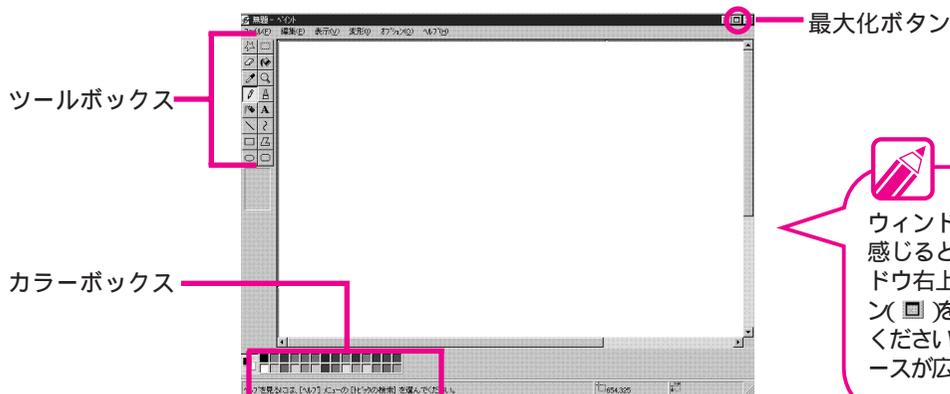
**2** [ユーティリティ] アイコンをクリックします。



**3** [ペイント] アイコンをクリックします。



ペイントが起動します。



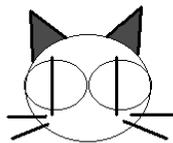
ウィンドウが小さいと感じるときは、ウィンドウ右上の最大化ボタン( )をクリックしてください。絵を描くスペースが広くとれます。

### ツールボックスとカラーボックス

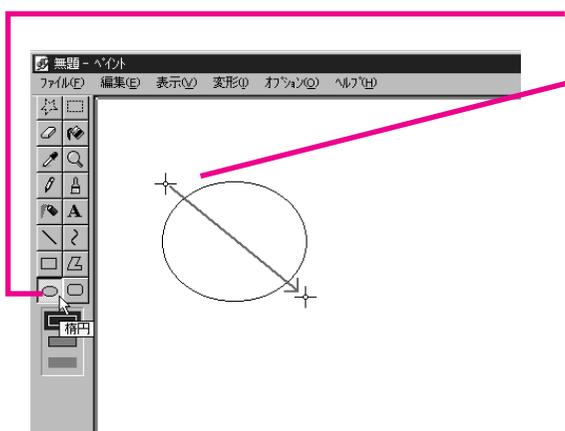
ツールボックスには、円を描くための「楕円ツール」、直線を引く「直線ツール」、色を塗るための「塗りつぶしツール」など、絵を描くための道具が入っています。各ツールにマウスポインタを合わせると、そのツールの機能が表示されます。カラーボックスは、線の色や塗りつぶしの色を選ぶためのボックスです。

# ペイントで絵を描く

では、「ネコ」の絵を描いてみましょう。  
はじめはうまく描けないかもしれませんが、失敗してもかまわないので何度も練習してみてください。



## 1 まず、ネコの顔の輪郭を描きます。



楕円ツールをクリックします。

マウスポインタを、図のように左上から右下に向かってドラッグします。

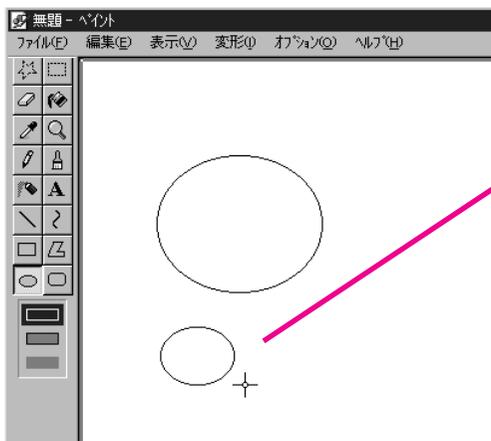
マウスポインタは、作業スペースでは+に変わります。

適当な楕円が描けたら、マウスのボタンから指を離します。



描き直したい場合は、[編集]メニューの[元に戻す]をクリックします。

## 2 ネコの目を描きます。



楕円の下に、手順1で描いたものの半分くらいの大きさの楕円を描きます。



最初に描いた大きな楕円と重ならないように注意しましょう。

## [元に戻す] やり直し

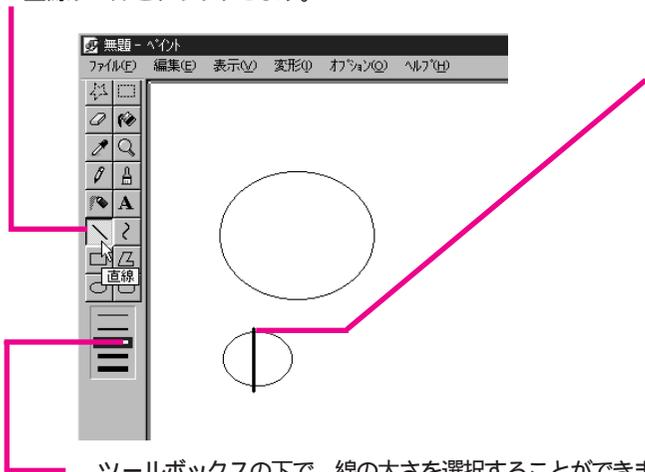
ペイントの[編集]メニューの中には[元に戻す]と[やり直し]があります。この2つには、次のような違いがあります。

[元に戻す] .....表示されている状態の一つ前の段階の状態に戻します。[元に戻す]は続けて3回まで使えるので、3つ前の段階の状態まで戻せます。

[やり直し] .....直前に行った操作を取り消します。

### 3 目の中に瞳を描きます。

直線ツールをクリックします。



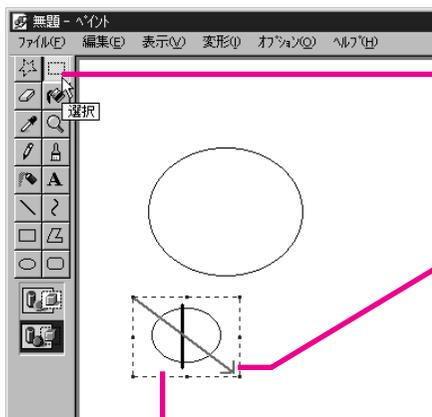
小さな楕円を2分するように垂直に線を引きます。始点にマウスポインタを置き、終点までドラッグします。適当な線が描けたら、マウスボタンから指を離します。

ツールボックスの下で、線の太さを選択することができます。ここでは、上から3番目の線をクリックしましょう。



線が長くなりすぎたら、消しゴムツール( )を使って消してください。消したい部分の上でドラッグすると、線が消えます。

### 4 もう片方の目をコピーして作ります。



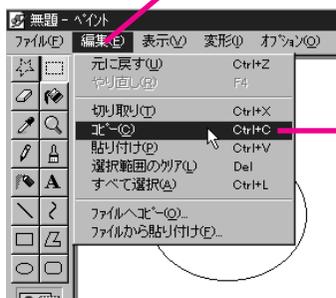
選択ツールをクリックします。

手順2、3で描いた目を左上から右下に向かってドラッグして選択します。

選択範囲を示す点線が表示されます。



うまく選択できなかった場合は、点線で囲まれていない部分を一度クリックしてから、もう一度やり直してください。



[編集]をクリックします。

表示されたメニューの中から[コピー]をクリックします。画面上は何も変わっていませんが、クリップボードの中に、この目がコピーされています。

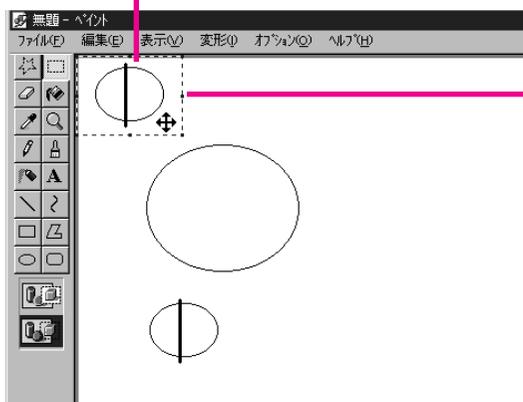


[ 編集 ] をクリックします。

表示されたメニューの中から [ 貼り付け ] をクリックします。



ウィンドウの左上にコピーした目の部分が貼り付けられます。



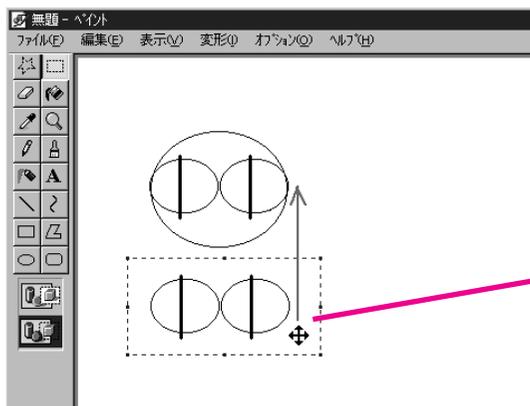
点線で囲まれている（選択されている）箇所にマウスポインタを置いてから、最初に描いた目の隣までドラッグします。

貼り付けたい位置まできたらマウスのボタンから指を離します。



うまく貼り付けられなかった場合は、[ 編集 ] メニューの [ 元に戻す ] をクリックしてください。貼り付ける前の状態に戻ります。

## 5 両目を顔の中央へ移動します。



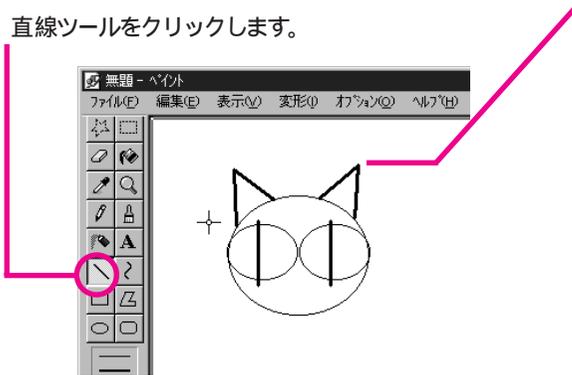
前と同じようにして両目を選択します。

選択範囲の箇所にマウスポインタを置き、顔の輪郭の楕円の中へドラッグします。

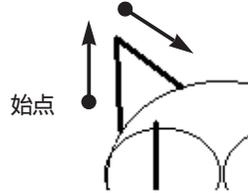
貼り付けたい位置まできたらマウスのボタンから指を離します。

## 6 耳を描きます。

直線ツールをクリックします。

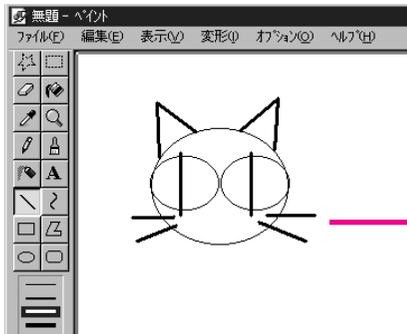


ネコの顔の輪郭の上に直線で山のかたちを描きます。顔の輪郭部分を始点として上向きにドラッグしてマウスのボタンを一度離します。続けて下向きにドラッグして、顔の輪郭部分まできたらマウスのボタンを離します。



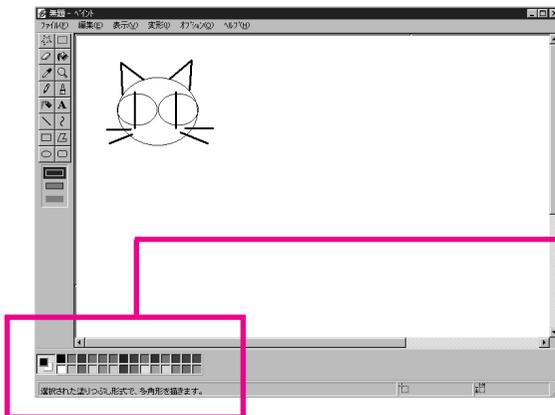
もう一方の耳も同じようにして描きます。

## 7 ヒゲを描きます。



目の下に直線を2本ずつ描きます。

## 8 耳に色をつけます。



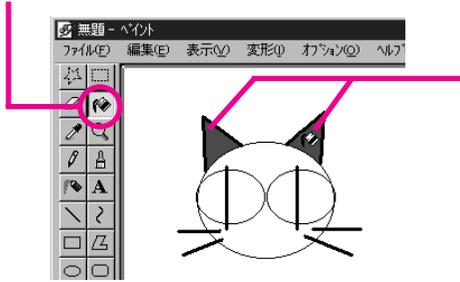
カラーボックスから色を選択します。使いたい色の上をクリックします。ここでは、茶色を使ってみましょう。



カラーボックス



塗りつぶしツールをクリックします。



耳の部分の三角形の中にマウスポインタを合わせてクリックします。耳の内側が茶色に塗りつぶされます。

耳を塗りつぶそうとして耳の三角形の中をクリックしたら、耳と一緒に背景まで塗りつぶされてしまった場合は、耳と顔との輪郭の間にすきまがあることが考えられます。塗りつぶしは閉じられた空間内を塗りつぶすツールです。[元に戻す]で塗りつぶす前の状態に戻してから、下のコラムを参考にして修正してください。

これで、ネコが完成しました。

「ワードパッド」の場合と同じようにして、描いた絵を保存しておきましょう。

ここでは、ファイル名を「ネコ」にしておきます。

これで、「ペイント」での作業は終わりです。「ペイント」を終了しましょう ( P.95 )



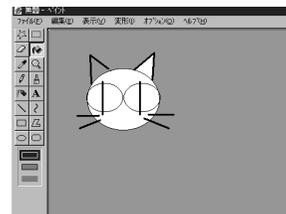
ペイントには、今回使用した機能以外にもさまざまな機能があります。より詳しい情報についてはメニューバーからヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。



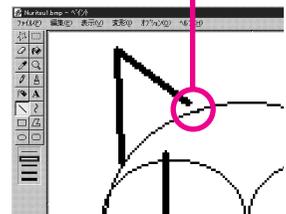
## 塗りつぶし

塗りつぶしは線で閉じられた空間を塗りつぶすツールです。閉じられていない箇所をクリックすると、右のようにその空間以外の場所まで塗りつぶしてしまいます。このようなときは、[編集]メニューの[元に戻す]で元に戻してから、塗りつぶしたい範囲が閉じられた空間になるように修正します。修正は、直線ツールや鉛筆ツールを使います。

閉じられた空間になっているかどうかのわかりにくい場合は、[表示]メニューの[拡大] - [拡大する]をクリックしましょう。画面が拡大表示になります。もとの表示に戻すには、[表示]メニューの[拡大] - [標準に戻す]をクリックします。



ここにすきまがあります。

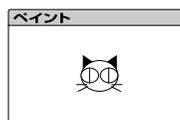




## 文章に絵を貼り付ける

「ワードパッド」や「ペイント」で使った、「コピー」や「貼り付け」のコマンドは、複数のアプリケーションソフト間でも同じように使うことができます。先ほど作成した「子猫」の文章に「ネコ」の絵をコピーして貼り付けてみましょう。

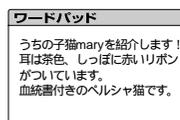
ペイントを起動して、「ネコ」のファイルを開きます。



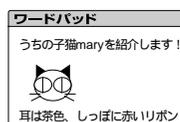
ネコのイラストの部分を選択してコピーします。



ワードパッドを起動して、「子猫」のファイルを開きます。



「ネコ」の絵を貼り付けます。



これで、「ネコ」の絵が入った文書ができました。

このようにすると、報告書に表計算ソフトで作った表やグラフを入れたり、案内状に地図を入れたり、年賀状に自分で描いた絵を入れたりすることも簡単にできます。





## Part 5

# 使いこなすために

ここでは、本機を使いこなすために知っておいてほしいことを説明しています。基本操作を身につけたら、ぜひ、読んでください。

ヘルプを使う

サイバーホーム3Dを使う

デスクトップを使う

ファイルを整理する

フロッピーディスクにデータのバックアップをとる

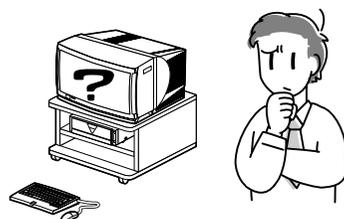
こんなことがしたい!

# 使いこなせるようになるために、必要に応じて読んでいきましょう。

## 操作に困ったときにはヘルプを使ってみよう

- ・ヘルプを使う

操作に困ったりしたときにはヘルプが力強い味方になってくれます。ヘルプの操作を覚えて、より高度な使いかたができるようになりましょう。



## 基本の画面を変えてみよう

- ・サイバーホーム3Dを使う
- ・デスクトップを使う

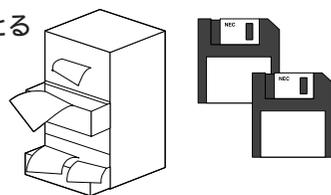
CEREBメニューはかんたんで便利ですが、サイバーホーム3DやWindowsのデスクトップを使うこともできます。CEREBメニュー、サイバーホーム3D、デスクトップの違いを覚えて、本機をより使いこなせるようになりましょう。



## ファイル操作を覚えよう

- ・ファイルを整理する
- ・フロッピーディスクにデータのバックアップをとる

自分が作成したファイルを上手に管理することは、Windowsを使いこなすために重要なことです。ファイルの整理のしかたやバックアップのとりかたを覚えて、ファイルを上手に管理できるようになりましょう。



## こんなことがしたい！

このマニュアルで基本的な操作を覚えたら、さて次に何をしましょうか？ 目的がはっきりしている方も、また次に何をしたら良いのかわからない方もぜひこのページを読んでみてください。あなたの目的を達成するためにどのマニュアルを読んだらよいのかを説明しています。次の段階へ進むための参考にしてください。



# ヘルプを使う

Windowsには、さまざまな操作の助けになるように「ヘルプ」が用意されています。ヘルプには、Windowsの操作方法、便利に使うためのヒントやテクニック、トラブルシューティングといったものがまとめられています。

## ヘルプを表示させる

- 1 [スタート] ボタンをクリックして、表示されたスタートメニューの中から「ヘルプ」をクリックします。

[スタート] ボタンをクリックします。

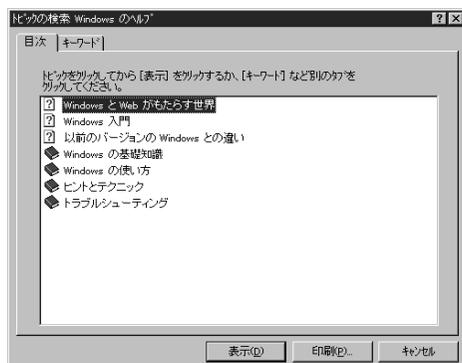


[ヘルプ] をクリックします。



ワイヤレスキーボードの[F1]を押してヘルプを表示させることもできます。

ヘルプの画面が表示されます。



ヘルプを終了するときには、[X] ボタンをクリックするか、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。



## パソコン用語集

[パソコン用語集] を使ってパソコン用語の説明を見ることができます。画面上で用語の説明を見る場合は、CEREBメニューの[書庫]グループ - [チュータ]の[パソコン用語集] アイコンをクリックします。パソコン用語は、『困ったときにお読みください』の付録の「パソコン用語集」にも一部記載されています。

# ヘルプの内容を見る

ヘルプの内容を見るには[目次]画面から調べる方法と[キーワード]画面からキーワードを入力して調べる方法があります。  
[目次]画面と[キーワード]画面は、タブをクリックして切り替えます。

## 目次画面から調べるには

[目次 タブ]

表示されている項目の中から説明を見たい項目をクリックします。

[表示] ボタンをクリックします。このボタンが「開く」になっているときは、その項目の下に詳細な項目があるという意味です。

[開く] ボタンをクリックすると、さらに詳細な項目が表示されます。

## キーワード画面から調べるには

[キーワード タブ]

説明を表示させたい言葉を入力します。はじめの1文字を入力するだけでも項目を検索できます。

表示されている項目の中から説明を見たい項目をクリックします。

[表示] ボタンをクリックします。

## アプリケーションソフトのヘルプ

Windows上で使えるアプリケーションソフトには、操作方法などを説明してくれるヘルプが用意されているものもあります。メニューバーに[ヘルプ]コマンドがあったり、?のついたボタンがあります。アプリケーションソフトによって多少の違いはありますが、基本的な操作方法は同じです。アプリケーションソフトを操作していてわからないことがあったときには、まずヘルプを見てみましょう。

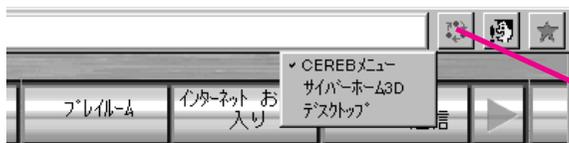
# サイバーホーム3Dを使う

Windows 95の操作は、CEREBメニューからだけでなく、サイバーホーム3Dという画面から操作することもできます。

## サイバーホーム3Dを表示させる

サイバーホーム3Dを表示するには、98ランチバーで操作モードを切り替えます。

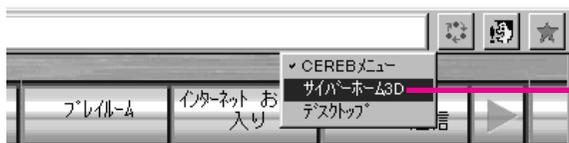
- 1 98ランチバーにある  ボタンをクリックします。



 98ランチバーが表示されていない場合は、マウスポインタを画面の上部に移動させてください。自動的に98ランチバーが表示されます。

ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

- 2 メニューからサイバーホーム3Dを選びます。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。



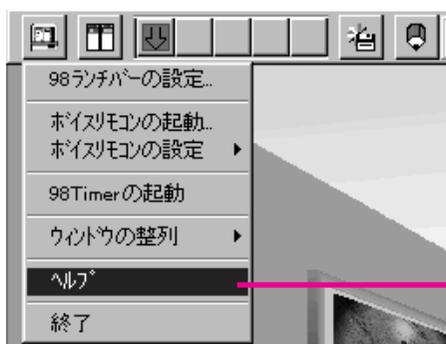
サイバーホーム3Dの画面が表示されます。



## サイバーホーム3Dの画面

98ランチバーで操作モードをサイバーホーム3Dに切り替えると、次のような画面が表示されます。サイバーホーム3Dの詳細い使い方については、98ランチバーのヘルプをご覧ください。

このボタンをクリックします。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

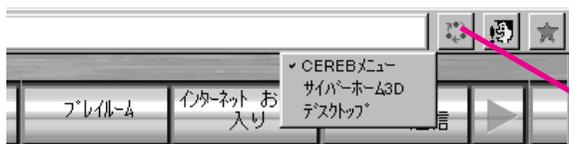
# デスクトップを使う

Windows 95の操作は、CEREBメニュー、サイバーホーム3Dからだけでなく、デスクトップという画面から操作することもできます。デスクトップについての説明は、添付の「Windows 95チュータ」で見ることができます。ここでは「Windows 95チュータ」の使い方説明していますので、そちらもご覧ください。

## デスクトップを表示させる

デスクトップを表示するには、98ランチバーで操作モードを切り替えます。

- 1 98ランチバーにある  ボタンをクリックします。

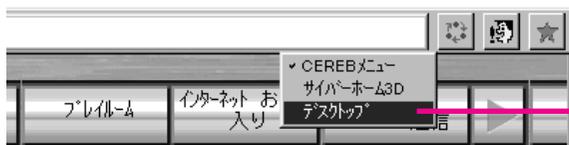


このボタンをクリックします。



98ランチバーが表示されていない場合は、マウスポインタを画面の上部に移動させてください。自動的に98ランチバーが表示されます。

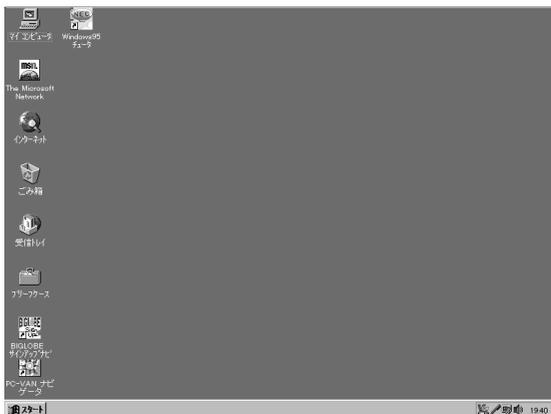
- 2 メニューからデスクトップを選びます。



ここにマウスポインタを合わせてクリックします。

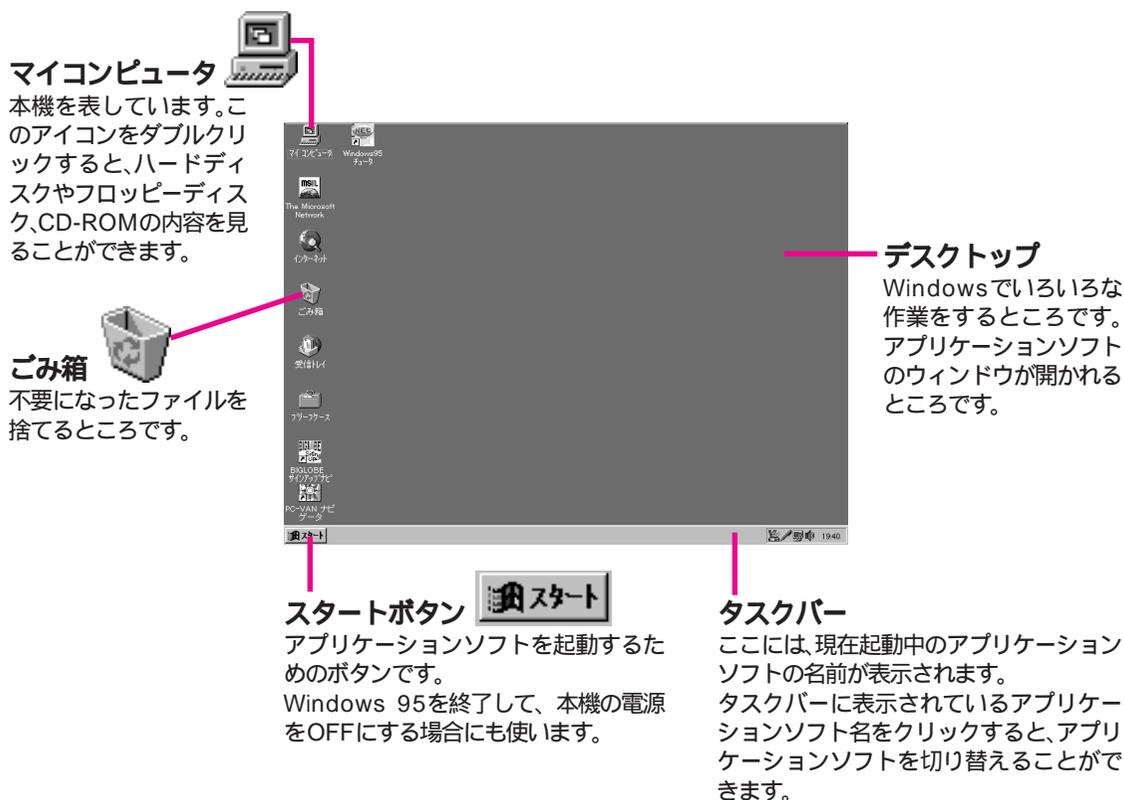


デスクトップの画面が表示されます。



## デスクトップの画面

デスクトップの画面は、次のような要素で構成されています。

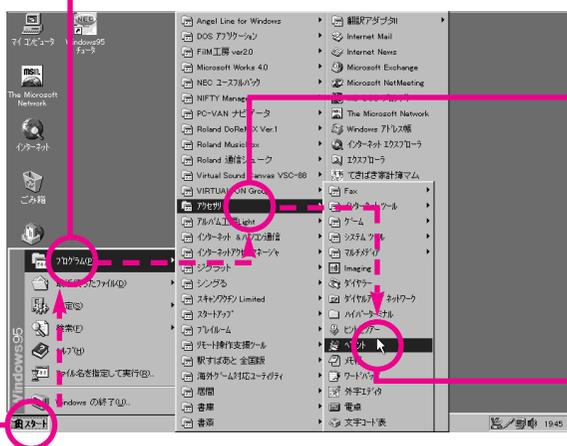


# デスクトップからアプリケーションソフトを起動する

デスクトップからアプリケーションソフトを起動するときは、スタートメニューを使います。ここでは「ペイント」の起動を例に説明しています。

## デスクトップからペイントを起動する

[スタート] ボタンをクリックします。



スタートメニューにある [プログラム] に、マウスポインタを合わせます。

[プログラム] の一覧にある [アクセサリ] に、マウスポインタを合わせます。

[アクセサリ] の一覧から [ペイント] をクリックします。

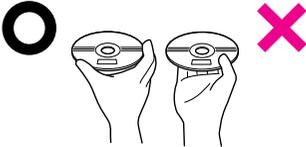
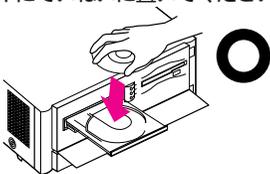
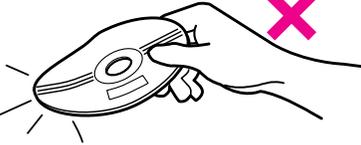
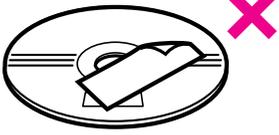
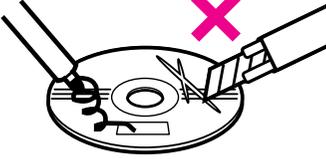
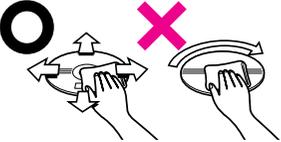
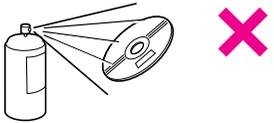
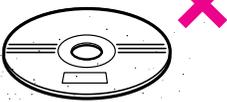
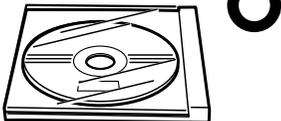
ペイントが起動します。



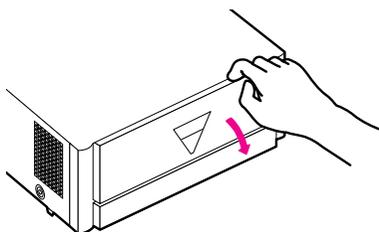
ペイントの終了のしかたは、CEREBメニューから起動したときと同じです。



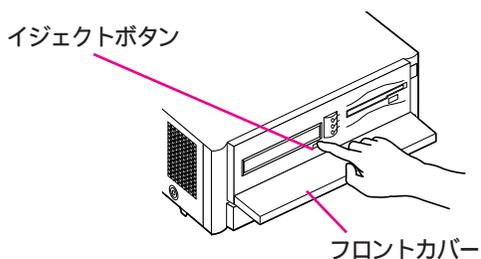
CD-ROMを取り扱うときは、次のような点に注意してください。CD-ROMの取り扱いや、CD-ROMドライブについて、詳しくは『ステップアップガイド』のPart1の「CD-ROMドライブ」をご覧ください。

<p>信号面（文字などが印刷されていない面）に手を触れないでください。</p> 	<p>ケースの中央を押しながら取り出ししてください。</p> 	<p>文字の書かれている面を上にして、トレイに正しい向きに置いてください。</p> 
<p>CD-ROMの上にものをのせたり曲げたりしないでください。</p> 	<p>ラベルなどを貼らないでください。</p> 	<p>キズをつけたり字などを書いたりしないでください。</p> 
<p>落として強い衝撃を与えたり、キズをつけないでください。</p> 	<p>指紋やホコリが付いたときは、乾いた柔らかい布で、内側から外側に向けて拭いてください。</p> 	<p>清掃の際は、CD用のクリーナーをお使いください。レコード用のスプレー、クリーナー、ベンジン、シンナーなどは、使わないでください。</p> 
<p>ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。</p> 	<p>直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。</p> 	<p>使用後は収納ケースへ入れるようにしてください。</p> 

- 1** フロントカバーを手前に引いて開きます。

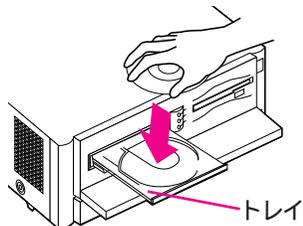


- 2** イジェクトボタンを押します。

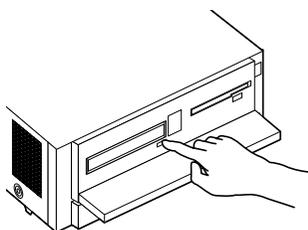


トレイが出てきます。

- 3** 添付のチュートリアルCD-ROMを文字の書いてある面を上にしてトレイの中心に置きます。



- 4** イジェクトボタンを押してトレイを収納します。

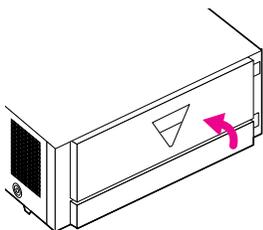


文字などが印刷されていない面に触れないようにCD-ROMを持ちましょう。



トレイを出した状態のままで放置しないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

**5** フロントカバーを閉じます。



**6** [ 実行アプリケーションの選択 ]の画面が表示されますので、[ Windows 95チュータ ]を選んで[ OK ]ボタンをクリックします。



しばらくお待ちください。

Windows 95チュータの画面が表示されます。自動的にオープニングが始まります。



[ START ]ボタン

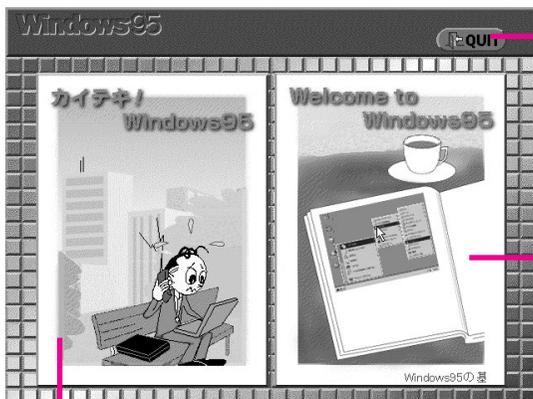
Windows 95チュータのオープニングが終了すると、メインメニュー画面が表示されます。



表示されない場合は [ START ]ボタンをクリックしてください。

- 7** イラスト部分をクリックすると、それぞれの説明が始まります。

メインメニュー画面



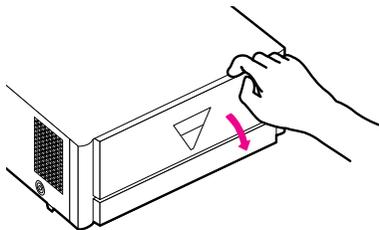
**[ QUIT ] ボタン**

Windows 95 チュータを終了するときは [ QUIT ] ボタンをクリックします。

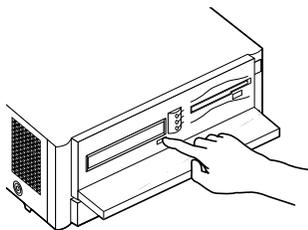
**Welcome to Windows 95**  
Windows 95 の基本操作を音声やアニメーションで説明してくれます。

**カイトキ! Windows 95**  
オフィスでのさまざまなシーンでの Windows 95 の具体的な活用方法を見ることができます。

- 8** Windows 95 チュータが終了したら、フロントカバーを手前に引いて開きます。

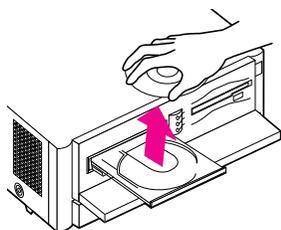


- 9** イジェクトボタンを押します。



トレイが出てきます。

- 10** CD-ROM を取り出します。



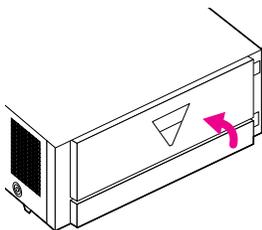
取り出すときに [ チュータリアルCD-ROM ] の端を持つようにし、CD-ROM の信号面 (文字などが印刷されていない面) に触れないようにしてください。

**11** イジェクトボタンを押してトレイを収納します。



トレイを出した状態のままで放置しないでください。CD-ROMドライブの故障の原因となります。

**12** フロントカバーを閉じます。



使用後のCD-ROMはケースなどに保管してください。



デスクトップからWindows 95チュータを見るには

デスクトップ上にある [ Windows 95チュータ ] アイコンをダブルクリックすると、Windows 95チュータが始まります。

# マイコンピュータで本機の内容を見る

デスクトップでマイコンピュータのアイコンをダブルクリックすると、本機の内容を見ることができます。

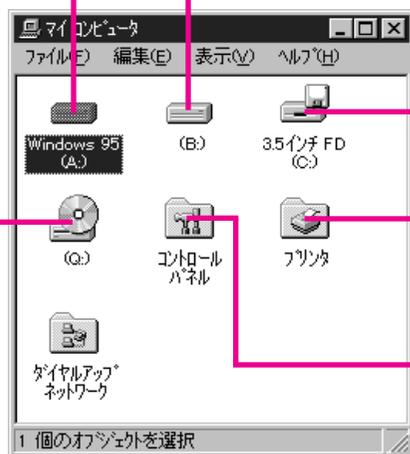
- 1 デスクトップの画面で [マイコンピュータ] をダブルクリックします。



次のようなウィンドウが表示されます。ウィンドウの中のアイコンをダブルクリックすると、それぞれの内容を見ることができます。

内蔵のハードディスクを表しています。ハードディスクは、二つのドライブに分けられているので、アイコンが二つ表示されています。

CD-ROMドライブを表しています。



**3.5インチFD**  
フロッピーディスクドライブを表しています。

**プリンタ**  
本機に接続されているプリンタのアイコンが入っています。

**コントロールパネル**  
画面やキーボード、マウスなど、コンピュータの設定を変えるためのアイコンが入っています。



CEREBメニュー、サイバーホーム3Dの画面が表示されている場合は、画面右上のボタンをクリックして、表示されるメニューからデスクトップを選んでください。



## ドライブとドライブ名

- ・ドライブ  
ファイルやフォルダを保存したり、読み出したりする装置のことをドライブと呼びます。
- ・ドライブ名  
ハードディスクやフロッピーディスクなどのドライブに、Windowsが管理用に付ける名前をドライブ名と呼びます。Windowsでは「A:」、「B:」といったアルファベットが使われます。

# ファイルを整理する

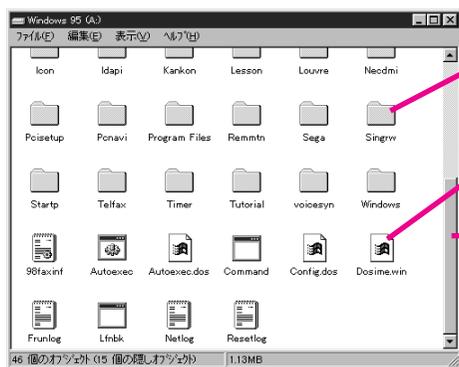
文書を作ったり、絵を描いたりしたときには、ファイルに保存しました。作成したファイルは、本や音楽CDを分類して本棚やケースに整理するように、パソコンの中で整理することができます。ファイルを整理するときには、フォルダを使います。自分のオリジナルフォルダを作って、ファイルを整理してみましょう。

## フォルダとは

- 1 マイコンピュータの中から、「Windows 95 (A :)」をダブルクリックします。



次のようなウィンドウが表示されます。これは、「Windows 95 (A :)」ドライブに入っているフォルダやファイルの一覧です。



この黄色のバインダーのようなかたちをしたものが「フォルダ」です。

フォルダ以外のさまざまなアイコンは「ファイル」です。ファイルは種類によって違ったアイコンで表示されます。

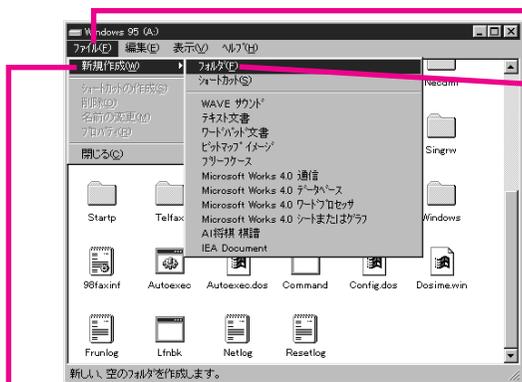


表示されているフォルダをダブルクリックすると、そのフォルダの中に何のファイルが入っているかを見ることができます。

このバーをドラッグすると画面の続きを見ることができます。

# フォルダを作る

## 1 新しいフォルダを作成します。



メニューバーの [ファイル] メニューをクリックします。

表示されたメニューの中から [フォルダ] をクリックします。

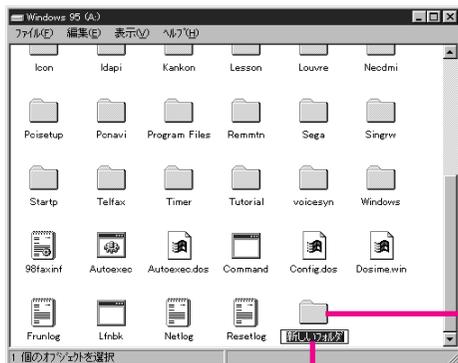


右クリックして表示されるメニューの中から [新規作成] [フォルダ] をクリックしても同じように作成することができます。

[新規作成] にマウスポインタを合わせます。

## 2 フォルダに名前を付けます。

ここでは、「マイフォルダ」と入力して  (Enterキー) を押します。



ウィンドウの中に新しいフォルダが作成されました。

入力された文字は、ここに表示されます。



日本語入力ができないときは、日本語入力がOFFになっています。ONにしてください (P.97)

これで自分のオリジナルのフォルダができました。



## ファイルの種類とアイコン

ファイルは、種類によって、次のようなアイコンで表示されます。それぞれのアイコンをダブルクリックすると、そのファイルを作成したアプリケーションソフトが起動し、ファイルが開かれます。ここでは表示されるアイコンの一例を紹介します。

 : ビットマップ形式のファイルを表しています。ペイントで作成したファイルは、このアイコンで表示されます。

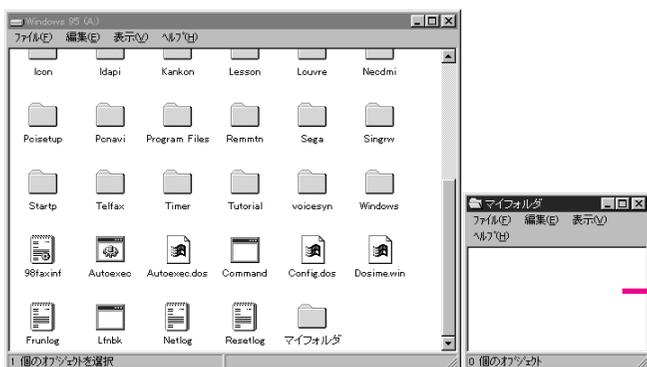
 : テキスト形式のファイルを表しています。メモ帳で作成したファイルは、このアイコンで表示されず。

# ファイルを移動する

作成したフォルダに、自分のつくったファイルを移動してみましょう。

**1** 移動先のフォルダアイコンをダブルクリックして、ウィンドウを表示させます。

ここでは、先ほど作成した「マイフォルダ」をダブルクリックしてみます。



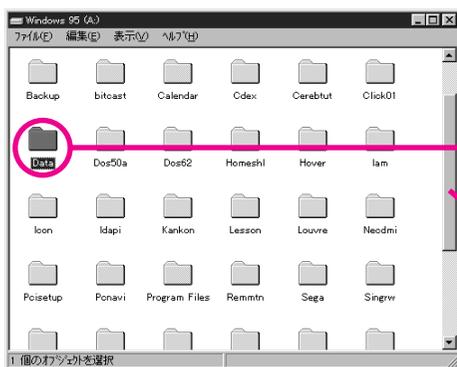
[マイフォルダ]ウィンドウが表示されます。  
まだ中身は何も入っていません。

**2** 移動したいファイルが入っているフォルダを開いて、移動したいファイルのアイコンを移動先のフォルダのウィンドウまでドラッグします。

ここでは、Part4で作って「Data」フォルダに保存した「子猫」を移動してみます。



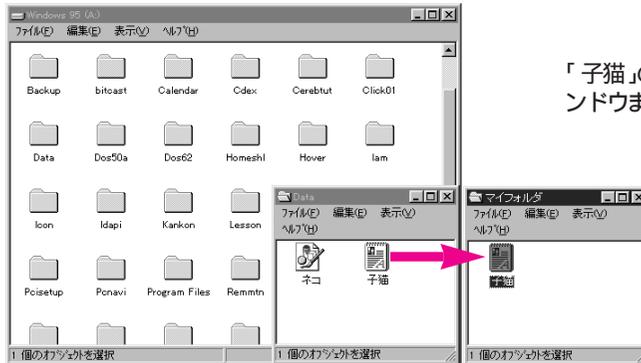
移動ではなくコピーしたい場合は、ドラッグするときに**CTRL**を押しながら行います。



[Windows 95(A:)]の「Data」フォルダアイコンをダブルクリックします。

このバーをドラッグすると、画面の続きを見ることができます。





「子猫」のファイルを[マイフォルダ]ウィンドウまでドラッグします。

**3** 移動先のフォルダの中までドラッグしたら、マウスのボタンを離します。

[マイフォルダ]ウィンドウの中に「子猫」のファイルが移動しました。



「ネコ」のファイルも同じようにして移動してみましょう。

# フロッピーディスクにデータのバックアップをとる

パソコンは精密機械なので、何らかの事情でファイルが壊れたりすることがあります。そのような場合に備えて、大事なデータはフロッピーディスクにコピーしてバックアップ予備のデータを作っておきましょう。

## バックアップをとる作業の手順



すでにフォーマット済みのフロッピーディスクを使用する場合は、この作業は必要ありません。



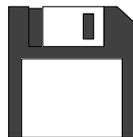
## フロッピーディスクの種類とフォーマット

### フロッピーディスクの種類

フロッピーディスクには、データを記憶できる容量によって次の種類があります。

種類	記憶容量
2HD (両面高密度倍トラック)	1Mバイト <sup>1</sup> 1.44Mバイト <sup>1</sup>
2DD (両面倍密度倍トラック)	640Kバイト

- 1 フォーマット方式によって選択できます。
- 2 OSによっては、1.2Mバイトと表示される場合があります。



3.5インチサイズフロッピーディスク  
本機の内蔵フロッピーディスクドライブでは、3.5インチサイズフロッピーディスクが使用できます。

本機のフロッピーディスクドライブでは、2HDタイプと2DDタイプのどちらでも使えます。

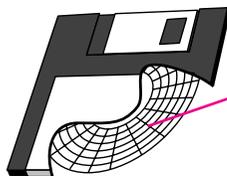
### フォーマット

フロッピーディスクにデータを書き込むためには「フォーマット」という作業が必要です。フォーマットのことを初期化ともいいます。

フォーマット作業を行うと、どこにどのようにデータを書き込めばよいかわかるようにフロッピーディスクが磁気的に区画整理され、データが保存できるようになります。

フォーマットの形式は、使用するOSによって異なりますが、Windows 95では、次のOSでフォーマットされたフロッピーディスクを使用することができます。

- Windows
- MS-DOS

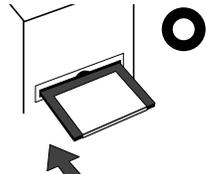
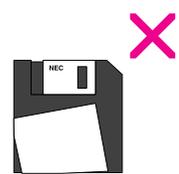
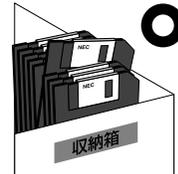
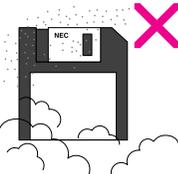
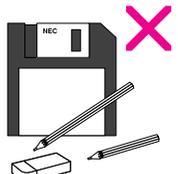
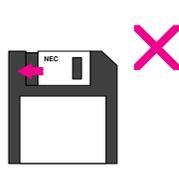
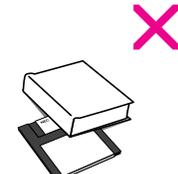
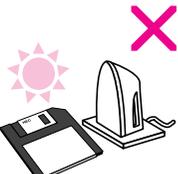
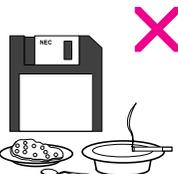
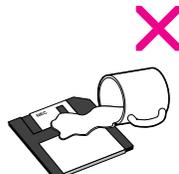
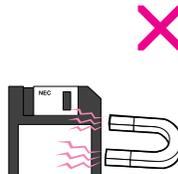
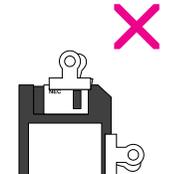


目には見えませんが、磁気的に区画が整理されます。

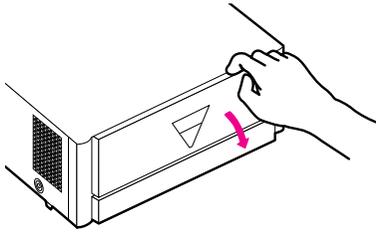
# フロッピーディスクをセットする ●●●●●●●●●●

## フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクを取り扱うときは次のような点に注意してください。

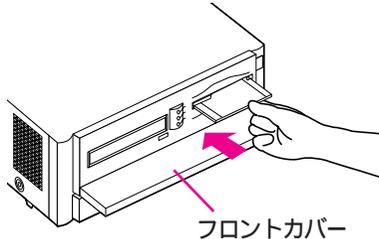
<p>フロッピーディスクドライブには、ていねいに奥まで静かに挿入してください。</p> 	<p>ラベルは正しい位置に貼ってください。</p> 	<p>使用後は収納箱へ。</p> 	<p>ゴミやホコリの多い場所での使用、保管は避けてください。</p> 
<p>鉛筆での記入や消しゴムの使用は避けてください。</p> 	<p>シャッターは開けないでください。</p> 	<p>フロッピーディスクの上にものを載せないでください。</p> 	<p>直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。</p> 
<p>飲食、喫煙しながらの使用は避けてください。</p> 	<p>溶剤類、飲み物等はフロッピーディスクにつけないでください。</p> 	<p>フロッピーディスクに磁石などを近づけないでください。</p> 	<p>クリップ等ではさんだり、投げたり、落としたりしないでください。</p> 

- 1** フロントカバーを手前に引いて開きます。



- 2** フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにカチッと音がするまで差し込みます。

フロッピーディスクのラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベル側が手前になるように差し込みます。



フロッピーディスクを完全に差し込むと、イジェクトボタンが飛び出します。

- 3** フロントカバーを閉じます。

## フロッピーディスクをフォーマット(初期化)する



買って来たばかりのフロッピーディスクは、そのままでは使えません。データを書き込むためには「フォーマット」という作業が必要です。フォーマットのことを初期化ともいいます。



- ・すでにデータが書き込まれているフロッピーディスクをフォーマットすると、それまでに書き込まれていたデータはすべて消えてしまい、二度とデータを取り戻すことはできません。大切なデータが書き込まれているフロッピーディスクは、誤ってフォーマットしないように注意してください。
- ・2DDタイプのフロッピーディスクは2DDの形式、2HDタイプのフロッピーディスクは2HDの形式でフォーマットしてください。異なった形式でフォーマットするとデータの読み書きができなくなることがあります。

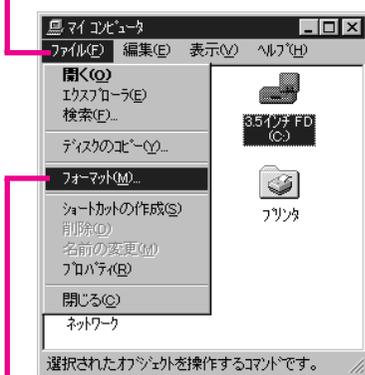
- 1** 画面をデスクトップの画面にして (P.125) [マイコンピュータ] のウィンドウの中から、[3.5インチFD] アイコンをクリックします。



[3.5インチFD] アイコンに色がつきます。

- 2** フォーマットをするためのウィンドウを開きます。

[ファイル] メニューをクリックします。



表示されたメニューの中から [フォーマット] をクリックします。



デスクトップ上では、右クリックして表示されるメニューから、「フォーマット」することもできます。

- 3** [容量] [フォーマットの種類] [オプション] を設定します。



[容量] を設定します。このボタンをクリックすると一覧が表示されるので、フォーマットしたい容量をクリックします。ここでは [1.44 Mb] をクリックします。



[フォーマットの種類] や [オプション] の設定がよくわからないときは、画面右上の [?] ボタンをクリックしてください。マウスポインタが [?] に変わります。設定のしかたを知りたい部分をクリックすると説明が表示されます。

[フォーマットの種類] を設定します。ここでは [通常のフォーマット] をクリックします。

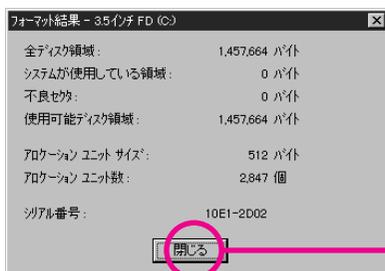
**4** [スタート] ボタンをクリックします。

フォーマットが始まります。

フォーマット中は、[フォーマット] ウィンドウの下部に次のように表示されます。



**5** 次の画面が表示されたら、フォーマットは終了です。  
[閉じる] ボタンをクリックします。



ここをクリックします。

# フロッピーディスクにファイルをコピーする ●●●●●

- 1 画面をデスクトップの画面にして ( P.125 ) [マイコンピュータ] のウィンドウの中から [3.5インチFD] アイコンをダブルクリックします。



[3.5インチFD] のウィンドウが表示されます。

- 2 コピーするファイルが入っているフォルダをダブルクリックします。

ここでは、[子猫] が入っている [マイフォルダ] をダブルクリックします。

[マイフォルダ] のウィンドウが表示されます。

- 3 コピーしたいファイルのアイコンを [3.5インチFD] のウィンドウまでドラッグします。



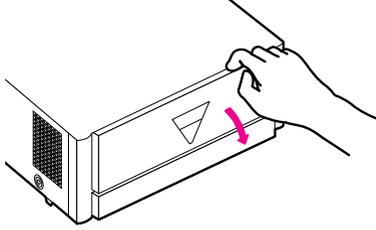
マウスのボタンを離すと、フロッピーディスクへのファイルのコピーが始まります。フロッピーディスクへのファイルのコピーが終了すると、[3.5インチFD] ウィンドウの中にファイルのアイコンが表示されます。



「××にアクセスできません。デバイスの準備ができていません。」というメッセージが表示された場合は、フロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないことが考えられます。フロッピーディスクをセットしてから [再試行] ボタンをクリックしてください。

# フロッピーディスクを取り出す

- 1** フロントカバーを手前に引いて開きます。

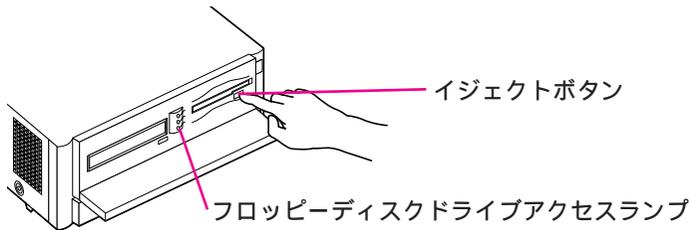


- 2** フロッピーディスクドライブアクセスランプが消えていることを確認します。



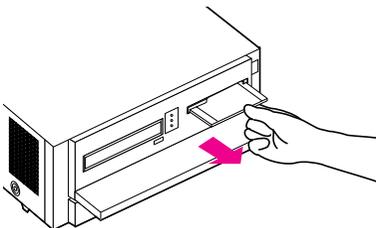
フロッピーディスクドライブアクセスランプが点灯しているときにフロッピーディスクを取り出すと、データが壊れることがあります。また、フロッピーディスクやフロッピーディスクドライブのヘッドをいためる原因となります。

- 3** イジェクトボタンを押します。



フロッピーディスクが出てきます。

- 4** 出てきたフロッピーディスクを引き出します。



- 5** フロントカバーを閉じます。

# こんなことがしたい！

本機にはさまざまなアプリケーションソフトが添付されています。ひとつおりの操作を身につけたら、どんどんアプリケーションソフトを使ってみましょう。また、いろいろな機器を取り付けて本機の機能を広げてください。本機には、目的にあわせていろいろなマニュアルが添付されています。十分に活用してください。

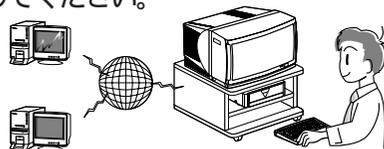
## プリンタで印刷したい...

『ステップアップガイド』をご覧になり、プリンタの接続と設定を行ってください。各アプリケーションソフトからの印刷のしかたは、アプリケーションソフトのマニュアルをご覧ください。



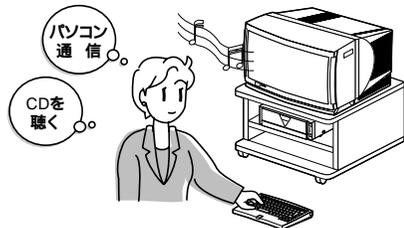
## インターネットを利用したい...

電話回線を接続したら『インターネットスタートガイド』をご覧になり、プロバイダに接続してください。



## 添付されているアプリケーションソフトを使いたい...

『CEREBを使いこなそう』をご覧ください。



## ビットキャスト放送を利用したい...

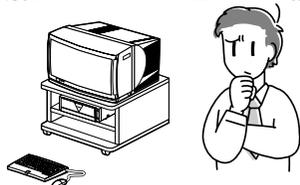
アンテナを接続したら、『ビットキャストブラウザ ユーザーズガイド』をご覧になり、ビットキャスト放送を受信してください。

## 本機のことをもっと詳しく知りたい...

『ステップアップガイド』をご覧ください。本機の機能を広げるための方法も説明してあります。

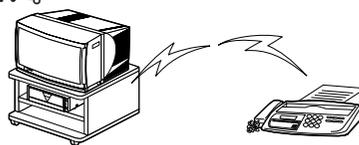
分からないことや困ったときには...

『困ったときにお読みください』をご覧ください。トラブルを解決するためのヒントが記載されています。



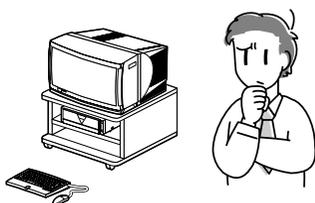
FAXを送りたい...

電話回線を接続したら、『98TELFAXユーザーズガイド』をご覧ください。FAXを送ってください。



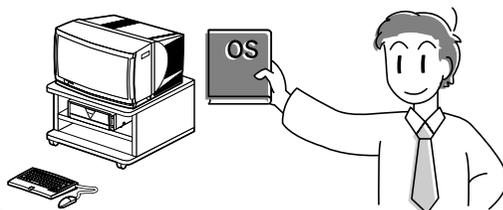
購入直後の状態に戻したい...

『再セットアップガイド』をご覧ください。



Windows 95以外のOSを使いたい...

『再セットアップガイド』をご覧ください。



# 索引

## 英数

3.5インチFD	134,144
ACコンセント	37,55
CD-ROM	128
CEREBメニュー	72,86,90
MS-IME97	97
Product ID	58,67
Windows 95	72
Windows 95チュータ	128

## あ

アイコン	90
アース線	28
アース端子	28
アフターケア	6
[アプリケーション起動]アイコン	90
アプリケーションソフト	90,91,92
アンテナ	46
イジェクトボタン	130,132,145
インターネット	146
ウィンドウ	92
お手入れ	5

## か

かな入力	98
型番	Vii
カラーボックス	115
切り取り	106
クリック	66,81,83
クリップボード	104
[グループ切り替え]ボタン	90
[グループ]ボタン	90
結露	13
コピー	104,144

ごみ箱	126
コントロールパネル	134
コンピュータウイルス	5

## さ

最小化ボタン	92
最大化ボタン	92
サイバーホーム3D	123
終了ボタン	92
初期化	141
スタートボタン	126
製造番号	6
静電気	5
設置	12,15
セットアップ	57

## た

タイトルバー	92
タスクバー	90,126
ダブルクリック	81,83
ツールボックス	111
ディスプレイ	2,17,34
デスクトップ	125
電源ケーブル	54
電源コネクタ	38
電源スイッチ	60
電源のOFF	74
電源のON	60
電源のON/OFF	84
電源ランプ	61,75
電話回線	43
ドラッグ	81,83
トラックボール	82

---

## な

---

名前の入力	64
日本語入力	97
日本語入力システム	97
塗りつぶし	116

---

## は

---

廃棄方法	9
ハードディスク	62,134
貼り付け	105,117
左ボタン	81,83
ビットキャスト受信ボード	47,49
ビットキャスト放送	46,146
ファイル	108,110,135
ファンクションキー	103
フォーマット	141
プリンタ	134,146
フロッピーディスク	140
フロッピーディスクドライブ	74
分配器	47,48,49,50
ペイント	111
ヘルプ	121
[ヘルプ]アイコン	90
フォルダ	135
保証書	6
保存	108

---

## ま

---

マイクロホン	41
マイコンピュータ	126,134
マウス	29,62,79
マウスポインタ	65,79,82
右クリック	81,83
メディアコントローラ	52,82

メニューバー	92
モジュラーケーブル	45
元に戻す	112
もとのサイズに戻すボタン	92

---

## や

---

やり直し	112
------	-----

---

## ら

---

ローマ字入力	98
--------	----

---

## わ

---

ワイヤレスキーボード	2,29,62
ワードパッド	96

